

# 大分県地域防災計画 新旧対照表

## 【地震・津波対策編】



# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第1部 総則

改正前	改正後
<p>第2章 大分県の地勢</p> <p>第1節 地形及び地質</p> <p>1 (略)</p> <p>2 地質</p> <p>県内には、臼杵一八代構造線などの構造線が分布している。臼杵一八代構造線は九州の地質区を2分する大規模なもので、その北側と南側はそれぞれ内帯・外帯と呼ばれる。内帯には花崗岩類や変成岩類などからなる領家帯と、結晶片岩などからなる三波川帯とが分布する。外帯には北から秩父帯、四万十帯が仏像構造線を挟んで分布する。これらは、主に古生界～中生界の砂岩、頁岩などの堆積岩類などからなるが、秩父帯には花崗岩類、変成岩類、石灰岩などがレンズ状に挟まれている部分がある。</p> <p>これらを基盤として、新生紀新第三紀以降の火山活動により形成された多くの火山が分布する。九重火山群や由布・鶴見火山群は、別府一島原地溝帯に沿って分布しており、この地溝帯には火山岩が厚く堆積し、基盤岩は深く陥没しており、数多くの東西方向の正断層が分布している。</p> <p><u>別府湾一日出生(ひじう)断層帯(約76km)は、豊予海峡付近から玖珠町にかけての、ほぼ東西方向に延びる断層帯で、主として断層の北側が相対的に隆起する断層である。別府湾一日出生断層帯は、過去の活動から、豊予海峡付近から別府湾にかけての海底に分布する東部と、陸上部に分布する西部に区分される。</u></p> <p><u>大分平野一由布院断層帯(約40km)は、大分市から玖珠町にかけての、ほぼ東西方向に延びる断層帯で、主として断層の南側が相対的に隆起する断層である。大分平野一由布院断層帯は、過去の活動から、東部と西部に区分される。</u></p> <p><u>野稲岳(のいねだけ)一万年山断層帯(約30km)は、由布市湯布院町から日田市大山町にかけての、ほぼ東西方向に延びる断層帯で、主として断層の北側が相対的に隆起する断層である。</u></p> <p><u>崩平山(くえのひらやま)一亀石山断層帯(約34km)は、由布市庄内町から日田市大山町にかけての、ほぼ東西方向に延びる断層帯で、主として断層の南側が相対的に隆起する断層である。</u></p>	<p>第2章 大分県の地勢</p> <p>第1節 地形及び地質</p> <p>1 (略)</p> <p>2 地質</p> <p>県内には、臼杵一八代構造線などの構造線が分布している。臼杵一八代構造線は九州の地質区を2分する大規模なもので、その北側と南側はそれぞれ内帯・外帯と呼ばれる。内帯には花崗岩類や変成岩類などからなる領家帯と、結晶片岩などからなる三波川帯とが分布する。外帯には北から秩父帯、四万十帯が仏像構造線を挟んで分布する。これらは、主に古生界～中生界の砂岩、頁岩などの堆積岩類などからなるが、秩父帯には花崗岩類、変成岩類、石灰岩などがレンズ状に挟まれている部分がある。</p> <p>これらを基盤として、新生紀新第三紀以降の火山活動により形成された多くの火山が分布する。九重火山群や由布・鶴見火山群は、別府一島原地溝帯に沿って分布しており、この地溝帯には火山岩が厚く堆積し、基盤岩は深く陥没しており、数多くの東西方向の正断層が分布している。</p> <p><u>中央構造線断層帯(豊予海峡一由布院)(約61km)は、豊予海峡から大分県由布市付近の由布院断層にかけての、主として北側低下の正断層である。</u></p> <p><u>日出生断層帯(約41km)は、速見郡日出町から玖珠郡玖珠町にかけての、ほぼ東西方向に延びる断層帯で、主として南側が相対的に低下する正断層である。</u></p> <p><u>万年山一崩平山断層帯(約31km)は、由布市湯布院町から日田市天瀬町にかけての、西北西一東南東方向に延びる断層帯で、主として南側が相対的に低下する正断層である。</u></p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

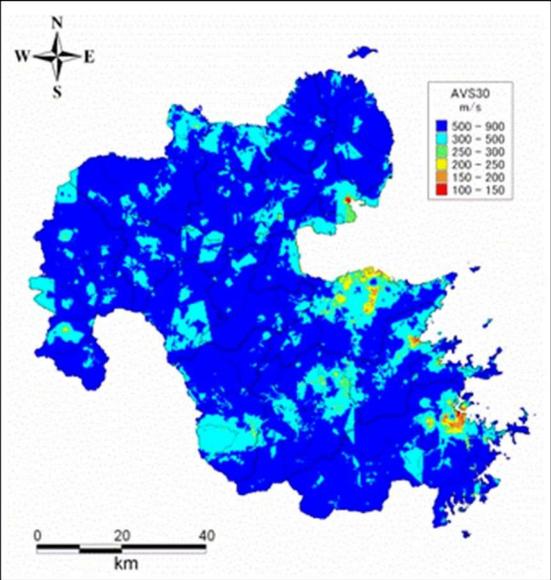
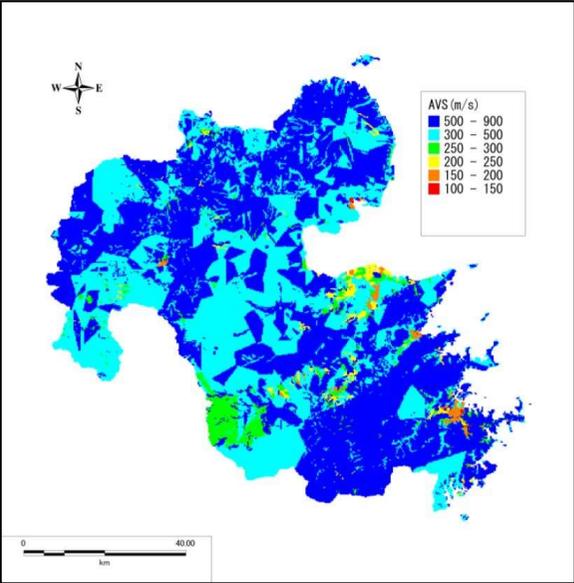
地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後
<p>このほか、周防灘沖には周防灘断層群が分布し、同断層群（主部）（約44km）は、山口県防府市の南方沖から国東半島北西沖にかけての、概ね北北東－南南西方向に延びる断層帯で、北西側隆起の成分を伴う断層である。</p> <p>平成26年度から京都大学が中心となって行われた「別府-万年山断層帯（大分平野-由布院断層帯東部）における重点的調査観測」等に基づき、地震調査研究推進本部が平成29年12月に「中央構造線断層帯の長期評価（第二版）」、「日出生断層帯の長期評価（第一版）」及び「万年山-崩平山断層帯の長期評価（第一版）」の公表を行った。</p> <p>これにより、従来の「別府-万年山断層帯」を「中央構造線断層帯（⑩豊予海峡-由布院区間）」（上記「大分平野-由布院断層帯」、「別府湾-日出生断層帯（東部）」に豊予海峡セグメントを追加に相当）、「日出生断層帯」（上記「別府湾-日出生断層帯（西部）」に相当）及び「万年山-崩平山断層帯」（上記「野稻岳-万年山断層帯」、「崩平山-亀石山断層帯」に相当）の3つに再編成して再評価がなされた。</p> <p><u>今後、有識者による会議に、今回の見直しにかかる県への影響等を諮り、会議からの提言に基づき必要な対策を行う。</u></p>	<p>このほか、周防灘沖には周防灘断層帯が分布し、同断層帯主部区間（約44km）は、山口県防府市の南方沖から国東半島北西沖にかけての、概ね北北東－南南西方向に延びる断層帯で、北西側隆起の成分を伴う断層である。</p> <p>平成26年度から京都大学が中心となって行われた「別府-万年山断層帯（大分平野-由布院断層帯東部）における重点的調査観測」等に基づき、地震調査研究推進本部が平成29年12月に「中央構造線断層帯の長期評価（第二版）」、「日出生断層帯の長期評価（第一版）」及び「万年山-崩平山断層帯の長期評価（第一版）」の公表を行った。</p> <p>これにより、従来の「別府-万年山断層帯」を「中央構造線断層帯（⑩豊予海峡-由布院区間）」（上記「大分平野-由布院断層帯」、「別府湾-日出生断層帯（東部）」に豊予海峡セグメントを追加に相当）、「日出生断層帯」（上記「別府湾-日出生断層帯（西部）」に相当）及び「万年山-崩平山断層帯」（上記「野稻岳-万年山断層帯」、「崩平山-亀石山断層帯」に相当）の3つに再編成して再評価がなされた。</p> <p><u>（削除）</u></p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第1部 総則

改正前	改正後
<p>第2節 災害の素因と誘因及び災害に対する基本的な考え方</p> <p>1 災害の素因と誘因</p> <p>(1) 災害の素因（地盤環境）</p> <p>(略)</p>  <p>(略)</p>	<p>第2節 災害の素因と誘因及び災害に対する基本的な考え方</p> <p>1 災害の素因と誘因</p> <p>(1) 災害の素因（地盤環境）</p> <p>(略)</p> 

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後
<div data-bbox="170 295 609 753" data-label="Figure"> </div> <p data-bbox="188 774 613 837">液状化危険度分布図（別府地溝南縁断層帯の地震の場合）</p> <p data-bbox="152 957 215 992">（略）</p>	<div data-bbox="1173 316 1659 774" data-label="Figure"> </div> <p data-bbox="1124 817 1581 893">液状化危険度分布図（中央構造線断層帯の地震の場合）</p> <p data-bbox="1137 957 1200 992">（略）</p>

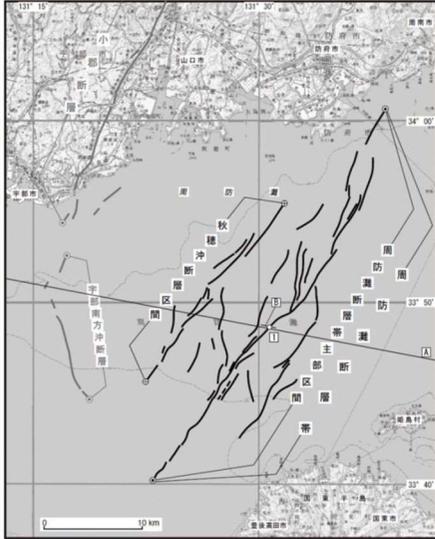
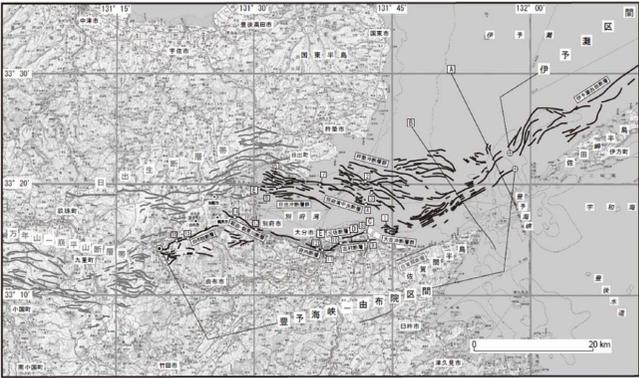
# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後																								
<p>第3章 大分県における地震・津波の特性</p> <p>第1節 地域ごとの特性</p> <p>(略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主に影響を受ける地震の震源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部地域 (海溝型)</td> <td>南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震</td> </tr> <tr> <td>中部地域 (海溝型)</td> <td>南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(活断層型) 別府湾～日出生断層帯(別府湾断層帯、別府地溝北縁断層帯) 大分平野～由布院断層帯(別府地溝南縁断層帯)</td> </tr> <tr> <td>北部地域 (活断層型)</td> <td>周防灘断層群(主部)</td> </tr> <tr> <td>西部地域 (活断層型)</td> <td>野稲岳～万年山断層帯(崩平山～万年山地溝北縁断層帯) 崩平山～亀石山断層帯(崩平山～万年山地溝南縁断層帯)</td> </tr> </tbody> </table> <p>南海トラフ、日向灘周辺活断層図(応用地質(株)調査報告資料引用編集)</p>	区分	主に影響を受ける地震の震源	南部地域 (海溝型)	南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震	中部地域 (海溝型)	南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震		(活断層型) 別府湾～日出生断層帯(別府湾断層帯、別府地溝北縁断層帯) 大分平野～由布院断層帯(別府地溝南縁断層帯)	北部地域 (活断層型)	周防灘断層群(主部)	西部地域 (活断層型)	野稲岳～万年山断層帯(崩平山～万年山地溝北縁断層帯) 崩平山～亀石山断層帯(崩平山～万年山地溝南縁断層帯)	<p>第3章 大分県における地震・津波の特性</p> <p>第1節 地域ごとの特性</p> <p>(略)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主に影響を受ける地震の震源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部地域 (海溝型)</td> <td>南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震</td> </tr> <tr> <td>中部地域 (海溝型)</td> <td>南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(活断層型) 中央構造線断層帯(◎豊予海峡～由布院区間) 日出生断層帯</td> </tr> <tr> <td>北部地域 (活断層型)</td> <td>周防灘断層群(主部)</td> </tr> <tr> <td>西部地域 (活断層型)</td> <td>日出生断層帯 万年山～崩平山断層帯</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震位置図</p>	区分	主に影響を受ける地震の震源	南部地域 (海溝型)	南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震	中部地域 (海溝型)	南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震		(活断層型) 中央構造線断層帯(◎豊予海峡～由布院区間) 日出生断層帯	北部地域 (活断層型)	周防灘断層群(主部)	西部地域 (活断層型)	日出生断層帯 万年山～崩平山断層帯
区分	主に影響を受ける地震の震源																								
南部地域 (海溝型)	南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震																								
中部地域 (海溝型)	南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震																								
	(活断層型) 別府湾～日出生断層帯(別府湾断層帯、別府地溝北縁断層帯) 大分平野～由布院断層帯(別府地溝南縁断層帯)																								
北部地域 (活断層型)	周防灘断層群(主部)																								
西部地域 (活断層型)	野稲岳～万年山断層帯(崩平山～万年山地溝北縁断層帯) 崩平山～亀石山断層帯(崩平山～万年山地溝南縁断層帯)																								
区分	主に影響を受ける地震の震源																								
南部地域 (海溝型)	南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震																								
中部地域 (海溝型)	南海トラフ、日向灘、安芸灘～伊予灘～豊後水道を震源とする地震																								
	(活断層型) 中央構造線断層帯(◎豊予海峡～由布院区間) 日出生断層帯																								
北部地域 (活断層型)	周防灘断層群(主部)																								
西部地域 (活断層型)	日出生断層帯 万年山～崩平山断層帯																								
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>																								

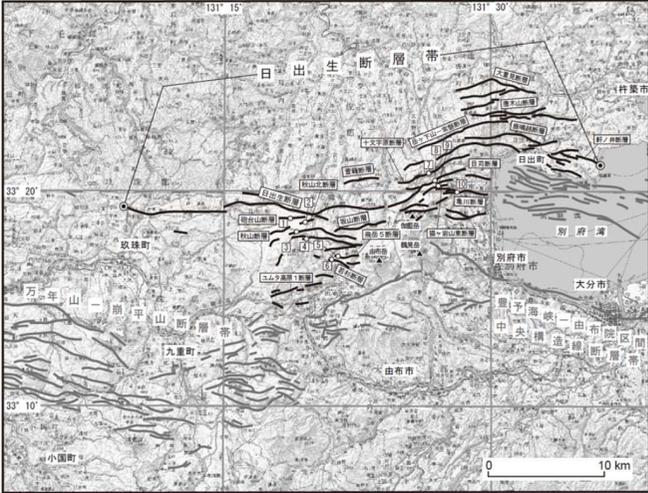
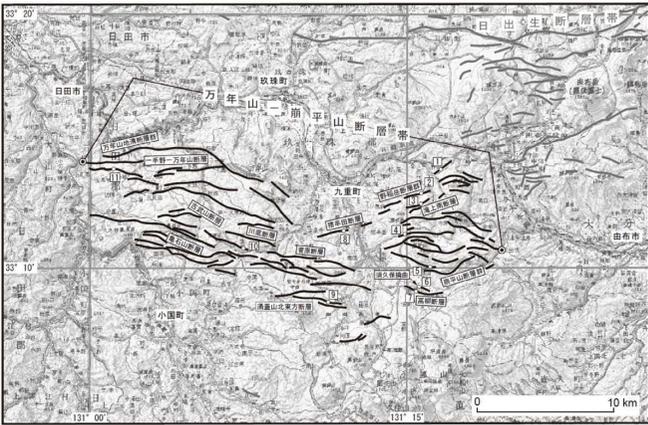
# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後
 <p>右：県内の活断層図（産業技術総合研究所活断層データベース図を引用編集）</p> <p>(追加)</p>	 <p>右：周防灘断層帯図（地震調査研究推進本部「周防灘断層帯（周防灘断層群・宇部冲断層群）の長期評価」を引用）</p>  <p>中央構造線断層帯図（地震調査研究推進本部「中央構造線断層帯（金剛山地東縁－由布院）の長期評価（第二版）」を引用）</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後
	 <p>日出生断層帯図（地震調査研究推進本部「日出生断層帯の長期評価（第一版）」を引用）</p>  <p>万年山一崩平山断層帯図（地震調査研究推進本部「万年山一崩平山断層帯の長期評価（第一版）」を引用）</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第1部 総則

改正前	改正後
<p>第2節 海溝型地震と活断層型地震等の特性</p> <p>1 海溝型地震 (略)</p> <p>○南海トラフを震源とする地震(南海地震、東南海地震等)は、陸のプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込むことに伴い、これら二つのプレートの境界面が破壊することによって発生する地震(以下、「プレート間地震」という。)である。過去の地震の規模は、南海地震でM8.0～M8.4、東南海地震でM7.9～M8.4、二つの地震が同時に発生した場合はM7.9～M8.6であったとされている。今後、南海トラフを領域としてM8～M9規模の地震が30年以内に発生する確率は、<u>70%程度</u>とされている。</p> <p>2 活断層型地震</p> <p>県内には、震源断層となる活断層として別府湾一日出生断層帯等が分布しており、従来の活動区間や活動規模、地震の発生確率、活動間隔等は次のとおりである。</p> <p>(略)</p> <p>○周防灘断層群(主部)は、全体が一つの区間として活動すると推定され、その場合、マグニチュード7.6程度の地震が発生すると推定される。30年以内の地震発生確率は、2%～4%と見込まれ、我が国の主な活断層の中では高いグループに属する。</p> <p>○大分県中部地震クラスのマグニチュード6程度以下の地震については、地表に断層のずれが表れないため、活動履歴の把握が出来ず、将来の地震発生の予測は困難で、この規模の地震は、別府湾一日出生断層帯、大分平野-湯布院断層帯、野稻岳-万年山断層帯、崩平山-亀石山断層帯のどこでも常に発生する可能性があるものとして考えておく必要がある。</p> <p>(略)</p> <p>3 (略)</p>	<p>第2節 海溝型地震と活断層型地震等の特性</p> <p>1 海溝型地震 (略)</p> <p>○南海トラフを震源とする地震(南海地震、東南海地震等)は、陸のプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込むことに伴い、これら二つのプレートの境界面が破壊することによって発生する地震(以下、「プレート間地震」という。)である。過去の地震の規模は、南海地震でM8.0～M8.4、東南海地震でM7.9～M8.4、二つの地震が同時に発生した場合はM7.9～M8.6であったとされている。今後、南海トラフを領域としてM8～M9 <u>クラス</u>の地震が30年以内に発生する確率は、<u>70～80%</u>とされている。</p> <p>2 活断層型地震</p> <p>県内には、震源断層となる活断層として <u>中央構造断層帯</u>等が分布しており、従来の活動区間や活動規模、地震の発生確率、活動間隔等は次のとおりである。</p> <p>(略)</p> <p>○周防灘断層帯主部区間は、全体が一つの区間として活動すると推定され、その場合、マグニチュード7.6程度の地震が発生すると推定される。30年以内の地震発生確率は、2%～4%と見込まれ、我が国の主な活断層の中では高いグループ(<u>Sランク</u>)に属する。</p> <p>○大分県中部地震クラスのマグニチュード6程度以下の地震については、地表に断層のずれが表れないため、活動履歴の把握が出来ず、将来の地震発生の予測は困難で、この規模の地震は、<u>中央構造線断層帯(⑩豊予海峡-由布院区間)</u>、<u>日出生断層帯</u>、<u>万年山-崩平山断層帯</u>のどこでも常に発生する可能性があるものとして考えておく必要がある。</p> <p>(略)</p> <p>3 (略)</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第1部 総則

改正前	改正後
<p>第4章 地震・津波の想定</p> <p>第1節 地震・津波想定</p> <p><u>(追記)</u></p> <p>平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震を受けて、本県に被害を及ぼした地震・津波の歴史記録を繙き、大分県防災対策推進委員会（平成24年4月30日までは大分県地域防災計画再検討委員会）有識者会議・被害想定部会の意見を踏まえて行った平成24年度大分県津波浸水予測調査・地震津波被害想定調査、阪神淡路大震災規模の地震を想定して行った平成19年度大分県地震被害想定調査に基づき、次の地震・津波を想定する</p> <p>(略)</p> <p>1 想定する地震・津波</p> <p><u>(1) 平成24年度大分県津波浸水予測調査・地震津波被害想定調査</u></p> <p><u>① 南海トラフ巨大地震（東海・東南海・南海地震の連動と日向灘への震源域の拡大。平成24年8月29日に内閣府が公表したモデルケース11）</u></p> <p><u>② 別府湾の地震（慶長豊後型地震）</u></p> <p><u>③ 周防灘断層群(主部)</u></p>	<p>第4章 地震・津波の想定</p> <p>第1節地震・津波想定</p> <p><u>平成29年12月に地震調査研究推進本部が公表した「中央構造線断層帯の長期評価（第二版）」、「日出生断層帯の長期評価（第一版）」及び「万年山-崩平山断層帯の長期評価（第一版）」を受けて、本県に及ぼす影響と対策について検討するため、平成30年2月に大分県有識者会議を設置し有識者からの意見を踏まえ、過去の調査内容を踏襲したうえで、最新の知見を反映した平成30年度大分県地震被害想定調査と、</u>平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震を受けて、本県に被害を及ぼした地震・津波の歴史記録を繙き、大分県防災対策推進委員会（平成24年4月30日までは大分県地域防災計画再検討委員会）有識者会議・被害想定部会の意見を踏まえて行った平成24年度大分県津波浸水予測調査・地震津波被害想定調査、阪神淡路大震災規模の地震を想定して行った平成19年度大分県地震被害想定調査に基づき、次の地震・津波を想定する</p> <p>(略)</p> <p>1 想定する地震・津波</p> <p><u>(1) 想定する地震・津波被害（震源）</u></p> <p><u>① 南海トラフ</u></p> <p><u>② 中央構造線断層帯</u></p> <p><u>③ 周防灘断層群（主部）</u></p> <p><u>④ 日出生断層帯</u></p> <p><u>⑤ 万年山-崩平山断層帯</u></p> <p><u>⑥ プレート内</u></p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後																							
<p>(2) 平成19年度大分県地震被害想定調査</p> <p>① 別府地溝南縁断層帯</p> <p>② 崩平山-万年山地溝北縁断層帯</p> <p>③ プレート内地震</p> <p>④ 東南海・南海地震</p> <p>2 地震動</p> <p>上記1の震源域から想定される地震動は次のとおりである。</p>	<table border="1" data-bbox="1182 304 2040 708"> <thead> <tr> <th>平成19年度 大分県地震被害想定調査 想定地震</th> <th>平成24年度 大分県地震津波被害想定調査 想定地震</th> <th>平成30年度 大分県地震被害想定調査 想定地震</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日向灘 東南海・南海<sup>※1</sup></td> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>①南海トラフの巨大地震</td> </tr> <tr> <td>中央構造線 別府地溝南縁断層帯 別府湾断層帯</td> <td>別府湾の地震 (慶長豊後型)</td> <td>②中央構造線断層帯</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層帯</td> <td>周防灘断層群主部</td> <td>③周防灘断層群主部</td> </tr> <tr> <td>別府地溝北縁断層帯</td> <td></td> <td>④日出生断層帯</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td></td> <td>⑤万年山-崩平山断層帯</td> </tr> <tr> <td>プレート内</td> <td></td> <td>⑥プレート内</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 想定する津波浸水予測 (平成24年度大分県津波浸水予測調査)</p> <p>① 南海トラフ</p> <p>② 別府湾の地震 (慶長豊後型地震)</p> <p>③ 周防灘断層群 (主部)</p> <p>2 地震動</p> <p>上記1 (1) の震源域から想定される地震動は次のとおりである。</p>			平成19年度 大分県地震被害想定調査 想定地震	平成24年度 大分県地震津波被害想定調査 想定地震	平成30年度 大分県地震被害想定調査 想定地震	日向灘 東南海・南海 <sup>※1</sup>	南海トラフの巨大地震	①南海トラフの巨大地震	中央構造線 別府地溝南縁断層帯 別府湾断層帯	別府湾の地震 (慶長豊後型)	②中央構造線断層帯	周防灘断層帯	周防灘断層群主部	③周防灘断層群主部	別府地溝北縁断層帯		④日出生断層帯	崩平山-万年山地溝北縁断層帯		⑤万年山-崩平山断層帯	プレート内		⑥プレート内
平成19年度 大分県地震被害想定調査 想定地震	平成24年度 大分県地震津波被害想定調査 想定地震	平成30年度 大分県地震被害想定調査 想定地震																						
日向灘 東南海・南海 <sup>※1</sup>	南海トラフの巨大地震	①南海トラフの巨大地震																						
中央構造線 別府地溝南縁断層帯 別府湾断層帯	別府湾の地震 (慶長豊後型)	②中央構造線断層帯																						
周防灘断層帯	周防灘断層群主部	③周防灘断層群主部																						
別府地溝北縁断層帯		④日出生断層帯																						
崩平山-万年山地溝北縁断層帯		⑤万年山-崩平山断層帯																						
プレート内		⑥プレート内																						

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前			改正後		
対象地震等	最大震度	震度6弱以上が想定される地域	対象地震等	最大震度	震度6弱以上が想定される地域
(1) - ①	6強	大分市、佐伯市、臼杵市、竹田市、杵築市、豊後大野市	(1) - ①	6強	大分市、佐伯市、臼杵市、竹田市、杵築市、豊後大野市
- ②	7	大分市、別府市、臼杵市、竹田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町	- ②	7	大分市、別府市、臼杵市、杵築市、宇佐市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町
- ③	6強	中津市、豊後高田市、宇佐市、国東市	- ③	6強	中津市、豊後高田市、宇佐市、国東市
(2) - ①	7	大分市、別府市、杵築市、宇佐市、由布市、日出町、九重町、玖珠町	- ④	7	大分市、別府市、中津市、臼杵市、杵築市、宇佐市、由布市、日出町、九重町、玖珠町
- ②	6強	日田市、由布市、九重町、玖珠町	- ⑤	7	大分市、日田市、竹田市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町
- ③	6強	大分市、別府市、佐伯市、臼杵市、津久見、竹田市、杵築市、豊後大野市、日出町	- ⑥	6強	大分市、別府市、佐伯市、臼杵市、津久見、竹田市、杵築市、豊後大野市、日出町
- ④	5強	-			
(略)			(略)		
第2節 被害想定			第2節 被害想定		
1 人的・物的被害の想定			1 人的・物的被害の想定		
第1節で想定する地震・津波に対して、平成24年度大分県地震津波被害想定調査及び平成19年度大分県地震被害想定調査に基づいて予測される被害は次のとおりであり、各地域の実情に応じて被害を想定する。			第1節で想定する地震・津波に対して、平成30年度大分県地震被害想定調査に基づいて予測される被害は次のとおりであり、各地域の実情に応じて被害を想定する。		
減災対策による人的被害の軽減効果として、早期避難率が高く、避難の呼びかけが効果的に行われ、かつ、津波避難ビルが効果的に機能した場合には、南海トラフの地震で、約2万2千人の死者数が639人まで軽減できる。また、耐震化による建物被害の軽減ということでは、耐震化することで、南海トラフの地震で、約2千4百棟が倒壊を免れることができる。			減災対策による人的被害の軽減効果として、早期避難率が高く、避難の呼びかけが効果的に行われ、かつ、津波避難ビルが効果的に機能した場合には、南海トラフの地震で、約2万人の死者数が592人まで軽減できる。また、耐震化による建物被害の軽減ということでは、耐震化することで、南海トラフの地震で、約2千2百棟が倒壊を免れることができる。		
○ 各地震の最大となる人的被害・物的被害量			○ 各地震の最大となる人的被害・物的被害量		

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第1部 総則

改正前							改正後																																																																																																																																																																
<b>1 人的被害</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>季節・時刻</th> <th>死者数</th> <th>重篤者</th> <th>重傷者</th> <th>中等傷者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1)-①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>冬5時</td> <td>19,053</td> <td>3</td> <td>5,451</td> <td>10,815</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>冬18時</td> <td>36,399</td> <td>90</td> <td>3,298</td> <td>9,699</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>冬5時</td> <td>859</td> <td>-</td> <td>422</td> <td>820</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2)-①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td>冬18時</td> <td>2,555</td> <td>133</td> <td>617</td> <td>6,698</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>冬5時</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>22</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>冬18時</td> <td>28</td> <td>18</td> <td>105</td> <td>682</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>冬5時</td> <td>118</td> <td>8</td> <td>43</td> <td>144</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「-」はゼロ、「○」は○より大きく○.5未満を表す。(以下同じ)</p>							第1節-1の区分	地震名	季節・時刻	死者数	重篤者	重傷者	中等傷者	(1)-①	南海トラフ巨大地震	冬5時	19,053	3	5,451	10,815	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	冬18時	36,399	90	3,298	9,699	周防灘断層群主部	冬5時	859	-	422	820	(2)-①	別府地溝南縁断層帯	冬18時	2,555	133	617	6,698	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	冬5時	27	4	22	309	プレート内地震	冬18時	28	18	105	682	東南海・南海地震	冬5時	118	8	43	144	<b>(1) 人的被害</b> <span style="float: right;">【単位：人】</span> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>季節時刻</th> <th>死者</th> <th>重篤者</th> <th>重傷者</th> <th>中等傷者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央構造線断層帯による地震</td> <td>冬5時</td> <td>18,666</td> <td>47</td> <td>4,120</td> <td>11,170</td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>28,972</td> <td>152</td> <td>3,087</td> <td>9,985</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">日出生断層帯による地震</td> <td>冬18時</td> <td>30,627</td> <td>287</td> <td>3,620</td> <td>11,322</td> </tr> <tr> <td>冬5時</td> <td>356</td> <td>11</td> <td>67</td> <td>772</td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>524</td> <td>64</td> <td>285</td> <td>1,567</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>冬18時</td> <td>833</td> <td>115</td> <td>497</td> <td>2,129</td> </tr> <tr> <td>冬5時</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">南海トラフの巨大地震</td> <td>冬18時</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>冬5時</td> <td>15,178</td> <td>3</td> <td>3,991</td> <td>7,960</td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>20,077</td> <td>6</td> <td>1,751</td> <td>3,677</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">周防灘断層群主部による地震</td> <td>冬18時</td> <td>19,519</td> <td>8</td> <td>1,645</td> <td>3,439</td> </tr> <tr> <td>冬5時</td> <td>859</td> <td>0</td> <td>387</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">プレート内地震</td> <td>夏12時</td> <td>883</td> <td>0</td> <td>218</td> <td>427</td> </tr> <tr> <td>冬18時</td> <td>924</td> <td>0</td> <td>215</td> <td>422</td> </tr> <tr> <td>冬5時</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>夏12時</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>28</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>冬18時</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>47</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table>							地震名	季節時刻	死者	重篤者	重傷者	中等傷者	中央構造線断層帯による地震	冬5時	18,666	47	4,120	11,170	夏12時	28,972	152	3,087	9,985	日出生断層帯による地震	冬18時	30,627	287	3,620	11,322	冬5時	356	11	67	772	夏12時	524	64	285	1,567	万年山-崩平山断層帯による地震	冬18時	833	115	497	2,129	冬5時	20	0	1	27	夏12時	13	0	4	37	南海トラフの巨大地震	冬18時	13	0	7	39	冬5時	15,178	3	3,991	7,960	夏12時	20,077	6	1,751	3,677	周防灘断層群主部による地震	冬18時	19,519	8	1,645	3,439	冬5時	859	0	387	750	プレート内地震	夏12時	883	0	218	427	冬18時	924	0	215	422	冬5時	17	0	6	83		夏12時	15	3	28	146	冬18時	17	6	47	165
第1節-1の区分	地震名	季節・時刻	死者数	重篤者	重傷者	中等傷者																																																																																																																																																																	
(1)-①	南海トラフ巨大地震	冬5時	19,053	3	5,451	10,815																																																																																																																																																																	
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	冬18時	36,399	90	3,298	9,699																																																																																																																																																																	
	周防灘断層群主部	冬5時	859	-	422	820																																																																																																																																																																	
(2)-①	別府地溝南縁断層帯	冬18時	2,555	133	617	6,698																																																																																																																																																																	
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	冬5時	27	4	22	309																																																																																																																																																																	
	プレート内地震	冬18時	28	18	105	682																																																																																																																																																																	
	東南海・南海地震	冬5時	118	8	43	144																																																																																																																																																																	
地震名	季節時刻	死者	重篤者	重傷者	中等傷者																																																																																																																																																																		
中央構造線断層帯による地震	冬5時	18,666	47	4,120	11,170																																																																																																																																																																		
	夏12時	28,972	152	3,087	9,985																																																																																																																																																																		
日出生断層帯による地震	冬18時	30,627	287	3,620	11,322																																																																																																																																																																		
	冬5時	356	11	67	772																																																																																																																																																																		
	夏12時	524	64	285	1,567																																																																																																																																																																		
万年山-崩平山断層帯による地震	冬18時	833	115	497	2,129																																																																																																																																																																		
	冬5時	20	0	1	27																																																																																																																																																																		
	夏12時	13	0	4	37																																																																																																																																																																		
南海トラフの巨大地震	冬18時	13	0	7	39																																																																																																																																																																		
	冬5時	15,178	3	3,991	7,960																																																																																																																																																																		
	夏12時	20,077	6	1,751	3,677																																																																																																																																																																		
周防灘断層群主部による地震	冬18時	19,519	8	1,645	3,439																																																																																																																																																																		
	冬5時	859	0	387	750																																																																																																																																																																		
プレート内地震	夏12時	883	0	218	427																																																																																																																																																																		
	冬18時	924	0	215	422																																																																																																																																																																		
	冬5時	17	0	6	83																																																																																																																																																																		
	夏12時	15	3	28	146																																																																																																																																																																		
	冬18時	17	6	47	165																																																																																																																																																																		
<b>2 建物被害</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>季節・時刻</th> <th>全壊</th> <th>半壊</th> <th>床上浸水</th> <th>床下浸水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1)-①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>冬18時</td> <td>30,095</td> <td>30,852</td> <td>20,719</td> <td>7,838</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>冬18時</td> <td>83,027</td> <td>56,730</td> <td>8,360</td> <td>3,892</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>冬5時</td> <td>574</td> <td>1,831</td> <td>2,431</td> <td>1,283</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2)-①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td>冬18時</td> <td>63,913</td> <td>41,713</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>冬18時</td> <td>2,037</td> <td>3,353</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>冬18時</td> <td>3,374</td> <td>7,088</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>冬5時</td> <td>1,816</td> <td>4,154</td> <td>7,117</td> <td>10,914</td> </tr> </tbody> </table>							第1節-1の区分	地震名	季節・時刻	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	(1)-①	南海トラフ巨大地震	冬18時	30,095	30,852	20,719	7,838	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	冬18時	83,027	56,730	8,360	3,892	周防灘断層群主部	冬5時	574	1,831	2,431	1,283	(2)-①	別府地溝南縁断層帯	冬18時	63,913	41,713	-	-	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	冬18時	2,037	3,353	-	-	プレート内地震	冬18時	3,374	7,088	-	-	東南海・南海地震	冬5時	1,816	4,154	7,117	10,914																																																																																																														
第1節-1の区分	地震名	季節・時刻	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水																																																																																																																																																																	
(1)-①	南海トラフ巨大地震	冬18時	30,095	30,852	20,719	7,838																																																																																																																																																																	
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	冬18時	83,027	56,730	8,360	3,892																																																																																																																																																																	
	周防灘断層群主部	冬5時	574	1,831	2,431	1,283																																																																																																																																																																	
(2)-①	別府地溝南縁断層帯	冬18時	63,913	41,713	-	-																																																																																																																																																																	
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	冬18時	2,037	3,353	-	-																																																																																																																																																																	
	プレート内地震	冬18時	3,374	7,088	-	-																																																																																																																																																																	
	東南海・南海地震	冬5時	1,816	4,154	7,117	10,914																																																																																																																																																																	
<b>3 ブロック塀倒壊</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>塀数</th> <th>倒壊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1)-①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td></td> <td>18,085</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>369,892</td> <td>30,590</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td></td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2)-①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td></td> <td>28,887</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>385,043</td> <td>4,876</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td></td> <td>20,841</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td></td> <td>493</td> </tr> </tbody> </table>							第1節-1の区分	地震名	塀数	倒壊	(1)-①	南海トラフ巨大地震		18,085	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	369,892	30,590	周防灘断層群主部		3,000	(2)-①	別府地溝南縁断層帯		28,887	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	385,043	4,876	プレート内地震		20,841	東南海・南海地震		493																																																																																																																																						
第1節-1の区分	地震名	塀数	倒壊																																																																																																																																																																				
(1)-①	南海トラフ巨大地震		18,085																																																																																																																																																																				
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	369,892	30,590																																																																																																																																																																				
	周防灘断層群主部		3,000																																																																																																																																																																				
(2)-①	別府地溝南縁断層帯		28,887																																																																																																																																																																				
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	385,043	4,876																																																																																																																																																																				
	プレート内地震		20,841																																																																																																																																																																				
	東南海・南海地震		493																																																																																																																																																																				
<b>4 上水道</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>被害箇所数</th> <th>影響人口(人)</th> <th>断水率(直後)</th> <th>断水率(1週間後)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1)-①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>730</td> <td>374,000</td> <td>3.5%</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>4,850</td> <td>657,000</td> <td>6.1%</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>10</td> <td>3,000</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2)-①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td>4,270</td> <td>616,800</td> <td>5.7%</td> <td>2.9%</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>100</td> <td>21,700</td> <td>2%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>400</td> <td>223,100</td> <td>2.1%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>10</td> <td>1,000</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>							第1節-1の区分	地震名	被害箇所数	影響人口(人)	断水率(直後)	断水率(1週間後)	(1)-①	南海トラフ巨大地震	730	374,000	3.5%	1.7%	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	4,850	657,000	6.1%	3.0%	周防灘断層群主部	10	3,000	0%	0%	(2)-①	別府地溝南縁断層帯	4,270	616,800	5.7%	2.9%	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	100	21,700	2%	1%	プレート内地震	400	223,100	2.1%	1.0%	東南海・南海地震	10	1,000	0%	0%																																																																																																																						
第1節-1の区分	地震名	被害箇所数	影響人口(人)	断水率(直後)	断水率(1週間後)																																																																																																																																																																		
(1)-①	南海トラフ巨大地震	730	374,000	3.5%	1.7%																																																																																																																																																																		
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	4,850	657,000	6.1%	3.0%																																																																																																																																																																		
	周防灘断層群主部	10	3,000	0%	0%																																																																																																																																																																		
(2)-①	別府地溝南縁断層帯	4,270	616,800	5.7%	2.9%																																																																																																																																																																		
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	100	21,700	2%	1%																																																																																																																																																																		
	プレート内地震	400	223,100	2.1%	1.0%																																																																																																																																																																		
	東南海・南海地震	10	1,000	0%	0%																																																																																																																																																																		
<b>5 電力</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>被害電柱本数</th> <th>停電世帯</th> <th>停電率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1)-①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>560</td> <td>43,000</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>1,200</td> <td>54,000</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2)-①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td>810</td> <td>48,000</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>140</td> <td>23,000</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>370</td> <td>39,000</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>							第1節-1の区分	地震名	被害電柱本数	停電世帯	停電率	(1)-①	南海トラフ巨大地震	560	43,000	1.0%	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	1,200	54,000	1.2%	周防灘断層群主部	0	0	0%	(2)-①	別府地溝南縁断層帯	810	48,000	1.1%	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	140	23,000	5%	プレート内地震	370	39,000	9%	東南海・南海地震	0	0	0%																																																																																																																														
第1節-1の区分	地震名	被害電柱本数	停電世帯	停電率																																																																																																																																																																			
(1)-①	南海トラフ巨大地震	560	43,000	1.0%																																																																																																																																																																			
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	1,200	54,000	1.2%																																																																																																																																																																			
	周防灘断層群主部	0	0	0%																																																																																																																																																																			
(2)-①	別府地溝南縁断層帯	810	48,000	1.1%																																																																																																																																																																			
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	140	23,000	5%																																																																																																																																																																			
	プレート内地震	370	39,000	9%																																																																																																																																																																			
	東南海・南海地震	0	0	0%																																																																																																																																																																			

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第1部 総則

改正前				改正後																																																																																																																																																																																																																																						
<b>6 一般電話等情報通信</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1部-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>被害NTT柱本数(本)</th> <th>不通回線(回線)</th> <th>不通率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>4,100</td> <td>83,000</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>4,500</td> <td>200,000</td> <td>15.7%</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>2,100</td> <td>12,000</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td>3,500</td> <td>273,000</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>2,800</td> <td>35,000</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>3,300</td> <td>122,000</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>1,100</td> <td>10,000</td> <td>1%</td> </tr> </tbody> </table>				第1部-1の区分	地震名	被害NTT柱本数(本)	不通回線(回線)	不通率	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	4,100	83,000	8.3%	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	4,500	200,000	15.7%	周防灘断層群主部	2,100	12,000	0.9%	(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	3,500	273,000	1.6%	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	2,800	35,000	2%	プレート内地震	3,300	122,000	7%	東南海・南海地震	1,100	10,000	1%	<b>(2) 建物被害</b> 【単位：棟】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>季節時刻</th> <th>全壊・焼失</th> <th>半壊</th> <th>床上浸水</th> <th>床下浸水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央構造線断層帯による地震</td> <td>冬5時</td> <td>67,980</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>76,367</td> <td>52,300</td> <td>7,556</td> <td>3,560</td> </tr> <tr> <td>冬18時</td> <td>88,408</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">日出生断層帯による地震</td> <td>冬5時</td> <td>12,690</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>16,743</td> <td>17,719</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬18時</td> <td>21,182</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>冬5時</td> <td>2,091</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>2,092</td> <td>3,702</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬18時</td> <td>2,095</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">南海トラフの巨大地震</td> <td>冬5時</td> <td>29,689</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>29,693</td> <td>30,028</td> <td>20,542</td> <td>7,820</td> </tr> <tr> <td>冬18時</td> <td>29,704</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">周防灘断層群主部による地震</td> <td>冬5時</td> <td>569</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>569</td> <td>1,816</td> <td>2,446</td> <td>1,289</td> </tr> <tr> <td>冬18時</td> <td>569</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">プレート内地震</td> <td>冬5時</td> <td>3,080</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夏12時</td> <td>3,082</td> <td>6,389</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬18時</td> <td>3,088</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						地震名	季節時刻	全壊・焼失	半壊	床上浸水	床下浸水	中央構造線断層帯による地震	冬5時	67,980				夏12時	76,367	52,300	7,556	3,560	冬18時	88,408				日出生断層帯による地震	冬5時	12,690				夏12時	16,743	17,719			冬18時	21,182				万年山-崩平山断層帯による地震	冬5時	2,091				夏12時	2,092	3,702			冬18時	2,095				南海トラフの巨大地震	冬5時	29,689				夏12時	29,693	30,028	20,542	7,820	冬18時	29,704				周防灘断層群主部による地震	冬5時	569				夏12時	569	1,816	2,446	1,289	冬18時	569				プレート内地震	冬5時	3,080				夏12時	3,082	6,389			冬18時	3,088																																																																																											
第1部-1の区分	地震名	被害NTT柱本数(本)	不通回線(回線)	不通率																																																																																																																																																																																																																																						
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	4,100	83,000	8.3%																																																																																																																																																																																																																																						
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	4,500	200,000	15.7%																																																																																																																																																																																																																																						
	周防灘断層群主部	2,100	12,000	0.9%																																																																																																																																																																																																																																						
(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	3,500	273,000	1.6%																																																																																																																																																																																																																																						
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	2,800	35,000	2%																																																																																																																																																																																																																																						
	プレート内地震	3,300	122,000	7%																																																																																																																																																																																																																																						
	東南海・南海地震	1,100	10,000	1%																																																																																																																																																																																																																																						
地震名	季節時刻	全壊・焼失	半壊	床上浸水	床下浸水																																																																																																																																																																																																																																					
中央構造線断層帯による地震	冬5時	67,980																																																																																																																																																																																																																																								
	夏12時	76,367	52,300	7,556	3,560																																																																																																																																																																																																																																					
	冬18時	88,408																																																																																																																																																																																																																																								
日出生断層帯による地震	冬5時	12,690																																																																																																																																																																																																																																								
	夏12時	16,743	17,719																																																																																																																																																																																																																																							
	冬18時	21,182																																																																																																																																																																																																																																								
万年山-崩平山断層帯による地震	冬5時	2,091																																																																																																																																																																																																																																								
	夏12時	2,092	3,702																																																																																																																																																																																																																																							
	冬18時	2,095																																																																																																																																																																																																																																								
南海トラフの巨大地震	冬5時	29,689																																																																																																																																																																																																																																								
	夏12時	29,693	30,028	20,542	7,820																																																																																																																																																																																																																																					
	冬18時	29,704																																																																																																																																																																																																																																								
周防灘断層群主部による地震	冬5時	569																																																																																																																																																																																																																																								
	夏12時	569	1,816	2,446	1,289																																																																																																																																																																																																																																					
	冬18時	569																																																																																																																																																																																																																																								
プレート内地震	冬5時	3,080																																																																																																																																																																																																																																								
	夏12時	3,082	6,389																																																																																																																																																																																																																																							
	冬18時	3,088																																																																																																																																																																																																																																								
<b>7 都市ガス</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1部-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>ガス管被害箇所数</th> <th>供給停止エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>80</td> <td>大分市の一部</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>440</td> <td>大分市・別府市</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td>410</td> <td>大分市・別府市</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>30</td> <td>大分市の一部</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				第1部-1の区分	地震名	ガス管被害箇所数	供給停止エリア	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	80	大分市の一部	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	440	大分市・別府市	周防灘断層群主部	0	-	(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	410	大分市・別府市	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	0	-	プレート内地震	30	大分市の一部	東南海・南海地震	0	-																																																																																																																																																																																																												
第1部-1の区分	地震名	ガス管被害箇所数	供給停止エリア																																																																																																																																																																																																																																							
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	80	大分市の一部																																																																																																																																																																																																																																							
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	440	大分市・別府市																																																																																																																																																																																																																																							
	周防灘断層群主部	0	-																																																																																																																																																																																																																																							
(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	410	大分市・別府市																																																																																																																																																																																																																																							
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	0	-																																																																																																																																																																																																																																							
	プレート内地震	30	大分市の一部																																																																																																																																																																																																																																							
	東南海・南海地震	0	-																																																																																																																																																																																																																																							
<b>8 道路施設</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1部-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>道路・橋梁被害箇所数</th> <th>被害率(箇所/1km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>110</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>150</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>30</td> <td>0.01</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td>140</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>70</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>110</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>30</td> <td>0.01</td> </tr> </tbody> </table>				第1部-1の区分	地震名	道路・橋梁被害箇所数	被害率(箇所/1km)	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	110	0.05	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	150	0.03	周防灘断層群主部	30	0.01	(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	140	0.07	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	70	0.03	プレート内地震	110	0.05	東南海・南海地震	30	0.01																																																																																																																																																																																																												
第1部-1の区分	地震名	道路・橋梁被害箇所数	被害率(箇所/1km)																																																																																																																																																																																																																																							
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	110	0.05																																																																																																																																																																																																																																							
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	150	0.03																																																																																																																																																																																																																																							
	周防灘断層群主部	30	0.01																																																																																																																																																																																																																																							
(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	140	0.07																																																																																																																																																																																																																																							
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	70	0.03																																																																																																																																																																																																																																							
	プレート内地震	110	0.05																																																																																																																																																																																																																																							
	東南海・南海地震	30	0.01																																																																																																																																																																																																																																							
<b>9 鉄道施設</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1部-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>被害箇所数(箇所)</th> <th>被害率(箇所/1km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">(1) - ①</td> <td rowspan="5">南海トラフ巨大地震</td> <td>巨豊線</td> <td>53</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>21</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>28</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>臼田彦山線</td> <td>1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>103</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">- ②</td> <td rowspan="5">別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>巨豊線</td> <td>142</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>95</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>37</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>臼田彦山線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>274</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">- ③</td> <td rowspan="5">周防灘断層群主部</td> <td>巨豊線</td> <td>8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>臼田彦山線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td rowspan="4">別府地溝南縁断層帯</td> <td>巨豊線</td> <td>8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>臼田彦山線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">- ②</td> <td rowspan="4">崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>巨豊線</td> <td>8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>臼田彦山線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">- ③</td> <td rowspan="4">プレート内地震</td> <td>巨豊線</td> <td>8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>臼田彦山線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">- ④</td> <td rowspan="4">東南海・南海地震</td> <td>巨豊線</td> <td>8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>臼田彦山線</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>				第1部-1の区分	地震名	被害箇所数(箇所)	被害率(箇所/1km)	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	巨豊線	53	0.3	久大線	21	0.2	豊肥線	28	0.4	臼田彦山線	1	0.1	計	103	0.3	- ②	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	巨豊線	142	0.7	久大線	95	0.9	豊肥線	37	0.5	臼田彦山線	0	0.0	計	274	0.7	- ③	周防灘断層群主部	巨豊線	8	0.0	久大線	0	0.0	豊肥線	0	0.0	臼田彦山線	0	0.0	計	8	0.0	(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	巨豊線	8	0.0	久大線	0	0.0	豊肥線	0	0.0	臼田彦山線	0	0.0	- ②	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	巨豊線	8	0.0	久大線	0	0.0	豊肥線	0	0.0	臼田彦山線	0	0.0	- ③	プレート内地震	巨豊線	8	0.0	久大線	0	0.0	豊肥線	0	0.0	臼田彦山線	0	0.0	- ④	東南海・南海地震	巨豊線	8	0.0	久大線	0	0.0	豊肥線	0	0.0	臼田彦山線	0	0.0																																																																																																																								
第1部-1の区分	地震名	被害箇所数(箇所)	被害率(箇所/1km)																																																																																																																																																																																																																																							
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	巨豊線	53	0.3																																																																																																																																																																																																																																						
		久大線	21	0.2																																																																																																																																																																																																																																						
		豊肥線	28	0.4																																																																																																																																																																																																																																						
		臼田彦山線	1	0.1																																																																																																																																																																																																																																						
		計	103	0.3																																																																																																																																																																																																																																						
- ②	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	巨豊線	142	0.7																																																																																																																																																																																																																																						
		久大線	95	0.9																																																																																																																																																																																																																																						
		豊肥線	37	0.5																																																																																																																																																																																																																																						
		臼田彦山線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		計	274	0.7																																																																																																																																																																																																																																						
- ③	周防灘断層群主部	巨豊線	8	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		久大線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		豊肥線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		臼田彦山線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		計	8	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	巨豊線	8	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		久大線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		豊肥線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		臼田彦山線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
- ②	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	巨豊線	8	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		久大線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		豊肥線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		臼田彦山線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
- ③	プレート内地震	巨豊線	8	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		久大線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		豊肥線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		臼田彦山線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
- ④	東南海・南海地震	巨豊線	8	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		久大線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		豊肥線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
		臼田彦山線	0	0.0																																																																																																																																																																																																																																						
<b>10 港湾施設</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1部-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>バース数(箇所)</th> <th>被害バース数(箇所)</th> <th>レベルⅠ</th> <th>レベルⅡ</th> <th>レベルⅢ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">(1) - ①</td> <td rowspan="5">南海トラフ巨大地震</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>12</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9(1)</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中津港</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>82(2)</td> <td>16</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">- ②</td> <td rowspan="5">別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>51</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9(1)</td> <td>0</td> <td>8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中津港</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>82(2)</td> <td>3</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">- ③</td> <td rowspan="5">周防灘断層群主部</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中津港</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>82(2)</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td rowspan="4">別府地溝南縁断層帯</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">- ②</td> <td rowspan="4">崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">- ③</td> <td rowspan="4">プレート内地震</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">- ④</td> <td rowspan="4">東南海・南海地震</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				第1部-1の区分	地震名	バース数(箇所)	被害バース数(箇所)	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	大分港	51	12	8			別府港	9(1)	1	0			津久見港	3(1)	0	0			佐伯港	12	3	4			中津港	7	0	0			計	82(2)	16	12			- ②	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	大分港	51	0	51			別府港	9(1)	0	8			津久見港	3(1)	0	0			佐伯港	12	1	0			中津港	7	1	1			計	82(2)	3	60			- ③	周防灘断層群主部	大分港	51	0	0			別府港	9(1)	0	0			津久見港	3(1)	0	0			佐伯港	12	0	0			中津港	7	2	1			計	82(2)	2	1			(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	大分港	51	0	0			別府港	9(1)	0	0			津久見港	3(1)	0	0			佐伯港	12	0	0			- ②	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	大分港	51	0	0			別府港	9(1)	0	0			津久見港	3(1)	0	0			佐伯港	12	0	0			- ③	プレート内地震	大分港	51	0	0			別府港	9(1)	0	0			津久見港	3(1)	0	0			佐伯港	12	0	0			- ④	東南海・南海地震	大分港	51	0	0			別府港	9(1)	0	0			津久見港	3(1)	0	0			佐伯港	12	0	0								
第1部-1の区分	地震名	バース数(箇所)	被害バース数(箇所)	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ																																																																																																																																																																																																																																				
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	大分港	51	12	8																																																																																																																																																																																																																																					
		別府港	9(1)	1	0																																																																																																																																																																																																																																					
		津久見港	3(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		佐伯港	12	3	4																																																																																																																																																																																																																																					
		中津港	7	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
計	82(2)	16	12																																																																																																																																																																																																																																							
- ②	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	大分港	51	0	51																																																																																																																																																																																																																																					
		別府港	9(1)	0	8																																																																																																																																																																																																																																					
		津久見港	3(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		佐伯港	12	1	0																																																																																																																																																																																																																																					
		中津港	7	1	1																																																																																																																																																																																																																																					
計	82(2)	3	60																																																																																																																																																																																																																																							
- ③	周防灘断層群主部	大分港	51	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		別府港	9(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		津久見港	3(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		佐伯港	12	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		中津港	7	2	1																																																																																																																																																																																																																																					
計	82(2)	2	1																																																																																																																																																																																																																																							
(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	大分港	51	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		別府港	9(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		津久見港	3(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		佐伯港	12	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
- ②	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	大分港	51	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		別府港	9(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		津久見港	3(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		佐伯港	12	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
- ③	プレート内地震	大分港	51	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		別府港	9(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		津久見港	3(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		佐伯港	12	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
- ④	東南海・南海地震	大分港	51	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		別府港	9(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		津久見港	3(1)	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
		佐伯港	12	0	0																																																																																																																																																																																																																																					
<b>11 避難所生活者数</b> (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1部-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>1日後</th> <th>1週間後</th> <th>1か月後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>109,582</td> <td>89,124</td> <td>84,131</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>282,397</td> <td>228,441</td> <td>188,757</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>2,931</td> <td>2,598</td> <td>2,140</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南縁断層帯</td> <td>217,506</td> <td>179,510</td> <td>137,391</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北縁断層帯</td> <td>7,784</td> <td>8,136</td> <td>5,171</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>35,241</td> <td>29,338</td> <td>7,137</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>4,289</td> <td>4,171</td> <td>4,068</td> </tr> </tbody> </table>				第1部-1の区分	地震名	1日後	1週間後	1か月後	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	109,582	89,124	84,131	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	282,397	228,441	188,757	周防灘断層群主部	2,931	2,598	2,140	(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	217,506	179,510	137,391	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	7,784	8,136	5,171	プレート内地震	35,241	29,338	7,137	東南海・南海地震	4,289	4,171	4,068																																																																																																																																																																																																				
第1部-1の区分	地震名	1日後	1週間後	1か月後																																																																																																																																																																																																																																						
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	109,582	89,124	84,131																																																																																																																																																																																																																																						
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	282,397	228,441	188,757																																																																																																																																																																																																																																						
	周防灘断層群主部	2,931	2,598	2,140																																																																																																																																																																																																																																						
(2) - ①	別府地溝南縁断層帯	217,506	179,510	137,391																																																																																																																																																																																																																																						
	崩平山-万年山地溝北縁断層帯	7,784	8,136	5,171																																																																																																																																																																																																																																						
	プレート内地震	35,241	29,338	7,137																																																																																																																																																																																																																																						
	東南海・南海地震	4,289	4,171	4,068																																																																																																																																																																																																																																						
※「バース数」欄の()内は耐震バース数(内数)。 ※レベルⅠ：短期間で修復可、レベルⅡ：ほぼ崩壊、かつ、復旧に長期間を要する。																																																																																																																																																																																																																																										
				<b>(3) ブロック塀倒壊</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>塀数</th> <th>倒壊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td rowspan="6">297,378</td> <td>27,968</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>19,796</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>5,443</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>17,827</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>18,629</td> </tr> </tbody> </table>						地震名	塀数	倒壊数	中央構造線断層帯による地震	297,378	27,968	日出生断層帯による地震	19,796	万年山-崩平山断層帯による地震	5,443	南海トラフの巨大地震	17,827	周防灘断層群主部による地震	3,000	プレート内地震	18,629																																																																																																																																																																																																																	
地震名	塀数	倒壊数																																																																																																																																																																																																																																								
中央構造線断層帯による地震	297,378	27,968																																																																																																																																																																																																																																								
日出生断層帯による地震		19,796																																																																																																																																																																																																																																								
万年山-崩平山断層帯による地震		5,443																																																																																																																																																																																																																																								
南海トラフの巨大地震		17,827																																																																																																																																																																																																																																								
周防灘断層群主部による地震		3,000																																																																																																																																																																																																																																								
プレート内地震		18,629																																																																																																																																																																																																																																								
				<b>(4) 上水道</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>被害箇所数(箇所)</th> <th>影響人口(人)</th> <th>断水率[直後]</th> <th>断水率[1週間後]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>約7,100</td> <td>約649,000</td> <td>61%</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>約1,250</td> <td>約522,000</td> <td>49%</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>約150</td> <td>約40,000</td> <td>4%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>約730</td> <td>約374,000</td> <td>35%</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>約10</td> <td>約3,000</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>約400</td> <td>約223,000</td> <td>21%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>						地震名	被害箇所数(箇所)	影響人口(人)	断水率[直後]	断水率[1週間後]	中央構造線断層帯による地震	約7,100	約649,000	61%	31%	日出生断層帯による地震	約1,250	約522,000	49%	25%	万年山-崩平山断層帯による地震	約150	約40,000	4%	2%	南海トラフの巨大地震	約730	約374,000	35%	17%	周防灘断層群主部による地震	約10	約3,000	0%	0%	プレート内地震	約400	約223,000	21%	10%																																																																																																																																																																																														
地震名	被害箇所数(箇所)	影響人口(人)	断水率[直後]	断水率[1週間後]																																																																																																																																																																																																																																						
中央構造線断層帯による地震	約7,100	約649,000	61%	31%																																																																																																																																																																																																																																						
日出生断層帯による地震	約1,250	約522,000	49%	25%																																																																																																																																																																																																																																						
万年山-崩平山断層帯による地震	約150	約40,000	4%	2%																																																																																																																																																																																																																																						
南海トラフの巨大地震	約730	約374,000	35%	17%																																																																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部による地震	約10	約3,000	0%	0%																																																																																																																																																																																																																																						
プレート内地震	約400	約223,000	21%	10%																																																																																																																																																																																																																																						

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第1部 総則

改正前				改正後																																																																														
<b>12 避難所外生活者数</b> (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>1日後</th> <th>1週間後</th> <th>1か月後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>58,995</td> <td>56,403</td> <td>34,532</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>141,291</td> <td>125,364</td> <td>100,561</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>1,578</td> <td>1,437</td> <td>1,152</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南線断層帯</td> <td>117,119</td> <td>100,304</td> <td>73,980</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北線断層帯</td> <td>4,180</td> <td>3,561</td> <td>1,708</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>18,976</td> <td>17,750</td> <td>3,843</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>2,309</td> <td>2,255</td> <td>2,180</td> </tr> </tbody> </table>				第1節-1の区分	地震名	1日後	1週間後	1か月後	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	58,995	56,403	34,532	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	141,291	125,364	100,561	周防灘断層群主部	1,578	1,437	1,152	(2) - ①	別府地溝南線断層帯	117,119	100,304	73,980	崩平山-万年山地溝北線断層帯	4,180	3,561	1,708	プレート内地震	18,976	17,750	3,843	東南海・南海地震	2,309	2,255	2,180	<b>(5) 電力</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>被害本数 (本)</th> <th>停電需要家 (千世帯)</th> <th>停電率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>約920</td> <td>約59</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>約330</td> <td>約39</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>約90</td> <td>約14</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>約560</td> <td>約43</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>約370</td> <td>約39</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table>				地震名	被害本数 (本)	停電需要家 (千世帯)	停電率	中央構造線断層帯による地震	約920	約59	13%	日出生断層帯による地震	約330	約39	9%	万年山-崩平山断層帯による地震	約90	約14	6%	南海トラフの巨大地震	約560	約43	10%	周防灘断層群主部による地震	0	0	0%	プレート内地震	約370	約39	9%												
第1節-1の区分	地震名	1日後	1週間後	1か月後																																																																														
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	58,995	56,403	34,532																																																																														
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	141,291	125,364	100,561																																																																														
	周防灘断層群主部	1,578	1,437	1,152																																																																														
(2) - ①	別府地溝南線断層帯	117,119	100,304	73,980																																																																														
	崩平山-万年山地溝北線断層帯	4,180	3,561	1,708																																																																														
	プレート内地震	18,976	17,750	3,843																																																																														
	東南海・南海地震	2,309	2,255	2,180																																																																														
地震名	被害本数 (本)	停電需要家 (千世帯)	停電率																																																																															
中央構造線断層帯による地震	約920	約59	13%																																																																															
日出生断層帯による地震	約330	約39	9%																																																																															
万年山-崩平山断層帯による地震	約90	約14	6%																																																																															
南海トラフの巨大地震	約560	約43	10%																																																																															
周防灘断層群主部による地震	0	0	0%																																																																															
プレート内地震	約370	約39	9%																																																																															
<b>13 応急仮設住宅生活者数</b> (単位：世帯数) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">第1節-1の区分</th> <th rowspan="2">地震名</th> <th colspan="4">応急仮設住宅からの移転先(世帯)</th> </tr> <tr> <th>応急仮設住宅</th> <th>公営住宅</th> <th>民間賃貸住宅</th> <th>持ち家購入・建築 自宅改修・修理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>5,051</td> <td>3,233</td> <td>480</td> <td>793</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>23,174</td> <td>14,832</td> <td>2,202</td> <td>3,638</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>71</td> <td>45</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南線断層帯</td> <td>17,186</td> <td>10,986</td> <td>1,631</td> <td>2,695</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北線断層帯</td> <td>548</td> <td>350</td> <td>52</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>876</td> <td>561</td> <td>83</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>436</td> <td>279</td> <td>41</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table>				第1節-1の区分	地震名	応急仮設住宅からの移転先(世帯)				応急仮設住宅	公営住宅	民間賃貸住宅	持ち家購入・建築 自宅改修・修理	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	5,051	3,233	480	793	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	23,174	14,832	2,202	3,638	周防灘断層群主部	71	45	7	11	(2) - ①	別府地溝南線断層帯	17,186	10,986	1,631	2,695	崩平山-万年山地溝北線断層帯	548	350	52	86	プレート内地震	876	561	83	138	東南海・南海地震	436	279	41	89	<b>(6) 一般電話等情報通信</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>被害本数 (本)</th> <th>不通回線数 (千回線)</th> <th>不通率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>約4,000</td> <td>約178</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>約3,800</td> <td>約137</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>約2,500</td> <td>約53</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>約4,100</td> <td>約88</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>約2,100</td> <td>約12</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>約3,800</td> <td>約122</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table>				地震名	被害本数 (本)	不通回線数 (千回線)	不通率	中央構造線断層帯による地震	約4,000	約178	14%	日出生断層帯による地震	約3,800	約137	11%	万年山-崩平山断層帯による地震	約2,500	約53	4%	南海トラフの巨大地震	約4,100	約88	7%	周防灘断層群主部による地震	約2,100	約12	1%	プレート内地震	約3,800	約122	7%
第1節-1の区分	地震名	応急仮設住宅からの移転先(世帯)																																																																																
		応急仮設住宅	公営住宅	民間賃貸住宅	持ち家購入・建築 自宅改修・修理																																																																													
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	5,051	3,233	480	793																																																																													
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	23,174	14,832	2,202	3,638																																																																													
	周防灘断層群主部	71	45	7	11																																																																													
(2) - ①	別府地溝南線断層帯	17,186	10,986	1,631	2,695																																																																													
	崩平山-万年山地溝北線断層帯	548	350	52	86																																																																													
	プレート内地震	876	561	83	138																																																																													
	東南海・南海地震	436	279	41	89																																																																													
地震名	被害本数 (本)	不通回線数 (千回線)	不通率																																																																															
中央構造線断層帯による地震	約4,000	約178	14%																																																																															
日出生断層帯による地震	約3,800	約137	11%																																																																															
万年山-崩平山断層帯による地震	約2,500	約53	4%																																																																															
南海トラフの巨大地震	約4,100	約88	7%																																																																															
周防灘断層群主部による地震	約2,100	約12	1%																																																																															
プレート内地震	約3,800	約122	7%																																																																															
<b>14 帰宅困難者数</b> (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>通勤・通学者</th> <th>帰宅困難者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>524,673</td> <td>70,230</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南線断層帯</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北線断層帯</td> <td>556,744</td> <td>76,379</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				第1節-1の区分	地震名	通勤・通学者	帰宅困難者	(1) - ①	南海トラフ巨大地震			別府湾の地震(慶長豊後型地震)	524,673	70,230	周防灘断層群主部			(2) - ①	別府地溝南線断層帯			崩平山-万年山地溝北線断層帯	556,744	76,379	プレート内地震			東南海・南海地震			<b>(7) 都市ガス</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>被害箇所数 (箇所)</th> <th>供給停止 エリア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>約490</td> <td>大分・別府</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>約590</td> <td>大分・別府</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>0</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>約80</td> <td>大分・別府</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>0</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>約30</td> <td>大分の一部</td> </tr> </tbody> </table>				地震名	被害箇所数 (箇所)	供給停止 エリア	中央構造線断層帯による地震	約490	大分・別府	日出生断層帯による地震	約590	大分・別府	万年山-崩平山断層帯による地震	0	なし	南海トラフの巨大地震	約80	大分・別府	周防灘断層群主部による地震	0	なし	プレート内地震	約30	大分の一部																											
第1節-1の区分	地震名	通勤・通学者	帰宅困難者																																																																															
(1) - ①	南海トラフ巨大地震																																																																																	
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	524,673	70,230																																																																															
	周防灘断層群主部																																																																																	
(2) - ①	別府地溝南線断層帯																																																																																	
	崩平山-万年山地溝北線断層帯	556,744	76,379																																																																															
	プレート内地震																																																																																	
	東南海・南海地震																																																																																	
地震名	被害箇所数 (箇所)	供給停止 エリア																																																																																
中央構造線断層帯による地震	約490	大分・別府																																																																																
日出生断層帯による地震	約590	大分・別府																																																																																
万年山-崩平山断層帯による地震	0	なし																																																																																
南海トラフの巨大地震	約80	大分・別府																																																																																
周防灘断層群主部による地震	0	なし																																																																																
プレート内地震	約30	大分の一部																																																																																
<b>15 医療対応不足数</b> (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>重傷者</th> <th>重傷者</th> <th>中等傷者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>△ 6</td> <td>△ 324</td> <td>10,549</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>△ 306</td> <td>△ 2,611</td> <td>3,033</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>7</td> <td>1,910</td> <td>15,183</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南線断層帯</td> <td>△ 238</td> <td>△ 1,045</td> <td>4,321</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北線断層帯</td> <td>13</td> <td>1,471</td> <td>12,940</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>5</td> <td>1,037</td> <td>11,965</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>15</td> <td>1,492</td> <td>13,035</td> </tr> </tbody> </table> ※△は、不足数				第1節-1の区分	地震名	重傷者	重傷者	中等傷者	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	△ 6	△ 324	10,549	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	△ 306	△ 2,611	3,033	周防灘断層群主部	7	1,910	15,183	(2) - ①	別府地溝南線断層帯	△ 238	△ 1,045	4,321	崩平山-万年山地溝北線断層帯	13	1,471	12,940	プレート内地震	5	1,037	11,965	東南海・南海地震	15	1,492	13,035	<b>(8) 道路施設</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>被害箇所数 (箇所)</th> <th>被害率 (箇所/km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>約100</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>約100</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>約70</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>約110</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>約30</td> <td>0.01</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>約110</td> <td>0.06</td> </tr> </tbody> </table>				地震名	被害箇所数 (箇所)	被害率 (箇所/km)	中央構造線断層帯による地震	約100	0.05	日出生断層帯による地震	約100	0.05	万年山-崩平山断層帯による地震	約70	0.03	南海トラフの巨大地震	約110	0.05	周防灘断層群主部による地震	約30	0.01	プレート内地震	約110	0.06																			
第1節-1の区分	地震名	重傷者	重傷者	中等傷者																																																																														
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	△ 6	△ 324	10,549																																																																														
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	△ 306	△ 2,611	3,033																																																																														
	周防灘断層群主部	7	1,910	15,183																																																																														
(2) - ①	別府地溝南線断層帯	△ 238	△ 1,045	4,321																																																																														
	崩平山-万年山地溝北線断層帯	13	1,471	12,940																																																																														
	プレート内地震	5	1,037	11,965																																																																														
	東南海・南海地震	15	1,492	13,035																																																																														
地震名	被害箇所数 (箇所)	被害率 (箇所/km)																																																																																
中央構造線断層帯による地震	約100	0.05																																																																																
日出生断層帯による地震	約100	0.05																																																																																
万年山-崩平山断層帯による地震	約70	0.03																																																																																
南海トラフの巨大地震	約110	0.05																																																																																
周防灘断層群主部による地震	約30	0.01																																																																																
プレート内地震	約110	0.06																																																																																
<b>16 仮設トイレ需要量</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>人数(人)</th> <th>必要数(基)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>88,806</td> <td>888</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>228,942</td> <td>2,269</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>2,491</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南線断層帯</td> <td>176,615</td> <td>1,766</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北線断層帯</td> <td>4,487</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>21,173</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>4,180</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>				第1節-1の区分	地震名	人数(人)	必要数(基)	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	88,806	888	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	228,942	2,269	周防灘断層群主部	2,491	25	(2) - ①	別府地溝南線断層帯	176,615	1,766	崩平山-万年山地溝北線断層帯	4,487	45	プレート内地震	21,173	212	東南海・南海地震	4,180	42	<b>17 互援養生量</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>重量(トン)</th> <th>体積(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>2,746,645</td> <td>4,535,810</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>8,670,101</td> <td>11,431,755</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>104,049</td> <td>187,150</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南線断層帯</td> <td>8,780,443</td> <td>9,889,822</td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北線断層帯</td> <td>263,361</td> <td>368,803</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>809,593</td> <td>837,271</td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td>55,071</td> <td>78,337</td> </tr> </tbody> </table>				第1節-1の区分	地震名	重量(トン)	体積(m <sup>3</sup> )	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	2,746,645	4,535,810	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	8,670,101	11,431,755	周防灘断層群主部	104,049	187,150	(2) - ①	別府地溝南線断層帯	8,780,443	9,889,822	崩平山-万年山地溝北線断層帯	263,361	368,803	プレート内地震	809,593	837,271	東南海・南海地震	55,071	78,337																					
第1節-1の区分	地震名	人数(人)	必要数(基)																																																																															
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	88,806	888																																																																															
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	228,942	2,269																																																																															
	周防灘断層群主部	2,491	25																																																																															
(2) - ①	別府地溝南線断層帯	176,615	1,766																																																																															
	崩平山-万年山地溝北線断層帯	4,487	45																																																																															
	プレート内地震	21,173	212																																																																															
	東南海・南海地震	4,180	42																																																																															
第1節-1の区分	地震名	重量(トン)	体積(m <sup>3</sup> )																																																																															
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	2,746,645	4,535,810																																																																															
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	8,670,101	11,431,755																																																																															
	周防灘断層群主部	104,049	187,150																																																																															
(2) - ①	別府地溝南線断層帯	8,780,443	9,889,822																																																																															
	崩平山-万年山地溝北線断層帯	263,361	368,803																																																																															
	プレート内地震	809,593	837,271																																																																															
	東南海・南海地震	55,071	78,337																																																																															
<b>18 孤立集落</b> (単位：箇所) <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>農業集落</th> <th>漁業集落</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>23</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>21</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南線断層帯</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北線断層帯</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				第1節-1の区分	地震名	農業集落	漁業集落	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	23	11	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	21	4	周防灘断層群主部	0	1	(2) - ①	別府地溝南線断層帯			崩平山-万年山地溝北線断層帯			プレート内地震			東南海・南海地震			<b>19 経済被害</b> (単位：兆円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>第1節-1の区分</th> <th>地震名</th> <th>直接被害額</th> <th>間接被害額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(1) - ①</td> <td>南海トラフ巨大地震</td> <td>1.3</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震(慶長豊後型地震)</td> <td>2.9</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) - ①</td> <td>別府地溝南線断層帯</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>崩平山-万年山地溝北線断層帯</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東南海・南海地震</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				第1節-1の区分	地震名	直接被害額	間接被害額	(1) - ①	南海トラフ巨大地震	1.3	0.4	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	2.9	0.8	周防灘断層群主部	0.1	0.1	(2) - ①	別府地溝南線断層帯			崩平山-万年山地溝北線断層帯			プレート内地震			東南海・南海地震																							
第1節-1の区分	地震名	農業集落	漁業集落																																																																															
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	23	11																																																																															
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	21	4																																																																															
	周防灘断層群主部	0	1																																																																															
(2) - ①	別府地溝南線断層帯																																																																																	
	崩平山-万年山地溝北線断層帯																																																																																	
	プレート内地震																																																																																	
	東南海・南海地震																																																																																	
第1節-1の区分	地震名	直接被害額	間接被害額																																																																															
(1) - ①	南海トラフ巨大地震	1.3	0.4																																																																															
	別府湾の地震(慶長豊後型地震)	2.9	0.8																																																																															
	周防灘断層群主部	0.1	0.1																																																																															
(2) - ①	別府地溝南線断層帯																																																																																	
	崩平山-万年山地溝北線断層帯																																																																																	
	プレート内地震																																																																																	
	東南海・南海地震																																																																																	

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後																																																																																				
	<p>(9) 鉄道施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>路線</th> <th>被害箇所数 (箇所)</th> <th>被害率 (箇所/km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">中央構造線断層帯による地震</td> <td>日豊線</td> <td>140</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>92</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>36</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>日田彦山線</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>268</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">日出生断層帯による地震</td> <td>日豊線</td> <td>70</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>79</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>11</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>日田彦山線</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>160</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">万年山・崩平山断層帯による地震</td> <td>日豊線</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>60</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日田彦山線</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>68</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">南海トラフの巨大地震</td> <td>日豊線</td> <td>53</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>21</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>28</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>日田彦山線</td> <td>1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>103</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">周防灘断層群主部による地震</td> <td>日豊線</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>久大線</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>豊肥線</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日田彦山線</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	地震名	路線	被害箇所数 (箇所)	被害率 (箇所/km)	中央構造線断層帯による地震	日豊線	140	0.7	久大線	92	0.8	豊肥線	36	0.5	日田彦山線	0	0	合計	268	0.7	日出生断層帯による地震	日豊線	70	0.4	久大線	79	0.7	豊肥線	11	0.1	日田彦山線	0	0	合計	160	0.4	万年山・崩平山断層帯による地震	日豊線	4	0	久大線	60	0.6	豊肥線	4	0	日田彦山線	0	0	合計	68	0.2	南海トラフの巨大地震	日豊線	53	0.3	久大線	21	0.2	豊肥線	28	0.4	日田彦山線	1	0.1	合計	103	0.3	周防灘断層群主部による地震	日豊線	8	0	久大線	0	0	豊肥線	0	0	日田彦山線	0	0	合計	8	0
地震名	路線	被害箇所数 (箇所)	被害率 (箇所/km)																																																																																		
中央構造線断層帯による地震	日豊線	140	0.7																																																																																		
	久大線	92	0.8																																																																																		
	豊肥線	36	0.5																																																																																		
	日田彦山線	0	0																																																																																		
	合計	268	0.7																																																																																		
日出生断層帯による地震	日豊線	70	0.4																																																																																		
	久大線	79	0.7																																																																																		
	豊肥線	11	0.1																																																																																		
	日田彦山線	0	0																																																																																		
	合計	160	0.4																																																																																		
万年山・崩平山断層帯による地震	日豊線	4	0																																																																																		
	久大線	60	0.6																																																																																		
	豊肥線	4	0																																																																																		
	日田彦山線	0	0																																																																																		
	合計	68	0.2																																																																																		
南海トラフの巨大地震	日豊線	53	0.3																																																																																		
	久大線	21	0.2																																																																																		
	豊肥線	28	0.4																																																																																		
	日田彦山線	1	0.1																																																																																		
	合計	103	0.3																																																																																		
周防灘断層群主部による地震	日豊線	8	0																																																																																		
	久大線	0	0																																																																																		
	豊肥線	0	0																																																																																		
	日田彦山線	0	0																																																																																		
	合計	8	0																																																																																		

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後																																																																																																																																										
	<p>(10) 港湾施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">地震名</th> <th rowspan="3">港湾</th> <th rowspan="3">バース数 (箇所)</th> <th colspan="2">被害バース数(箇所)</th> </tr> <tr> <th>レベルⅡ</th> <th>レベルⅢ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">中央構造線断層帯による地震</td> <td>大分港</td> <td>68</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>8 (1)</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3 (1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中津港</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>99 (2)</td> <td>75</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">日出生断層帯による地震</td> <td>大分港</td> <td>68</td> <td>40</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>8 (1)</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3 (1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中津港</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>99 (2)</td> <td>49</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>大分港</td> <td>68</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>8 (1)</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3 (1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中津港</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>99 (2)</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">南海トラフの巨大地震</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>20</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9 (1)</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3 (1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>中津港</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82 (2)</td> <td>28</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">周防灘断層群主部による地震</td> <td>大分港</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>別府港</td> <td>9 (1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>津久見港</td> <td>3 (1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>佐伯港</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>中津港</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82 (2)</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「バース数」欄の ( ) 内は耐震バース数 (内数)。          ※レベルⅡ：短期間で修復可、レベルⅢ：ほぼ崩壊、かつ、復旧に長期間を要する。</p>					地震名	港湾	バース数 (箇所)	被害バース数(箇所)		レベルⅡ	レベルⅢ			中央構造線断層帯による地震	大分港	68	68	68	別府港	8 (1)	7	7	津久見港	3 (1)	0	0	佐伯港	13	0	0	中津港	7	0	0	合計	99 (2)	75	75	日出生断層帯による地震	大分港	68	40	24	別府港	8 (1)	7	7	津久見港	3 (1)	0	0	佐伯港	13	0	0	中津港	7	2	1	合計	99 (2)	49	32	万年山-崩平山断層帯による地震	大分港	68	5	1	別府港	8 (1)	2	1	津久見港	3 (1)	0	0	佐伯港	13	0	0	中津港	7	0	0	合計	99 (2)	7	2	南海トラフの巨大地震	大分港	51	20	8	別府港	9 (1)	1	0	津久見港	3 (1)	0	0	佐伯港	12	7	4	中津港	7	0	0	合計	82 (2)	28	12	周防灘断層群主部による地震	大分港	51	0	0	別府港	9 (1)	0	0	津久見港	3 (1)	0	0	佐伯港	12	0	0	中津港	7	3	1	合計	82 (2)	3	1
地震名	港湾	バース数 (箇所)	被害バース数(箇所)																																																																																																																																								
			レベルⅡ	レベルⅢ																																																																																																																																							
中央構造線断層帯による地震	大分港	68	68	68																																																																																																																																							
	別府港	8 (1)	7	7																																																																																																																																							
	津久見港	3 (1)	0	0																																																																																																																																							
	佐伯港	13	0	0																																																																																																																																							
	中津港	7	0	0																																																																																																																																							
	合計	99 (2)	75	75																																																																																																																																							
日出生断層帯による地震	大分港	68	40	24																																																																																																																																							
	別府港	8 (1)	7	7																																																																																																																																							
	津久見港	3 (1)	0	0																																																																																																																																							
	佐伯港	13	0	0																																																																																																																																							
	中津港	7	2	1																																																																																																																																							
	合計	99 (2)	49	32																																																																																																																																							
万年山-崩平山断層帯による地震	大分港	68	5	1																																																																																																																																							
	別府港	8 (1)	2	1																																																																																																																																							
	津久見港	3 (1)	0	0																																																																																																																																							
	佐伯港	13	0	0																																																																																																																																							
	中津港	7	0	0																																																																																																																																							
	合計	99 (2)	7	2																																																																																																																																							
南海トラフの巨大地震	大分港	51	20	8																																																																																																																																							
	別府港	9 (1)	1	0																																																																																																																																							
	津久見港	3 (1)	0	0																																																																																																																																							
	佐伯港	12	7	4																																																																																																																																							
	中津港	7	0	0																																																																																																																																							
	合計	82 (2)	28	12																																																																																																																																							
周防灘断層群主部による地震	大分港	51	0	0																																																																																																																																							
	別府港	9 (1)	0	0																																																																																																																																							
	津久見港	3 (1)	0	0																																																																																																																																							
	佐伯港	12	0	0																																																																																																																																							
	中津港	7	3	1																																																																																																																																							
	合計	82 (2)	3	1																																																																																																																																							

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後																																																																																															
	<p>(11) 避難所生活者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>1日後</th> <th>1週間後</th> <th>1か月後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>277,967</td> <td>242,562</td> <td>206,951</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>116,344</td> <td>96,291</td> <td>47,634</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>11,019</td> <td>7,757</td> <td>3,127</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>109,562</td> <td>99,124</td> <td>64,131</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>2,931</td> <td>2,596</td> <td>2,140</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>35,241</td> <td>29,388</td> <td>7,137</td> </tr> </tbody> </table> <p>(12) 帰宅困難者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>通勤・通学者 (人)</th> <th>帰宅困難者 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">606,644</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">72,756</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> </tr> </tbody> </table> <p>(13) 医療対応不足数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>重篤者 (人)</th> <th>重傷者 (人)</th> <th>中等傷者 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>△581</td> <td>△3,807</td> <td>△965</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>△180</td> <td>499</td> <td>10,501</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>22</td> <td>2,115</td> <td>14,809</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>△5</td> <td>△620</td> <td>7,072</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>7</td> <td>1,601</td> <td>11,635</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>5</td> <td>1,087</td> <td>11,965</td> </tr> </tbody> </table> <p>(14) 仮設トイレ需要量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>人数 (人)</th> <th>必要量 (基/100人)</th> <th>必要量 (基/50人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>248,715</td> <td>2,488</td> <td>4,974</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>87,110</td> <td>872</td> <td>1,741</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>5,855</td> <td>58</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>88,805</td> <td>888</td> <td>1,776</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>2,455</td> <td>25</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>21,173</td> <td>212</td> <td>422</td> </tr> </tbody> </table>	地震名	1日後	1週間後	1か月後	中央構造線断層帯による地震	277,967	242,562	206,951	日出生断層帯による地震	116,344	96,291	47,634	万年山-崩平山断層帯による地震	11,019	7,757	3,127	南海トラフの巨大地震	109,562	99,124	64,131	周防灘断層群主部による地震	2,931	2,596	2,140	プレート内地震	35,241	29,388	7,137	地震名	通勤・通学者 (人)	帰宅困難者 (人)	中央構造線断層帯による地震	606,644	72,756	日出生断層帯による地震	万年山-崩平山断層帯による地震	南海トラフの巨大地震	周防灘断層群主部による地震	プレート内地震	地震名	重篤者 (人)	重傷者 (人)	中等傷者 (人)	中央構造線断層帯による地震	△581	△3,807	△965	日出生断層帯による地震	△180	499	10,501	万年山-崩平山断層帯による地震	22	2,115	14,809	南海トラフの巨大地震	△5	△620	7,072	周防灘断層群主部による地震	7	1,601	11,635	プレート内地震	5	1,087	11,965	地震名	人数 (人)	必要量 (基/100人)	必要量 (基/50人)	中央構造線断層帯による地震	248,715	2,488	4,974	日出生断層帯による地震	87,110	872	1,741	万年山-崩平山断層帯による地震	5,855	58	116	南海トラフの巨大地震	88,805	888	1,776	周防灘断層群主部による地震	2,455	25	48	プレート内地震	21,173	212	422
地震名	1日後	1週間後	1か月後																																																																																													
中央構造線断層帯による地震	277,967	242,562	206,951																																																																																													
日出生断層帯による地震	116,344	96,291	47,634																																																																																													
万年山-崩平山断層帯による地震	11,019	7,757	3,127																																																																																													
南海トラフの巨大地震	109,562	99,124	64,131																																																																																													
周防灘断層群主部による地震	2,931	2,596	2,140																																																																																													
プレート内地震	35,241	29,388	7,137																																																																																													
地震名	通勤・通学者 (人)	帰宅困難者 (人)																																																																																														
中央構造線断層帯による地震	606,644	72,756																																																																																														
日出生断層帯による地震																																																																																																
万年山-崩平山断層帯による地震																																																																																																
南海トラフの巨大地震																																																																																																
周防灘断層群主部による地震																																																																																																
プレート内地震																																																																																																
地震名	重篤者 (人)	重傷者 (人)	中等傷者 (人)																																																																																													
中央構造線断層帯による地震	△581	△3,807	△965																																																																																													
日出生断層帯による地震	△180	499	10,501																																																																																													
万年山-崩平山断層帯による地震	22	2,115	14,809																																																																																													
南海トラフの巨大地震	△5	△620	7,072																																																																																													
周防灘断層群主部による地震	7	1,601	11,635																																																																																													
プレート内地震	5	1,087	11,965																																																																																													
地震名	人数 (人)	必要量 (基/100人)	必要量 (基/50人)																																																																																													
中央構造線断層帯による地震	248,715	2,488	4,974																																																																																													
日出生断層帯による地震	87,110	872	1,741																																																																																													
万年山-崩平山断層帯による地震	5,855	58	116																																																																																													
南海トラフの巨大地震	88,805	888	1,776																																																																																													
周防灘断層群主部による地震	2,455	25	48																																																																																													
プレート内地震	21,173	212	422																																																																																													

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後																																																																													
<p>○ 減災対策による軽減効果 <u>（南海トラフの巨大地震）</u></p>	<p>(15) 瓦礫発生量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>重量 (トン)</th> <th>体積 (m<sup>3</sup>)</th> <th>東京ドーム (個分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央・「隼断層帯による地震</td> <td>10,628,961</td> <td>12,536,691</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>2,272,003</td> <td>2,919,970</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>万年山・嵯平山断層帯による地震</td> <td>254,708</td> <td>386,072</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>2,746,645</td> <td>4,535,810</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>104,049</td> <td>167,150</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>809,593</td> <td>837,271</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(16) 孤立集落</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>農業集落</th> <th>漁業集落</th> <th>農業・漁業集落</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央・「隼断層帯による地震</td> <td>21</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>万年山・嵯平山断層帯による地震</td> <td>27</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>23</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>0</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(17) 経済被害</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>直接被害額 (兆円)</th> <th>間接被害額 (兆円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央・「隼断層帯による地震</td> <td>3</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>万年山・嵯平山断層帯による地震</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>1.3</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 減災対策による軽減効果__</p>	地震名	重量 (トン)	体積 (m <sup>3</sup> )	東京ドーム (個分)	中央・「隼断層帯による地震	10,628,961	12,536,691	10.1	日出生断層帯による地震	2,272,003	2,919,970	2.4	万年山・嵯平山断層帯による地震	254,708	386,072	0.3	南海トラフの巨大地震	2,746,645	4,535,810	3.7	周防灘断層群主部による地震	104,049	167,150	0.1	プレート内地震	809,593	837,271	0.7	地震名	農業集落	漁業集落	農業・漁業集落	中央・「隼断層帯による地震	21	0	2	日出生断層帯による地震	29	0	0	万年山・嵯平山断層帯による地震	27	0	0	南海トラフの巨大地震	23	11		周防灘断層群主部による地震	0	1		プレート内地震				地震名	直接被害額 (兆円)	間接被害額 (兆円)	中央・「隼断層帯による地震	3	0.8	日出生断層帯による地震	0.8	0.2	万年山・嵯平山断層帯による地震	0.1	0.1	南海トラフの巨大地震	1.3	0.4	周防灘断層群主部による地震	0.1	0.1	プレート内地震		
地震名	重量 (トン)	体積 (m <sup>3</sup> )	東京ドーム (個分)																																																																											
中央・「隼断層帯による地震	10,628,961	12,536,691	10.1																																																																											
日出生断層帯による地震	2,272,003	2,919,970	2.4																																																																											
万年山・嵯平山断層帯による地震	254,708	386,072	0.3																																																																											
南海トラフの巨大地震	2,746,645	4,535,810	3.7																																																																											
周防灘断層群主部による地震	104,049	167,150	0.1																																																																											
プレート内地震	809,593	837,271	0.7																																																																											
地震名	農業集落	漁業集落	農業・漁業集落																																																																											
中央・「隼断層帯による地震	21	0	2																																																																											
日出生断層帯による地震	29	0	0																																																																											
万年山・嵯平山断層帯による地震	27	0	0																																																																											
南海トラフの巨大地震	23	11																																																																												
周防灘断層群主部による地震	0	1																																																																												
プレート内地震																																																																														
地震名	直接被害額 (兆円)	間接被害額 (兆円)																																																																												
中央・「隼断層帯による地震	3	0.8																																																																												
日出生断層帯による地震	0.8	0.2																																																																												
万年山・嵯平山断層帯による地震	0.1	0.1																																																																												
南海トラフの巨大地震	1.3	0.4																																																																												
周防灘断層群主部による地震	0.1	0.1																																																																												
プレート内地震																																																																														

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編

### 第1部 総則

改正前	改正後																																																																																																																																																																																								
<p>(1) 避難の迅速化、津波避難ビルの指定による人的被害の軽減（各地震で人的被害が最大となるケース） 【死者数（人）】</p> <p>① 早期避難率が高く、避難の呼びかけが効果的に行われた場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>最大死者数(a)</th> <th>効果的な避難ができた場合の最大死者数(b)</th> <th>減少数(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南海トラフの地震</td> <td>21,923</td> <td>697</td> <td>21,226</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震</td> <td>36,399</td> <td>14,156</td> <td>22,243</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>959</td> <td>515</td> <td>444</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 津波避難ビルが効果的に機能した場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>最大死者数(a)</th> <th>津波避難ビルが機能した場合の最大死者数(b)</th> <th>減少数(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南海トラフの地震</td> <td>21,923</td> <td>10,497</td> <td>11,426</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震</td> <td>36,399</td> <td>15,152</td> <td>21,247</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>959</td> <td>921</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 迅速な避難と津波避難ビルが効果的に機能した場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>最大死者数(a)</th> <th>迅速避難ができ、避難ビルが機能した場合の最大死者数(b)</th> <th>減少数(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南海トラフの地震</td> <td>21,923</td> <td>639</td> <td>21,284</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震</td> <td>36,399</td> <td>7,285</td> <td>29,114</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>959</td> <td>477</td> <td>482</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 建物耐震化による人的被害の軽減（建物倒壊による死者数が最大となる朝5時の場合） 【死者数（人）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>耐震補強前(a)</th> <th>耐震補強後(b)</th> <th>減少数(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南海トラフの地震</td> <td>68</td> <td>9</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震</td> <td>2,374</td> <td>1,265</td> <td>1,109</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 建物耐震化による建物被害の軽減 【全壊棟数（棟）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>耐震補強前(a)</th> <th>耐震補強後(b)</th> <th>減少数(b-a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南海トラフの地震</td> <td>3,005</td> <td>665</td> <td>2,340</td> </tr> <tr> <td>別府湾の地震</td> <td>63,417</td> <td>34,087</td> <td>29,330</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部</td> <td>93</td> <td>9</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table>	地震名	最大死者数(a)	効果的な避難ができた場合の最大死者数(b)	減少数(b-a)	南海トラフの地震	21,923	697	21,226	別府湾の地震	36,399	14,156	22,243	周防灘断層群主部	959	515	444	地震名	最大死者数(a)	津波避難ビルが機能した場合の最大死者数(b)	減少数(b-a)	南海トラフの地震	21,923	10,497	11,426	別府湾の地震	36,399	15,152	21,247	周防灘断層群主部	959	921	38	地震名	最大死者数(a)	迅速避難ができ、避難ビルが機能した場合の最大死者数(b)	減少数(b-a)	南海トラフの地震	21,923	639	21,284	別府湾の地震	36,399	7,285	29,114	周防灘断層群主部	959	477	482	地震名	耐震補強前(a)	耐震補強後(b)	減少数(b-a)	南海トラフの地震	68	9	59	別府湾の地震	2,374	1,265	1,109	周防灘断層群主部	1	0	1	地震名	耐震補強前(a)	耐震補強後(b)	減少数(b-a)	南海トラフの地震	3,005	665	2,340	別府湾の地震	63,417	34,087	29,330	周防灘断層群主部	93	9	84	<p>(1) 避難の迅速化、津波避難ビルの指定による人的被害の軽減（各地震で人的被害が最大となるケース）</p> <p>① 早期避難率が高く、避難の呼びかけが効果的に行われた場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>最大死者数(a) (人)</th> <th>効果的な避難ができた場合の最大死者数(b) (人)</th> <th>減少数(a-b) (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震（冬18時）</td> <td>27,587</td> <td>10,716</td> <td>16,871</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震（夏12時）</td> <td>20,023</td> <td>538</td> <td>19,485</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震（冬18時）</td> <td>924</td> <td>483</td> <td>441</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 津波避難ビルが効果的に機能した場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>最大死者数(a) (人)</th> <th>津波避難ビルが機能した場合の最大死者数(b) (人)</th> <th>減少数(a-b) (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震（冬18時）</td> <td>27,587</td> <td>10,135</td> <td>17,452</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震（夏12時）</td> <td>20,023</td> <td>9,252</td> <td>10,771</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震（冬18時）</td> <td>924</td> <td>898</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 迅速な避難と津波避難ビルが効果的に機能した場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>最大死者数(a) (人)</th> <th>迅速避難ができ、避難ビルが機能した場合の最大死者数(b) (人)</th> <th>減少数(a-b) (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震（冬18時）</td> <td>27,587</td> <td>5,007</td> <td>22,580</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震（夏12時）</td> <td>20,023</td> <td>441</td> <td>19,582</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震（冬18時）</td> <td>924</td> <td>456</td> <td>468</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 建物耐震化による人的被害の軽減（建物倒壊による死者数が最大となる冬5時の場合）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>耐震補強前(a) (人)</th> <th>耐震補強後(b) (人)</th> <th>減少数(a-b) (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>2,214</td> <td>1,309</td> <td>905</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>354</td> <td>116</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>19</td> <td>3</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>62</td> <td>9</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 建物耐震化による建物被害の軽減</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地震名</th> <th>耐震補強前(a) (棟)</th> <th>耐震補強後(b) (棟)</th> <th>減少数(a-b) (棟)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央構造線断層帯による地震</td> <td>56,368</td> <td>33,854</td> <td>22,514</td> </tr> <tr> <td>日出生断層帯による地震</td> <td>11,347</td> <td>4,041</td> <td>7,306</td> </tr> <tr> <td>万年山-崩平山断層帯による地震</td> <td>1,903</td> <td>412</td> <td>1,491</td> </tr> <tr> <td>南海トラフの巨大地震</td> <td>2,899</td> <td>675</td> <td>2,224</td> </tr> <tr> <td>周防灘断層群主部による地震</td> <td>88</td> <td>9</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>プレート内地震</td> <td>869</td> <td>188</td> <td>681</td> </tr> </tbody> </table>	地震名	最大死者数(a) (人)	効果的な避難ができた場合の最大死者数(b) (人)	減少数(a-b) (人)	中央構造線断層帯による地震（冬18時）	27,587	10,716	16,871	南海トラフの巨大地震（夏12時）	20,023	538	19,485	周防灘断層群主部による地震（冬18時）	924	483	441	地震名	最大死者数(a) (人)	津波避難ビルが機能した場合の最大死者数(b) (人)	減少数(a-b) (人)	中央構造線断層帯による地震（冬18時）	27,587	10,135	17,452	南海トラフの巨大地震（夏12時）	20,023	9,252	10,771	周防灘断層群主部による地震（冬18時）	924	898	26	地震名	最大死者数(a) (人)	迅速避難ができ、避難ビルが機能した場合の最大死者数(b) (人)	減少数(a-b) (人)	中央構造線断層帯による地震（冬18時）	27,587	5,007	22,580	南海トラフの巨大地震（夏12時）	20,023	441	19,582	周防灘断層群主部による地震（冬18時）	924	456	468	地震名	耐震補強前(a) (人)	耐震補強後(b) (人)	減少数(a-b) (人)	中央構造線断層帯による地震	2,214	1,309	905	日出生断層帯による地震	354	116	238	万年山-崩平山断層帯による地震	19	3	16	南海トラフの巨大地震	62	9	53	周防灘断層群主部による地震	0	0	0	プレート内地震	17	2	15	地震名	耐震補強前(a) (棟)	耐震補強後(b) (棟)	減少数(a-b) (棟)	中央構造線断層帯による地震	56,368	33,854	22,514	日出生断層帯による地震	11,347	4,041	7,306	万年山-崩平山断層帯による地震	1,903	412	1,491	南海トラフの巨大地震	2,899	675	2,224	周防灘断層群主部による地震	88	9	79	プレート内地震	869	188	681
地震名	最大死者数(a)	効果的な避難ができた場合の最大死者数(b)	減少数(b-a)																																																																																																																																																																																						
南海トラフの地震	21,923	697	21,226																																																																																																																																																																																						
別府湾の地震	36,399	14,156	22,243																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部	959	515	444																																																																																																																																																																																						
地震名	最大死者数(a)	津波避難ビルが機能した場合の最大死者数(b)	減少数(b-a)																																																																																																																																																																																						
南海トラフの地震	21,923	10,497	11,426																																																																																																																																																																																						
別府湾の地震	36,399	15,152	21,247																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部	959	921	38																																																																																																																																																																																						
地震名	最大死者数(a)	迅速避難ができ、避難ビルが機能した場合の最大死者数(b)	減少数(b-a)																																																																																																																																																																																						
南海トラフの地震	21,923	639	21,284																																																																																																																																																																																						
別府湾の地震	36,399	7,285	29,114																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部	959	477	482																																																																																																																																																																																						
地震名	耐震補強前(a)	耐震補強後(b)	減少数(b-a)																																																																																																																																																																																						
南海トラフの地震	68	9	59																																																																																																																																																																																						
別府湾の地震	2,374	1,265	1,109																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部	1	0	1																																																																																																																																																																																						
地震名	耐震補強前(a)	耐震補強後(b)	減少数(b-a)																																																																																																																																																																																						
南海トラフの地震	3,005	665	2,340																																																																																																																																																																																						
別府湾の地震	63,417	34,087	29,330																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部	93	9	84																																																																																																																																																																																						
地震名	最大死者数(a) (人)	効果的な避難ができた場合の最大死者数(b) (人)	減少数(a-b) (人)																																																																																																																																																																																						
中央構造線断層帯による地震（冬18時）	27,587	10,716	16,871																																																																																																																																																																																						
南海トラフの巨大地震（夏12時）	20,023	538	19,485																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部による地震（冬18時）	924	483	441																																																																																																																																																																																						
地震名	最大死者数(a) (人)	津波避難ビルが機能した場合の最大死者数(b) (人)	減少数(a-b) (人)																																																																																																																																																																																						
中央構造線断層帯による地震（冬18時）	27,587	10,135	17,452																																																																																																																																																																																						
南海トラフの巨大地震（夏12時）	20,023	9,252	10,771																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部による地震（冬18時）	924	898	26																																																																																																																																																																																						
地震名	最大死者数(a) (人)	迅速避難ができ、避難ビルが機能した場合の最大死者数(b) (人)	減少数(a-b) (人)																																																																																																																																																																																						
中央構造線断層帯による地震（冬18時）	27,587	5,007	22,580																																																																																																																																																																																						
南海トラフの巨大地震（夏12時）	20,023	441	19,582																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部による地震（冬18時）	924	456	468																																																																																																																																																																																						
地震名	耐震補強前(a) (人)	耐震補強後(b) (人)	減少数(a-b) (人)																																																																																																																																																																																						
中央構造線断層帯による地震	2,214	1,309	905																																																																																																																																																																																						
日出生断層帯による地震	354	116	238																																																																																																																																																																																						
万年山-崩平山断層帯による地震	19	3	16																																																																																																																																																																																						
南海トラフの巨大地震	62	9	53																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部による地震	0	0	0																																																																																																																																																																																						
プレート内地震	17	2	15																																																																																																																																																																																						
地震名	耐震補強前(a) (棟)	耐震補強後(b) (棟)	減少数(a-b) (棟)																																																																																																																																																																																						
中央構造線断層帯による地震	56,368	33,854	22,514																																																																																																																																																																																						
日出生断層帯による地震	11,347	4,041	7,306																																																																																																																																																																																						
万年山-崩平山断層帯による地震	1,903	412	1,491																																																																																																																																																																																						
南海トラフの巨大地震	2,899	675	2,224																																																																																																																																																																																						
周防灘断層群主部による地震	88	9	79																																																																																																																																																																																						
プレート内地震	869	188	681																																																																																																																																																																																						
2 減災目標と具体的な防災・減災対策	2 減災目標と具体的な防災・減災対策																																																																																																																																																																																								

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第1部 総則

改正前	改正後
<p>1の人的・物的被害の想定を踏まえ、人命最優先にソフトとハード対策を組み合わせ、第2部災害予防で記載する防災・減災対策を推進するほか、想定される人的・物的被害を最小限にするため、具体的な減災目標を定めた「大分県地震・津波__対策アクションプラン」を策定し、進行管理を行うとともに、市町村と目標を共有しながら推進するものとする（平成26年3月策定、計画期間は平成26年度から30年度までの5年間。）。</p> <p>○ 大分県地震・津波対策アクションプラン</p> <p>(1) 減災目標</p> <p><u>喫緊の課題である南海トラフ巨大地震について、大分県地震津波被害想定調査で示された死者数約2万2千人を約7百人に抑制することを目標とする。</u></p> <p><u>なお、活断層型内陸地震及び別府湾、周防灘断層群主部の地震については、被害想定調査の人的被害（死者数）を平成30年度までに半減することを目標とする。</u></p> <p>(新設)</p> <p>(2) 具体的な防災・減災対策（施策体系）</p> <p>上記減災目標を達成するために、次のとおり「3つの柱」「27の施策項目」「104の対策項目」の施策体系に沿って、着実に推進する。</p>	<p>1の人的・物的被害の想定を踏まえ、人命最優先にソフトとハード対策を組み合わせ、第2部災害予防で記載する防災・減災対策を推進するほか、想定される人的・物的被害を最小限にするため、具体的な減災目標を定めた「大分県地震・津波<u>防災</u>アクションプラン」を策定し、進行管理を行うとともに、市町村と目標を共有しながら推進するものとする（平成31年3月策定、計画期間は平成31年度から35年度までの5年間。）。</p> <p>○ 大分県地震・津波対策アクションプラン</p> <p>(1) 減災目標</p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>大分県地震被害想定調査の対象となっている各地震において想定されている死者数の半減を目指し、その中でも、喫緊の課題である南海トラフの巨大地震については、同調査で示された軽減効果（死者数約2万人を約6百人に軽減）の達成を目指す。</u></p> <p><u>さらに、これらの目標にとどまらず、死者数を限りなくゼロにすることを目指す。</u></p> <p>(2) 具体的な防災・減災対策（施策体系）</p> <p>上記減災目標を達成するために、次のとおり「3つの柱」「27の施策項目」「<u>97のアクションプラン項目</u>」の施策体系に沿って、着実に推進する。</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前							改正後										
柱	施策項目	具体的な施策項目	アクションプラン項目	目標指標	直近の実績値		数値目標		柱	施策項目	具体的な施策項目	アクションプラン項目	目標指標	直近の実績値		数値目標	
					年度	年度	年度	年度						年度	年度		
1 事前 防災	(1) 津波防災対策	1) 津波に強い地域構造の構築	1 海岸保全施設の整備	1 海岸保全施設整備延長	21km	H24	28km	H30	(1) 津波防災対策	1) 津波に強い地域構造の構築	1 海岸保全施設の整備	1 海岸保全施設整備延長	28.1km	H29	32.9km	H35	
			2 耐震強化岸壁の整備	2 耐震強化岸壁整備率	33%	H24	66%	H30			2 耐震強化岸壁整備率	54%	H29	66%	H32		
			3 河川堤防の耐震性調査								3 河川堤防の耐震対策						
		4 津波ハザードマップの作成支援						4 水門等の津波対策の推進									
		5 市町村津波避難計画の策定	③ 策定市町村数	0市町村	H24	12市町村	H26	5 津波ハザードマップの活用支援									
		6 地域津波避難行動計画の策定	④ 策定自主防災組織等数(浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	0地区	H24	619地区	H26	6 津波避難訓練の実施									
		7 津波避難訓練の実施						7 住民等への情報提供									
		8 避難場所、避難路等の確保(津波避難ビル等の活用含む)	⑤ 整備完了自主防災組織等数	0地区	H24	619地区	H27	8 県民安全・安心メール及び防災アプリの登録数		26,281人	H29	37,000人	H35				
		9 防災メールの配信	6 県民安全・安心メール登録者数	18,848人	H24	30,000人	H27										
		10 防災行政無線の整備	⑦ 整備市町村数	17市町村	H24	18市町村	H30										
	(2) 安全で確実な避難の確保	2) 安全で確実な避難の確保	11 住宅の耐震化	⑧ 住宅の耐震化率	72%	H23	90%	H27	(2) 建築物の耐震化等	1) 住宅・公共施設等の耐震化の促進	8 住宅の耐震化	④ 住宅の耐震化率	75%	H27	82%	H32	
			12 県立高校の耐震化(屋内運動場等の天井等落下防止策)	9 非構造部材耐震対策実施校数(屋内運動場等の天井等落下防止策)	0	H24	100%	H27			9 警察署の耐震化	93%	H29	100%	H35		
			13 公立小・中学校の耐震化	10 耐震化率	74.1%	H22	100%	H27			10 消防庁舎の耐震化	92%	H29	100%	H35		
			14 私立学校の耐震化	11 耐震化率	80.6%	H24	90%	H27			11 病院の耐震化	82%	H29	90%	H35		
			15 警察署の耐震化	12 耐震化率	80%	H24	93%	H30			12 社会福祉施設の耐震化	96%	H29	98%	H35		
			16 消防庁舎の耐震化	13 耐震化率	69%	H24	95%	H30			13 特定建築物の耐震化	88%	H29	94%	H32		
			17 病院の耐震化	14 病院の耐震化率	72%	H24	90%	H30									
			18 社会福祉施設の耐震化	15 社会福祉施設の耐震化率	90%	H24	93%	H30									
			19 特定建築物の耐震化	16 特定建築物の耐震化率	83%	H23	90%	H27									
			20 エレベーターの閉じ込め防止														
			21 家具の固定化	17 家具(テレビ、タンス、食器棚)の固定率	20%	H25	50%	H30									
			22 窓ガラスの落下防止														
			23 ブロック塀の倒壊防止														
(3) 一般建築物の安全性の確保	2) 一般建築物の安全性の確保	22 窓ガラスの落下防止						(3) 火災対策	2) 避難体制の整備	22 窓ガラスの落下防止							
		23 ブロック塀の倒壊防止								22 感震ブレーカー等による火災対策の促進							
										23 住宅用火災警報器の設置	15 推計設置率	80%	H29	100%	H35		
										24 重点密集市街地の整備	16 改善した重点密集市街地の面積	20.4ha	H29	26.4ha	H32		
										25 ブロック塀の倒壊防止(再掲)							
										26 自動販売機の転倒防止							
										27 無電柱化の推進							

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第1部 総則

改正前							改正後																		
柱	施策項目	具体的な施策項目	アクションプラン項目	目標指標	直近の実績値		数値目標		柱	施策項目	具体的な施策項目	アクションプラン項目	目標指標	直近の実績値		数値目標									
					年度	年度	年度	年度						年度	年度										
1 事前防災	(3)火災対策	1)出火防止対策	24 感震ブリーカー等による火災対策の促進						(4)土砂災害・地盤災害対策	28 土砂災害対策(土石流対策、がけ崩れ対策・地すべり対策)	17 土砂災害対策施設整備率	29.4%	H29	31.8%	H30										
			25 住宅用火災警報器の設置	18 推計設置率	88%	H25	100%	H30																	
			26 重点密集市街地の整備	19 改善した重点密集市街地の面積	8.9ha	H24	26ha	H30																	
		2)避難体制の整備	27 ブロック単位の閉鎖防止(再掲)							29 山地災害危険地区整備数	18 山地災害危険地区整備数	2,158地区	H29	2,162地区	H30										
			28 自動販売機の転倒防止									(5)ライフライン・インフラの確保対策	30 ライフライン事業者との連携強化	19 官民連携会議の開催	1回	H29	1回	毎年度							
			29 無電柱化の推進												31 水道施設の基幹管路の耐震化	20 基幹管路の耐震化延長	142.6km	H29	168km	H30					
	(4)土砂災害・地盤災害対策	30 土砂災害対策(土石流対策、がけ崩れ対策・地すべり対策)	20 土砂災害から守られる人家戸数	26,191戸	H24	26,800戸	H27	32 大分県防災情報システムの整備・充実	33 道路橋の耐震補強	21 緊急輸送道路における橋梁耐震補強率	91%	H29	100%	H31											
			31 大規模盛土造成地の調査									(6)液状化対策	34 被害の未然防止(地盤災害防止)	35 学校における防災教育の推進	② 地域の実情に応じた避難訓練等の実施率	100%	H29	100%	毎年度						
			32 ライフライン事業者との連携強化													(7)防災教育・防災訓練の充実	36 地域・保護者と連携した学校防災組織の構築	37 地震体験車等の活用	23 地震体験車等による体験者数(1年度間)	11,249人	H29	11,000人以上	毎年度		
	(5)ライフライン・インフラの確保対策	33 水道施設の基幹管路の耐震化	21 基幹管路の耐震化率	18.9%	H23	20%	H30	38 総合防災訓練の実施	39 災害ボランティアセンターの体制整備	24 大分県災害時社協支援専門員数	6名	H30	22名	H34											
			34 大分県防災情報システムの整備								(8)総合的な防災力の向上	40 防災グッズフェアの開催	41 フォーラム等の開催	42 県民防災意識調査の実施	43 自主防災組織の結成促進	⑤ 自主防災組織率	86.70%	H29	100%	H30					
			35 道路橋の耐震補強	22 緊急輸送道路における橋梁耐震補強率	72%	H24	90%									H27	44 防災士の養成	45 女性防災士の養成	⑦ 防災士における女性防災士の割合	⑥ 自主防災組織等(住民30人以上)への防災士確保割合	71.50%	H29	100%	H30	
	(6)液状化対策	36 被害の未然防止(地盤災害防止)	22 緊急輸送道路における橋梁耐震補強率	72%	H24	90%	H27	46 総合防災訓練の実施(再掲)	47 自主防災組織の活動促進	⑧ 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	76.30%	H29	100%	H32											
			37 学校における防災教育の推進	③ 地域の実情に応じた避難訓練の実施率	40%	H25	100%								H30	48 地域における消防の充実・強化	⑩ 消防団員の乗防定数に対する割合	81.10%	H29	91.70%	毎年度				
			38 地震体験車等の活用	24 県内全小中学校で年1回体験活動を実施(大分市を除く)	-	H25	100%								毎年										
	(7)防災教育・防災訓練の充実	39 総合防災訓練の実施	24 県内全小中学校で年1回体験活動を実施(大分市を除く)	-	H25	100%	毎年	48 企業等と地域との連携	49 企業防災と地域防災の連携	50 市町村の災害対策本部の機能強化への支援	④ 災害対策本部設置・運営訓練等実施市町村数	9市町村	H29	18市町村	H30										
			40 災害ボランティアセンターの体制整備	25 災害ボランティアセンター運営リーダー数	3人	H25	80人									H27	(2)救助・救命対策	52 災害派遣医療チームの機能強化	32 大分DMAT隊員登録者数	507人	H29	600人	H30		
			41 防災グッズフェアの開催																					(3)医療対策	54 災害拠点病院の機能強化
	(8)ボランティアとの連携	42 県民防災意識調査の実施	25 災害ボランティアセンター運営リーダー数	3人	H25	80人	H27	55 消防広域化の推進	56 自主防災組織の活動促進(再掲)	57 住民等への情報提供(再掲)	⑨ 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	76.30%	H29	100%	H32										
			43 自主防災組織の結成促進	⑥ 自主防災組織率	91%	H23	97%									H30	(4)消火活動等	1)消防力の充実・強化	58 消防広域化の推進	59 自主防災組織の活動促進(再掲)	60 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	26,281人	H29	37,000人	H30
			44 防災士の養成	⑦ 防災士における女性防災士の割合	13.50%	H29	20%									H30									
	(9)総合的な防災力の向上	45 女性防災士の養成	⑦ 防災士における女性防災士の割合	13.50%	H29	20%	H30	59 民間物流事業者との協力体制の確立	36 総合防災訓練(実動訓練)での訓練回数	37 官民連携会議の開催	1回	H29	1回	毎年度											
			46 総合防災訓練の実施(再掲)	46 総合防災訓練の実施(再掲)											(6)燃料の把握・確保	60 交通確保・輸送体制の充実(燃料の確保)	61 民間物流事業者との協力体制の確立(再掲)	62 備蓄スペースの確保・分散化	23.40%	H29	30%	H30			
			47 自主防災組織の活動促進	⑧ 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	76.30%	H29	100%																H32		
1)事前防災に関する情報の周知	46 総合防災訓練の実施(再掲)	46 総合防災訓練の実施(再掲)					63 交通確保・輸送体制の充実(燃料の確保)	64 燃料・物資等の安定供給(再掲)	65 民間物流事業者との協力体制の確立(再掲)	66 避難者用の救助物資の備蓄等(市による公的備蓄)	① 現物備蓄物資(主査)充足率	36%	H24	100%	H30										
		47 自主防災組織の活動促進	⑧ 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	76.30%	H29	100%										H32									
		48 地域における消防の充実・強化	⑩ 消防団員の乗防定数に対する割合	81.10%	H29	91.70%										毎年度									
2)地域防災力の向上	47 自主防災組織の活動促進	⑧ 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	76.30%	H29	100%	H32	67 備蓄スペースの確保・分散化	68 市町村指定避難所数に占める備蓄箇所数の割合	10%	H25	14%	H30													
		48 自主防災組織の活動促進	⑧ 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	76.30%	H29	100%							H32												
		49 地域における消防の充実・強化	⑩ 消防団員の乗防定数に対する割合	81.10%	H29	91.70%							毎年度												
3)企業等と地域との連携	48 企業等と地域との連携	48 企業等と地域との連携																							
		(1)災害対策本部の機能強化	52 災害対策本部の機能強化	52 災害対策本部の機能強化																					
				(2)救助・救命対策	52 災害派遣医療チームの機能強化	52 災害派遣医療チームの機能強化																			
(3)医療対策	54 災害拠点病院の機能強化					54 災害拠点病院の機能強化																			
		(4)消火活動等	1)消防力の充実・強化			58 消防広域化の推進	59 自主防災組織の活動促進(再掲)	60 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域内に居住地域がある自主防災組織等)	26,281人	H29	37,000人	H30													
				(5)緊急輸送のための交通の確保・緊急輸送活動	1)交通規制対策、交通路の応急復旧等								58 緊急輸送道路の整備	36 総合防災訓練(実動訓練)での訓練回数	37 官民連携会議の開催	1回	H29	1回	毎年度						
(6)燃料の把握・確保	60 交通確保・輸送体制の充実(燃料の確保)																			61 民間物流事業者との協力体制の確立	62 備蓄スペースの確保・分散化	23.40%	H29	30%	H30
		(7)食料・水、生活必需品等の物資の調達	61 民間物流事業者との協力体制の確立(再掲)			62 備蓄スペースの確保・分散化	23.40%	H29	30%	H30															

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第1部 総則

改正前							改正後										
柱	施策項目	具体的な施策項目	アクションプラン項目	目標指標	直近の実績値		数値目標		柱	施策項目	具体的な施策項目	アクションプラン項目	目標指標	直近の実績値		数値目標	
					年度	年度	年度	年度						年度	年度		
2 災害発生時対応とそれへの備え	(8)避難者等への対応	1)災害時要援護者に対する支援	68 災害時要援護者避難の支援	③ 要援護者台帳作成市町村数	16市町村	H24	18市町村	H30	2 災害発生時対応とそれへの備え	(8)避難者等への対応	1)災害時要配慮者に対する支援	63 避難行動要支援者への避難支援	③ 平常時から地域へ避難行動要支援者名簿情報を提供している者の割合	41%	H29	60%	H35
			69 福祉避難所の指定	④ 指定済小学校区数の割合	56%	H24	100%	H30				64 福祉避難所の指定	④ 福祉避難所(福祉避難スペースを含む)を指定している小学校区の割合	62.60%	H29	100%	H35
			70 外国人への支援					65 外国人への支援				41 通訳・翻訳ボランティア確保数	18人	H29	30人	H35	
		2)避難者及び応急住宅需要等への対応	71 女性防災士の養成(再掲)	自主防災組織等への女性防災士確保割合(再掲)							66 女性防災士の養成(再掲)	再掲 防災士における女性防災士の割合	13.50%	H29	20%	H35	
			72 備蓄スペースの確保・分散化(再掲)	市町村指定避難所数に占める備蓄箇所数の割合(再掲)							67 備蓄スペースの確保・分散化(再掲)	再掲 市町村指定避難所数に占める備蓄箇所数の割合	23.40%	H29	30%	H35	
			73 食料・物資等の安定供給(再掲)	協定締結事業者数(再掲)							68 避難者の情報に関するニーズの把握及び情報提供体制の充実						
			74 避難者の情報に関するニーズの把握及び情報提供体制の充実								69 複数の安否確認手段を使用することの周知						
			75 複数の安否確認手段を使用することの必要性の周知								70 被災建築物応急危険度判定士の確保	41 被災建築物応急危険度判定士の登録者数	647人	H24	750人	H32	
			76 被災建築物応急危険度判定士の確保	41 被災建築物応急危険度判定士の登録者数	647人	H24	750人	H32			71 被災宅地危険度判定士の確保	42 被災宅地危険度判定士の登録者数	445人	H24	445人	H30	
			77 被災宅地危険度判定士の確保	42 被災宅地危険度判定士の登録者数	445人	H24	445人	H30			72 応急仮設住宅供給体制の確立	43 建設可能地データ整備市町村数	15市町村	H24	18市町村	H27	
	78 応急仮設住宅供給体制の確立	43 建設可能地データ整備市町村数	15市町村	H24	18市町村	H27											
	(9)帰宅困難者等への対応	1)滞留に伴う混乱の防止	79 宿泊場所の確保	④ 協定締結事業者数	0社	H25	10社	H30	(9)帰宅困難者等への対応	1)滞留に伴う混乱の防止	74 宿泊場所の確保	④ 協定締結事業者数	4市町	H29	17市町	H35	
			80 観光客への支援					75 観光客への支援									
		2)円滑な帰宅のための支援	81 コンビニ、外食店等立ち寄り所として利用	45 協定締結事業者数	12社	H23	15社	H30		2)円滑な帰宅のための支援	76 コンビニ、外食店等立ち寄り所として利用	47 協定締結事業者数	12社	H29	15社	H35	
			82 無電柱化の推進(再掲)					77 無電柱化の推進(再掲)									
			83 ブロック塀の倒壊防止(再掲)					78 ブロック塀の倒壊防止(再掲)									
		(10)保健衛生・防疫対策	災害時公衆衛生対策チーム(DPAT)の体制整備	84 被災地域の衛生環境の維持						(10)保健衛生・防疫対策	79 災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の体制整備						
				85 被災地域の衛生環境の維持							80 被災地域の衛生環境の維持						
		(11)遺体処理対策	被災者の入浴支援	86 被災者の入浴支援						(11)遺体処理対策	81 被災者の入浴支援						
				87 棺及び葬祭用品の確保	46 協定締結事業者団体数	0団体	H24	2団体			H27	82 広域火葬計画及び葬祭用品確保体制の周知	48 市町村説明会の開催回数	1回	H29	1回	毎年度
(12)災害廃棄物等の処理対策		災害廃棄物仮置場所等候補地の確保	88 選定市町村数	④ 選定市町村数	3市町村	H24	18市町村	H27		(12)災害廃棄物等の処理対策	83 災害廃棄物の円滑な処理	49 災害廃棄物処理研修会の開催	2回	H29	2回	毎年度	
	89 広域処理体制の構築							(13)防災情報対策	84 防災情報の収集体制の充実								
(13)防災情報対策	1)被災時における防災情報の共有化	90 防災情報の収集体制の充実					1)被災時における防災情報の共有化		85 関係機関との情報共有								
		91 関係機関との情報共有						2)マスメディアとの連携等	86 広報する情報の集約及び広報								
(14)社会秩序の確保・安定	2)マスメディアとの連携等	92 広報する情報の集約及び広報					(14)社会秩序の確保・安定		87 社会秩序維持のための活動								
		93 社会秩序維持のための活動						(15)様々な地域的課題への対応	88 孤立集落の通信手段の確保	50 避難所情報に関するサイン旗を使用した訓練等実施回数	1回	H29	1回	毎年度			
(15)様々な地域的課題への対応	1)孤立する危険度が高い集落への対応	94 孤立集落の通信手段の確保	④ 孤立する危険度が高い集落への通信手段の確保率	27%	H24	100%	H30		1)孤立する危険度が高い集落への対応	51 衛星携帯電話の操作訓練等実施回数	-	-	1回	毎年度			
		95 ため池対策	50 整備ため池数	480箇所	H24	510箇所	H27	2)農業、漁業等の地場産業被害の防止及び軽減		89 ため池対策	52 整備ため池数	518箇所	H29	572箇所	H35		
		96 海岸保全施設の整備(再掲)	海岸保全施設整備延長(再掲)				90 海岸保全施設の整備(再掲)			再掲 海岸保全施設整備延長	8.491km	H29	9.77km	H35			
(16)広域連携・支援体制の確立	2)農業、漁業等の地場産業被害の防止及び軽減	97 文化財の防災対策	51 文化財の現状に応じた修理や耐震対策の実施	50%	H25	100%	H30	3)文化財の防災対策	53 文化財の現状に応じた修理や耐震対策の実施	95%	H29	100%	H35				
		98 広域的な応援要請(職員の出発及び派遣あっせん要請)					(16)広域連携・支援体制の確立		92 広域的な応援要請(職員の派遣及び派遣あっせんの要請)								
(1)被災者等の生活再建等の支援	災害被災者住宅再建支援制度の実施	99 被災者住宅再建支援制度の実施						(1)被災者等の生活再建等の支援	93 災害被災者住宅再建支援制度による支援								
		100 被災住宅の被害認定調査の対応					94 地震保険の加入促進		54 地震保険加入世帯率	24.60%	H29	30.50%	H35				
		101 地震保険の加入促進	52 地震保険の加入促進	20.1%	H24	27.1%	H30		95 迅速かつ確実な権限証明の交付体制の確保								
		102 工業用水のバックアップ機能の強化	53 給水システムのネットワーク化	42%	H23	100%	H30		(2)経済の復興	96 企業への事業継続計画(BCP)の策定支援(大企業)	55 BCP策定企業の割合(大企業)	65%	H29	100%	H35		
103 事業継続計画(BCP)の策定支援 大企業	54 BCP策定企業の割合 大企業	22%	H23	100%	H27	97 企業への事業継続計画(BCP)の策定支援(中小企業)	56 BCP策定企業の割合(中小企業)	23%		H29	30%	H35					
(2)経済の復興	事業継続計画(BCP)の策定支援 中小企業	104 BCP策定企業の割合 中小企業	55 BCP策定企業の割合 中小企業	4%	H23	10%	H27										

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後
<p>第5章 防災関係機関の処理すべき業務または業務の大綱</p> <p>3 指定地方行政機関</p> <p>(6) 九州経済産業局</p> <p>イ 災害時における物資供給の確保及び物価の安定に関すること。</p> <p>ロ 被災した<u>商工業、鉱業の事業者</u>に対する融資あっ旋に関すること。</p> <p>ハ その他防災に関し、経済産業局の所掌すべきこと。</p> <p>(12) 九州地方整備局(別府港湾・空港整備事務所、大分河川国道事務所、大分川ダム工事事務所、佐伯河川国道事務所、筑後川河川事務所、筑後川ダム統合管理事務所、山国川河川事務所)</p> <p>イ 直轄河川の整備、管理及び水防に関すること。</p> <p>ロ 直轄国道の整備、管理及び防災に関すること。</p> <p>ハ 直轄港湾、航路、海岸、砂防の整備及び防災に関すること。</p> <p>ニ 高潮、津波災害等の予防に関すること。</p> <p>ホ 大規模な災害が発生し、または発生する恐れがある場合の協定に基づく応援に関すること</p> <p>ヘ その他防災に関し、九州地方整備局の所掌すべきこと。</p> <p>(13) 九州総合通信局</p> <p>イ 非常通信体制の整備に関すること。</p> <p>ロ 非常通信協議会の育成指導及び実施訓練等に関すること。</p> <p>ハ 災害時における通信機器及び移動電源車の貸し出しに関すること。</p> <p>ニ 災害時における電気通信の確保に関すること。</p> <p>ホ 非常通信の統制、管理に関すること。</p> <p>ヘ 災害地域における電気通信施設の被害状況の把握に関すること。</p>	<p>第5章 防災関係機関の処理すべき業務または業務の大綱</p> <p>3 指定地方行政機関</p> <p>(6) 九州経済産業局</p> <p>イ 災害時における物資供給の確保及び物価の安定に関すること。</p> <p>ロ 被災した<u>中小企業等</u>に対する融資あっ旋に関すること。</p> <p>ハ その他防災に関し、経済産業局の所掌すべきこと。</p> <p>(12) 九州地方整備局(別府港湾・空港整備事務所、大分河川国道事務所、大分川ダム工事事務所、佐伯河川国道事務所、筑後川河川事務所、筑後川ダム統合管理事務所、山国川河川事務所、<u>延岡河川国道事務所</u>)</p> <p>イ 直轄河川の整備、管理及び水防に関すること。</p> <p>ロ 直轄国道の整備、管理及び防災に関すること。</p> <p><u>(ただし延岡河川国道事務所は管理及び防災に関すること)</u></p> <p><u>ハ 直轄高速自動車国道(東九州自動車道(佐伯IC～宮崎県境))の管理及び防災に関すること。</u></p> <p>ニ 直轄港湾、航路、海岸、砂防の整備及び防災に関すること。</p> <p>ホ 高潮、津波災害等の予防に関すること。</p> <p><u>ヘ 大規模な災害が発生し、または発生する恐れがある場合の協定に基づく応援に関すること</u></p> <p><u>ト その他防災に関し、九州地方整備局の所掌すべきこと。</u></p> <p>(13) 九州総合通信局</p> <p>イ 非常通信体制の整備に関すること。</p> <p>ロ 非常通信協議会の育成指導及び実施訓練等に関すること。</p> <p>ハ 災害時における通信機器、<u>移動電源車及び臨時災害放送局用機器</u>の貸し出しに関すること。</p> <p>ニ 災害時における電気通信の確保に関すること。</p> <p>ホ 非常通信の統制、管理に関すること。</p> <p>ヘ 災害地域における電気通信施設の被害状況の把握に関すること。</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第1部 総則

改正前	改正後
<p>5 指定公共機関</p> <p>(12) 日本郵便株式会社（大分中央郵便局） イ 災害時における郵政事業運営の確保に関すること。 ロ 災害時における郵政事業に係る災害特別事務取扱及び援護対策に関すること。 (イ)被災者に対する郵便葉書等の無償交付に関すること。 (ロ)被災者が差し出す郵便物の料金免除に関すること。 (ハ)被災地あて救助用郵便物の料金免除に関すること。 (二)被災者の救援を目的とする寄附金の送付のための郵便振替の料金免除に関すること。 <u>(ホ)為替貯金業務及び簡易保険業務の非常取扱いに関すること。</u> <u>(ヘ)通信病院による医療救護活動に関すること。</u> <u>(ト)簡易保険福祉事業団に対する災害救護活動の要請に関すること。</u> ハ その他防災に関し、<u>郵政局</u>の所掌すべきこと。</p>	<p>5 指定公共機関</p> <p>(12) 日本郵便株式会社（大分中央郵便局） イ 災害時における郵政事業運営の確保に関すること。 ロ 災害時における郵政事業に係る災害特別事務取扱及び援護対策に関すること。 (イ)被災者に対する郵便葉書等の無償交付に関すること。 (ロ)被災者が差し出す郵便物の料金免除に関すること。 (ハ)被災地あて救助用郵便物の料金免除に関すること。 (二)被災者の救援を目的とする寄附金の送付のための郵便振替の料金免除に関すること。 <u>(ホ)ゆうちょ銀行委託業務及びかんぽ生命委託業務の非常取扱いに関すること。</u> <u>(ヘ)削除</u> <u>(ト)削除</u> ハ その他防災に関し、<u>日本郵便株式会社</u>の所掌すべきこと。</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>第1章 災害予防の基本方針等（略）</p> <p>第2章 災害に強いまちづくり</p> <p>第1節 被害の未然防止事業（略）</p> <p>1（略）</p> <p>2 土砂災害防止事業（九州地方整備局、九州森林管理局、土木建築部砂防課・都市・まちづくり推進課、農林水産部農村基盤整備課・森林保全課、市町村）</p> <p>（1）土砂災害防止事業の基本方針（略）</p> <p>大分県の土砂災害防止事業の状況等は、大分県地域防災計画「風水害等対策編」第2部第2章第1節「被害の未然防止事業」に示しているとおりである。崩壊土砂流出危険地区、山腹崩壊危険地区、土石流危険溪流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所ともその総数は全国に比べて多く、従来から、土砂災害危険箇所や砂防指定地等を中心に施設整備を実施しているが、引き続き整備を進め、地震に伴う__災害防止に努める。</p> <p>（略）</p> <p>（2）土砂災害防止事業の実施</p> <p>イ <u>要配慮者利用施設、防災拠点、緊急避難場所（避難地）、避難路、都市間を結ぶ重要交通網を考慮した土砂災害防止対策を実施する。</u></p> <p>ロ（略）</p> <p>ハ 治山事業にかかる崩壊土砂流出危険地区、山腹崩壊危険地区等については、従来からの事業を継続し、危険性の高いところから事業を計画的に実施<u>することにより</u>、災害に備える。</p> <p>ニ・ホ（略）</p> <p>ヘ 土砂災害発生監視システムにより、土砂災害発生の誘因となる雨量を観測・公表するとともに、气象台と連携して土砂災害警戒情報の発表を行うことで、市町村の行う警戒避難<u>態勢</u>の整備を支援する。</p>	<p>第1章 災害予防の基本方針等（略）</p> <p>第2章 災害に強いまちづくり</p> <p>第1節 被害の未然防止事業（略）</p> <p>1（略）</p> <p>2 土砂災害防止事業（九州地方整備局、九州森林管理局、土木建築部砂防課・都市・まちづくり推進課、農林水産部農村基盤整備課・森林保全課、市町村）</p> <p>（1）土砂災害防止事業の基本方針（略）</p> <p>大分県の土砂災害防止事業の状況等は、大分県地域防災計画「風水害等対策編」第2部第2章第1節「被害の未然防止事業」に示しているとおりである。崩壊土砂流出危険地区、山腹崩壊危険地区、土石流危険溪流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所ともその総数は全国に比べて多く、従来から、土砂災害危険箇所や砂防指定地等を中心に施設整備を実施しているが、引き続き整備を進め、地震に伴う<u>土砂</u>災害防止に努める。</p> <p>（略）</p> <p>（2）土砂災害防止事業の実施</p> <p>イ <u>重要交通網などの重要インフラ、避難所、要配慮者利用施設、防災拠点に対する土砂災害対策や流木対策を重点的に実施する。</u></p> <p>ロ（略）</p> <p>ハ 治山事業にかかる崩壊土砂流出危険地区、山腹崩壊危険地区等については、従来からの事業を継続し、危険性の高いところから事業を計画的に実施し、特に、<u>流木災害が発生するおそれのある森林について、流木捕捉式治山ダムの設置や間伐等の森林整備などの対策を推進することにより</u>、災害に備える。</p> <p>ニ・ホ（略）</p> <p>ヘ 土砂災害発生監視システムにより、土砂災害発生の誘因となる雨量を観測・公表するとともに、气象台と連携して土砂災害警戒情報の発表を行うことで、市町村の行う警戒避難<u>体制</u>の整備を支援する。</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>3～6 (略)</p> <p>7 農地防災事業の促進 (農林水産部農村基盤整備課、市町村)</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 農地防災事業の実施</p> <p>地震に伴う土砂崩壊、湛水等に対して農地、農業用施設等を防護するため、防災ダム、ため池、用排水路、排水機場等の施設の整備を引き続き推進する。</p> <p><u>(追記)</u></p> <p>また、<u>地震時の人的被害を最小限にするための減災対策として、市町村の「ため池ハザードマップ」の作成を促進する。</u></p> <p>第2節～第8節 (略)</p> <p>第9節 防災調査研究の推進(防災関係機関、生活環境部防災局防災対策企画課、市町村) (略)</p> <p>1 (略)</p> <p>2 防災調査研究の実施体制</p> <p>防災に関する調査研究を企画・検討し、その進捗状況や効果等を総合的に評価・検討できるような体制づくりに努める。</p> <p>第10節 (略)</p> <p>第3章 災害に強い人づくり</p> <p>(略)</p> <p>第1節 自主防災組織</p> <p>1 自主防災組織の必要性 (略)</p> <p>2 大分県の現状と課題</p> <p>大分県における自主防災組織の数は平成29年4月1日時点で3,586組織、組織率は96.1%であり、全国的にみても取組が進んでいるが、<u>自主防災組織における防災訓練の実施率は平成28年度実績で50.3%</u></p>	<p>3～6 (略)</p> <p>7 農地防災事業の促進 (農林水産部農村基盤整備課、市町村)</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 農地防災事業の実施</p> <p>地震に伴う土砂崩壊、湛水等に対して農地、農業用施設等を防護するため、防災ダム、ため池、用排水路、排水機場等の施設の整備を引き続き推進する。<u>特に下流に住宅や公共施設等が存在し、決壊した場合に人的被害を与えるおそれのあるため池を防災重点ため池と位置づけ、対策が必要なものについては計画的な整備を推進する。</u></p> <p>また、<u>緊急時の迅速な避難行動につなげるため、防災重点ため池におけるハザードマップの作成や緊急連絡体制の整備等ソフト対策をハード対策と併せて促進する。</u></p> <p>第2節～第8節 (略)</p> <p>第9節 防災調査研究の推進(防災関係機関、生活環境部防災局防災対策企画課、市町村) (略)</p> <p>1 (略)</p> <p>2 防災調査研究の実施体制</p> <p>防災に関する調査研究を企画・検討し、その進捗状況や効果等を総合的に評価・検討できるような体制づくりに努める。</p> <p><u>防災関係機関等は、防災研究の基礎となる過去の災害記録、防災施設に関する資料、その他各種災害に関する資料を収集・分析し、適切な項目に分類整理し、必要により活用できるよう努めることとする。</u></p> <p>第10節 (略)</p> <p>第3章 災害に強い人づくり</p> <p>(略)</p> <p>第1節 自主防災組織</p> <p>1 自主防災組織の必要性 (略)</p> <p>2 大分県の現状と課題</p> <p>大分県における自主防災組織の数は平成31年4月1日時点で3,612組織、組織率は97.3%であり、全国的にみても取組が進んでいるが、<u>自主防災組織における防災訓練の実施率は平成30年度実績で79.3%</u></p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>となっており、今後は未組織の地域での組織化とともに、組織活動の活性化が課題となっている。</p> <p>3 自主防災組織の果たす役割と活動 (略)</p> <p>4 県の推進方針</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p>(4) 市町村との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織活性化支援センターの設置</li> <li>・追記</li> </ul> <p>(5) (略)</p> <p>5～8 (略)</p> <p>第2節 防災訓練 (略)</p> <p>1 訓練の種別 (略)</p> <p>2 総合防災訓練の実施(大分県、市町村、防災関係機関) (略)</p> <p>(1)～(5) (略)</p> <p>(6) その他地震防災応急対策の実施に関する訓練</p> <p>なお、総合防災訓練には、多くの防災関係機関が参加することから、その準備段階を活用し、関係機関相互の協力体制確立に向け、担当者間の人間関係構築に努めること。</p> <p>3～5 (略)</p> <p>第3節 防災教育</p> <p>1～2 (略)</p> <p>3 地域等における防災教育</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 一般県民に対する防災教育</p> <p>イ 地震・津波に関する知識</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 地震・津波は自然現象であり、想定を超える可能性があること、特に地震発生直後に発表される津波警報等の精度には一定の限界があること、浸水想定区域外でも浸水する可能性があること、指定避難所の孤立や指定避難所自体の被災も有り得ることなど、津波に関する想定・予測の不確実性</p>	<p>なっており、今後は未組織の地域での組織化とともに、組織活動の活性化が課題となっている。</p> <p>3 自主防災組織の果たす役割と活動 (略)</p> <p>4 県の推進方針</p> <p>(1)～(3) (略)</p> <p>(4) 市町村との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織活性化支援センターの設置</li> <li>・情報伝達手段の多様化、多重化への支援</li> </ul> <p>(5) (略)</p> <p>5～8 (略)</p> <p>第2節 防災訓練 (略)</p> <p>1 訓練の種別 (略)</p> <p>2 総合防災訓練の実施(大分県、市町村、防災関係機関) (略)</p> <p>(1)～(5) (略)</p> <p>(6) その他地震防災応急対策の実施に関する訓練</p> <p>なお、総合防災訓練には、多くの防災関係機関が参加することから、その準備段階を活用し、関係機関相互の協力体制確立に向け、担当者間の人間関係構築に努めるとともに、現地調整や受援など、防災関係機関の相互連携が必要な実戦的な訓練を実施すること。</p> <p>3～5 (略)</p> <p>第3節 防災教育</p> <p>1～2 (略)</p> <p>3 地域等における防災教育</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 一般県民に対する防災教育</p> <p>イ 地震・津波に関する知識</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 地震・津波は自然現象であり、想定を超える可能性があること、特に地震発生直後に発表される津波警報等の精度には一定の限界があること、浸水想定区域外でも浸水する可能性があること、指定緊急避難所、指定避難所の孤立や避難所自体の被災も有り得ることなど、津波に関する想定・予測の不</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>ロ～リ (略) (3)～(8) (略)</p> <p>第4節 消防団・ボランティアの育成、強化</p> <p>1 (略)</p> <p>2 事業所の自主防災体制の充実 (生活環境部防災局消防保安室、<u>商工労働部</u> 経営創造・金融課、市町村、防災関係機関)</p> <p>3～4 (略)</p> <p>第5節 要配慮者の安全確保</p> <p>1～4 (略)</p> <p>5 旅行者等の安全確保 (<u>企画振興部観光・地域局観光・地域振興課</u>、市町村、観光施設管理者、自主防災組織)</p> <p>6 (略)</p> <p>第6節 帰宅困難者の安全確保</p> <p>宿泊場所の確保 (市町村・<u>企画振興部観光・地域局</u>交通政策課・生活環境部防災局防災対策企画課・交通機関・事業所・学校) (略)</p> <p>生活環境部防災局防災対策企画課は市町村と公共的施設等との協定締結を支援する。<u>企画振興部観光・地域局</u>交通政策課は、代替交通機関の確保等についてJR等の交通機関と検討を行う。</p> <p>第7節 (略)</p> <p>第4章 迅速かつ円滑な災害応急対策のための事前措置</p> <p>第1節 初動体制の強化 (生活環境部防災局防災対策企画課)</p> <p>(1)～(4) (略)</p> <p>(5) イ(イ)・(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 通信手段の多重化</p> <p>大規模災害による通信手段の停止を想定した、防災情報の伝達手段の多重(複数)化を平常時から構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Lアラート、県庁ホームページによる迅速な災害情報の発信を行う。</li> <li>・県民安全・安心メールの登録を促進する。</li> </ul> <p>(新設)</p>	<p>確実性</p> <p>ロ～リ (略) (3)～(8) (略)</p> <p>第4節 消防団・ボランティアの育成、強化</p> <p>1 (略)</p> <p>2 業所の自主防災体制の充実 (生活環境部防災局消防保安室、<u>商工観光労働部</u>経営創造・金融課、市町村、防災関係機関)</p> <p>3～4 (略)</p> <p>第5節 要配慮者の安全確保</p> <p>1～4 (略)</p> <p>5 旅行者等の安全確保 (<u>商工観光労働部観光局観光政策課</u>、市町村、観光施設管理者、自主防災組織)</p> <p>6 (略)</p> <p>第6節 帰宅困難者の安全確保</p> <p>宿泊場所の確保 (市町村・<u>企画振興部</u>交通政策課・生活環境部防災局防災対策企画課・交通機関・事業所・学校) (略)</p> <p>生活環境部防災局防災対策企画課は市町村と公共的施設等との協定締結を支援する。<u>企画振興部</u>交通政策課は、代替交通機関の確保等についてJR等の交通機関と検討を行う。</p> <p>第7節 (略)</p> <p>第4章 迅速かつ円滑な災害応急対策のための事前措置</p> <p>第1節 初動体制の強化 (生活環境部防災局防災対策企画課)</p> <p>(1)～(4) (略)</p> <p>(5) イ(イ)・(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 通信手段の多重化</p> <p>大規模災害による通信手段の停止を想定した、防災情報の伝達手段の多重(複数)化を平常時から構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Lアラート、県庁ホームページによる迅速な災害情報の発信を行う。</li> <li>・県民安全・安心メールの登録を促進する。</li> <li>・<u>おおいた防災アプリ</u>の利用を促進する。</li> </ul>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>・携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）を活用する。 （略） （5）ロ（イ）（略） （ロ）居住者等への情報伝達</p> <p>県及び市町村は、管轄区域内の居住者、公私の団体（以下「居住者等」という。）及びその管轄区域内に一時滞在する観光客、釣り客、海水浴客、ドライバー等（以下「観光客等」という。）に対し、津波に関する情報が迅速・正確・広範に伝達されるよう、関係事業者の協力を得つつ、同報無線の整備及びそのデジタル化の推進、全国瞬時警報システム（J－ALERT）、テレビ、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、ワンセグ放送、学校等における情報端末の設置、県民安全・安心メール、各市町村の防災情報提供メール、携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア）の活用、コンビニエンスストア、郵便局等の地域スポットの活用、公共情報コモンズの活用、報道機関との連携など、情報伝達手段の多様化を図る。</p> <p>また、避難勧告及び避難指示（緊急）の情報について、防災GISの入力により、各種メールに自動配信されるよう必要な改修を行うものとする。</p> <p>第2節 活動体制の確立（略）</p> <p>1 県職員の防災能力の向上(生活環境部防災局防災対策企画課)（略）</p> <p>2 連携体制の充実及び応援体制の強化(生活環境部防災局防災対策企画課・消防保安室)</p> <p>地域の防災関係機関・団体等の連携強化を目的とした「防災対策推進ブロック協議会」を振興局管内ごとに設置するとともに、県内関係業界、民間団体のほか、ボランティアとの連携体制の充実を図るものとする。</p> <p>また、市町村間の相互応援協定、広域応援協定を締結する等、今後とも以下の対策を講じることとする。</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 県内関係業界、民間団体との連携体制の充実</p> <p>官民一体となって災害に対処できる体制を充実するため、以下の対策を講じていく。</p>	<p>・携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）を活用する。 （略） （5）ロ（イ）（略） （ロ）居住者等への情報伝達</p> <p>県及び市町村は、管轄区域内の居住者、公私の団体（以下「居住者等」という。）及びその管轄区域内に一時滞在する観光客、釣り客、海水浴客、ドライバー等（以下「観光客等」という。）に対し、津波に関する情報が迅速・正確・広範に伝達されるよう、関係事業者の協力を得つつ、同報無線の整備及びそのデジタル化の推進、全国瞬時警報システム（J－ALERT）、テレビ、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、ワンセグ放送、学校等における情報端末の設置、県民安全・安心メール、各市町村の防災情報提供メール、携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）、<b>おおい</b> <b>た防災アプリ</b>、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア）の活用、コンビニエンスストア、郵便局等の地域スポットの活用、公共情報コモンズの活用、報道機関との連携など、情報伝達手段の多様化を図る。</p> <p>また、避難勧告及び避難指示（緊急）の情報について、防災GISの入力により、各種メールに自動配信されるよう必要な改修を行うものとする。</p> <p>第2節 活動体制の確立（略）</p> <p>1 県職員の防災能力の向上(生活環境部防災局防災対策企画課)（略）</p> <p>2 連携体制の充実及び応援体制の強化(生活環境部防災局防災対策企画課・消防保安室)</p> <p>地域の防災関係機関・団体等の連携強化を目的とした「防災対策推進ブロック協議会」を振興局管内ごとに設置するとともに、県内関係業界、民間団体のほか、ボランティアとの連携体制の充実を図るものとする。</p> <p>また、市町村間の相互応援協定、広域応援協定を締結した場合は、<b>応援要請が迅速に行えるよう、あらかじめ要請の手順、連絡調整窓口、連絡方法を取り決めておくなど、実効性の確保に努め、</b>今後とも以下の対策を講じることとする。</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 県内関係業界、民間団体との連携体制の充実</p> <p>官民一体となって災害に対処できる体制を充実するため、以下の対策を</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>イ (略)</p> <p>ロ 防災対策に関する専門研修等の実施 災害時の連携が円滑に行えるよう、ノウハウを有する県内関係業界、民間団体との間で応援協力協定を締結し体制を強化するとともに、人的・物的協力の具体的な手順等を明確化する。</p> <p>ハ (略)</p> <p>(3) ~ (4) (略)</p> <p>(5) 広域応援体制の強化 被害が甚大で市町村及び県において対応が困難な場合、県外からの応援を求める必要がある。 県では、「九州・山口9県災害時応援協定」をはじめ、「防災消防ヘリコプター相互応援協定」等を締結し、広域応援体制を整備しているところであるが、今後とも、必要に応じ個別協定を締結するなど、応援体制の充実強化を図る。 予定していた県外からの部隊・物資等の支援を受けられず、県内に有する資源のみで一定期間対応することを想定し、県内に有する資源を明らかにし、活動の優先順位付けを行い対処する方法をあらかじめ検討する必要がある。</p> <p>(6) ~ (7) (略)</p> <p>3 物資、資機材の確保体制の充実（生活環境部防災局防災対策企画課、消防保安室、県民生活・男女 共同参画課、福祉保健部福祉保健企画課・医療政策課、薬務室、<u>商工労働部商工労働企画課</u>、農林水産部農林水産企画課、警察本部）</p> <p>4 (略)</p> <p>5 広報体制の充実（企画振興部国際政策課・広報広聴課、福祉保健部障害福祉課）</p> <p>(1)・(2) (略)</p>	<p>講じていく。</p> <p>イ (略)</p> <p>ロ 防災対策に関する専門研修等の実施 災害時の連携が円滑に行えるよう、ノウハウを有する県内関係業界、民間団体との間で応援協力協定を締結し体制を強化するとともに、人的・物的協力の具体的な手順等を明確化し実効性の確保に留意するものとする。</p> <p>ハ (略)</p> <p>(3) ~ (4) (略)</p> <p>(5) 広域応援体制の強化 被害が甚大で市町村及び県において対応が困難な場合、県外からの応援を求める必要がある。 県では、「九州・山口9県災害時応援協定」をはじめ、「防災消防ヘリコプター相互応援協」等を締結し、広域応援体制を整備しているところであるが、<u>応援要請が迅速に行えるよう、あらかじめ要請の手順、連絡調整窓口、連絡方法を取り決めておくなど、実効性の確保に努め、</u>今後とも、必要に応じ個別協定を締結するなど、応援体制の充実強化を図る。 予定していた県外からの部隊・物資等の支援を受けられず、県内に有する資源のみで一定期間対応することを想定し、県内に有する資源を明らかにし、活動の優先順位付けを行い対処する方法をあらかじめ検討する必要がある。</p> <p>(6) ~ (7) (略)</p> <p>3 物資、資機材の確保体制の充実（生活環境部防災局防災対策企画課、消防保安室、県民生活・男女 共同参画課、福祉保健部福祉保健企画課・医療政策課、薬務室、<u>商工観光労働部商工労働企画課</u>、農林水産部農林水産企画課、警察本部）</p> <p>4 (略)</p> <p>5 広報体制の充実（企画振興部国際政策課・広報広聴課、福祉保健部障害福祉課）</p> <p>(1)・(2) (略)</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>(3) インターネットを活用した情報発信 災害等緊急時に県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等を通じて情報を発信し、情報の早期伝達、内容充実に努める。</p> <p>イ 県庁ホームページによる迅速な災害情報の発信を行う。</p> <p>ロ 県民安全・安心メール登録を促進する。</p> <p>(新設)</p> <p>ハ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）を活用する。</p> <p>ニ ツイッター、フェイスブック等ソーシャルネットメディアの利用を促進する。</p> <p>6 (略)</p> <p>7 被災住宅の被害調査の迅速化のための対策(生活環境部防災局防災対策企画課、市町村)</p> <p>早期の復旧・復興の観点から、迅速・円滑な被害調査が求められているため、県として、定期的に住家被害調査研修会を開催し、市町村職員の被害調査技術の向上を図るとともに、市町村間の応援協定の活用により、被害調査に係る市町村間の応援体制の構築を市町村に指導する。</p> <p>また、住家被害認定調査の調査員を養成・登録する仕組みの構築を検討するなど、調査体制の強化に努める。</p> <p>第3節 津波からの避難に関する事前の対策 (略)</p> <p>2 居住者等の避難対策 (略)</p> <p>(3) 県、市町村及び防災関係機関は、観光客等に対して津波警報等の情報を迅速かつ確実に伝達できるよう県民安全・安心メール、各市町村の防災情報提供メール、携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア）、ワンセグ放送、情報提供装置等を用いた情報伝達体制の確立を図るとともに、観光客等の避難誘導計画を策定するものとする。</p>	<p>(3) インターネットを活用した情報発信 災害等緊急時に県民安全・安心メール、<u>おおいた防災アプリ</u>、県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等を通じて情報を発信し、情報の早期伝達、内容充実に努める。</p> <p>イ 県庁ホームページによる迅速な災害情報の発信を行う。</p> <p>ロ 県民安全・安心メールの登録を促進する。</p> <p><u>ハ おおいた防災アプリの利用を促進する。</u></p> <p><u>ニ</u> 携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）を活用する。</p> <p><u>ホ</u> ツイッター、フェイスブック等ソーシャルネットメディアの利用を促進する。</p> <p>6 (略)</p> <p>7 被災住宅の被害調査の迅速化のための対策(生活環境部防災局防災対策企画課、市町村)</p> <p>早期の復旧・復興の観点から、迅速・円滑な被害調査が求められているため、県として、定期的に住家被害調査研修会を開催し、市町村職員の被害調査技術の向上を図るとともに、<u>り災証明書の迅速な発行に向けて、県下統一の「被災者台帳システム」により、非被災市町村からの職員の受援を円滑化し、市町村間の応援協定の活用により、被害調査に係る市町村間の応援体制の構築を市町村に指導する。</u></p> <p>また、住家被害認定調査の調査員を養成・登録する仕組みの構築を検討するなど、調査体制の強化に努める。</p> <p>第3節 津波からの避難に関する事前の対策 (略)</p> <p>2 居住者等の避難対策 (略)</p> <p>(3) 県、市町村及び防災関係機関は、観光客等に対して津波警報等の情報を迅速かつ確実に伝達できるよう県民安全・安心メール、各市町村の防災情報提供メール、携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）、<u>おおいた防災アプリ</u>、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア）、ワンセグ放送、情報提供装置等を用いた情報伝達体制の確立を図るとともに、観光客等の避難誘導計画を策定するものと</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>(略)</p> <p>第4節 個別応急対策の迅速かつ円滑な実施のための事前措置の充実</p> <p>1 生命・財産への被害を最小限とするための事前措置の充実(生活環境部防災局防災対策企画課、<u>企画振興部観光・地域局観光・地域振興課</u>・国際政策課、福祉保健部福祉保健企画課・医療政策課・健康づくり支援課・高齢者福祉課・こども未来課・こども・家庭支援課・障害福祉課、<u>商工労働部情報政策課</u>、土木建築部河川課・建築住宅課・都市・まちづくり推進課、<u>教育庁教育改革・企画課</u>、海上保安部)</p> <p>(1) 地震・津波に関する情報伝達体制の充実</p> <p>地震の余震や津波による被害をより効果的に防止するためには、余震情報や津波に関する情報を住民に迅速に知らせる必要がある。県は、市町村に対し津波等に関して大分県防災情報システムにより情報の伝達体制の充実を図っているが、今後は、その運用を的確かつ円滑に行う体制を整える。</p> <p>また、河川管理者の協力について水防計画に定め、当該計画に基づく河川に関する情報の提供等水防と河川管理の連携を強化する。</p> <p>県及び市町村は、管轄区域内の居住者等及びその管轄区域内に一時滞在する観光客等に対し、津波に関する情報が迅速・正確・広範に伝達されるよう、関係事業者の協力を得つつ、同報無線の整備及びそのデジタル化の推進、全国瞬時警報システム(J-A L E R T)、テレビ、ラジオ(コミュニティFM放送を含む。)、ワンセグ放送、学校等における情報端末の設置、県民安全・安心メール、各市町村の防災情報提供メール、携帯電話事業者が提供する緊急速報メール(エリアメール等)、インターネット(県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア)の活用、コンビニエンスストア、郵便局等の地域スポットの活用、公共情報コモンズの活用、報道機関との連携など情報伝達手段の多様化を図る。</p> <p>さらに避難勧告及び避難指示(緊急)等の情報について、防災GISの入力により、各種メールに自動配信されるよう必要な改修を行うものとする。</p> <p>(略)</p>	<p>する。</p> <p>(略)</p> <p>第4節 個別応急対策の迅速かつ円滑な実施のための事前措置の充実</p> <p>1 生命・財産への被害を最小限とするための事前措置の充実(生活環境部防災局防災対策企画課、<u>商工観光労働部観光局観光政策課</u>・国際政策課、福祉保健部福祉保健企画課・医療政策課・健康づくり支援課・高齢者福祉課・こども未来課・こども・家庭支援課・障害福祉課、<u>商工観光労働部</u>情報政策課、土木建築部河川課・建築住宅課・都市・まちづくり推進課、<u>公園・生活排水課</u>、<u>教育庁教育改革・企画課</u>、海上保安部)</p> <p>(1) 地震・津波に関する情報伝達体制の充実</p> <p>地震の余震や津波による被害をより効果的に防止するためには、余震情報や津波に関する情報を住民に迅速に知らせる必要がある。県は、市町村に対し津波等に関して大分県防災情報システムにより情報の伝達体制の充実を図っているが、今後は、その運用を的確かつ円滑に行う体制を整える。</p> <p>また、河川管理者の協力について水防計画に定め、当該計画に基づく河川に関する情報の提供等水防と河川管理の連携を強化する。</p> <p>県及び市町村は、管轄区域内の居住者等及びその管轄区域内に一時滞在する観光客等に対し、津波に関する情報が迅速・正確・広範に伝達されるよう、関係事業者の協力を得つつ、同報無線の整備及びそのデジタル化の推進、全国瞬時警報システム(J-A L E R T)、テレビ、ラジオ(コミュニティFM放送を含む。)、ワンセグ放送、学校等における情報端末の設置、県民安全・安心メール、各市町村の防災情報提供メール、携帯電話事業者が提供する緊急速報メール(エリアメール等)、<u>おおいだ防災アプリ</u>、インターネット(県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア)の活用、コンビニエンスストア、郵便局等の地域スポットの活用、公共情報コモンズの活用、報道機関との連携など情報伝達手段の多様化を図る。</p> <p>さらに避難勧告及び避難指示(緊急)等の情報について、防災GISの入力により、各種メールに自動配信されるよう必要な改修を行うものとする。</p> <p>(略)</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第2部 災害予防

改正前	改正後
<p>2 被災者の保護・救援のための事前措置の充実（教育庁教育改革企画課、生活環境部県民生活・男女共同参画課、福祉保健部福祉保健企画課・医療政策課・健康づくり支援課・高齢者福祉課・こども未来課・こども・家庭支援課・障害福祉課、土木建築部建築住宅課、<u>商工労働部</u>工業振興課・商業・サービス業振興課、企画振興部統計調査課、市町村）</p> <p>(1)～(8) (略)</p> <p>(9) 被災者の生活再建等のための台帳整備に関する事前措置 災害対策基本法第90条の3に規定する被災者台帳は、発災後の被災者の援護を総合的かつ効率的に実施するために有効である。そこで熊本地震の検証に基づき、大規模災害時に迅速な罹災証明書の発行、県内市町村の相互応援・受援等の観点から、<u>全県統一の被災者台帳システムの導入に向けて、運用のルール等をあらかじめ検討する。</u></p> <p>(略)</p>	<p>2 被災者の保護・救援のための事前措置の充実（教育庁教育改革企画課、生活環境部県民生活・男女共同参画課、福祉保健部福祉保健企画課・医療政策課・健康づくり支援課・高齢者福祉課・こども未来課・こども・家庭支援課・障害福祉課、土木建築部建築住宅課、<u>商工観光労働部</u>工業振興課・商業・サービス業振興課、企画振興部統計調査課、市町村）</p> <p>(1)～(8) (略)</p> <p>(9) 被災者の生活再建等のための台帳整備に関する事前措置 災害対策基本法第90条の3に規定する被災者台帳は、発災後の被災者の援護を総合的かつ効率的に実施するために有効である。そこで熊本地震の検証に基づき、大規模災害時に迅速なり災証明書の発行、県内市町村の相互応援・受援等の観点から、<u>県下統一の「被災者台帳システム」により、非被災市町村からの職員の受援を行う等、全市町村で統一した運用を図る。</u></p> <p>(略)</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>第1章 災害応急対策の基本方針等</p> <p>第1節 災害応急対策の基本方針</p> <p>1 迅速・的確な災害応急対策の遂行</p> <p>地震時においては、瞬時に広域的な被害が発生する可能性がある。県民の生命・財産への被害を最小限に止めるためには、迅速かつ的確な災害応急対策が遂行されなければならない。そのため、県では、地震災害が発生し又は発生するおそれがある場合及び津波襲来のおそれがある場合は、速やかに災害応急対策の遂行に必要な情報を収集し、市町村、消防本部、警察、自衛隊等の防災関係機関と連携をとりながら的確な対策を講じていくこととする。</p> <p><u>(追記)</u></p> <p>3 (略)</p> <p>4 ニーズに即した情報の多様な方法を用いての提供</p> <p>災害後の県民生活安定のためには、県民のニーズに対応した情報を、避難所にいる被災者を含め県民が容易に知ることのできる方法で提供することが不可欠である。県では、被災者の情報ニーズを的確に把握し、貼り紙、チラシ、立て看板、広報誌、広報車、ラジオ、テレビ、新聞、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）、アマチュア無線局等多様な方法を用いて広報することとする。</p> <p>(略)</p> <p>第2章 活動体制の確立</p> <p>第1節 組織</p> <p>1 (略)</p> <p>2 災害発生時における県の組織体制</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 災害対策本部</p> <p>イ 災害対策本部</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 組織・職制</p> <p>a～c (略)</p>	<p>第1章 災害応急対策の基本方針等</p> <p>第1節 災害応急対策の基本方針</p> <p>1 迅速・的確な災害応急対策の遂行</p> <p>地震時においては、瞬時に広域的な被害が発生する可能性がある。県民の生命・財産への被害を最小限に止めるためには、迅速かつ的確な災害応急対策が遂行されなければならない。そのため、県では、地震災害が発生し又は発生するおそれがある場合及び津波襲来のおそれがある場合は、速やかに災害応急対策の遂行に必要な情報を<u>積極的に</u>収集し、市町村、消防本部、警察、自衛隊等の防災関係機関と連携をとりながら的確な対策を講じていくこととする。</p> <p><u>また、相互支援体制や連携体制の整備に当たっては、実効性の確保に留意することとする。</u></p> <p>3 (略)</p> <p>4 ニーズに即した情報の多様な方法を用いての提供</p> <p>災害後の県民生活安定のためには、県民のニーズに対応した情報を、避難所にいる被災者を含め県民が容易に知ることのできる方法で提供することが不可欠である。県では、被災者の情報ニーズを的確に把握し、貼り紙、チラシ、立て看板、広報誌、広報車、ラジオ、テレビ、新聞、<u>県民安全・安心メール、おおいた防災アプリ、</u>インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）、アマチュア無線局等多様な方法を用いて広報することとする。</p> <p>(略)</p> <p>第2章 活動体制の確立</p> <p>第1節 組織</p> <p>1 (略)</p> <p>2 災害発生時における県の組織体制</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 災害対策本部</p> <p>イ 災害対策本部</p> <p>(イ)～(ロ) (略)</p> <p>(ハ) 組織・職制</p> <p>a～c (略)</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第3部 災害応急対策

改正前		改正後	
<p>d. 各種の災害応急対策及び災害情報の収集等を遂行するため、部及び班を設置する。</p>		<p>d. 各種の災害応急対策及び災害情報の収集等を遂行するため、部及び班を設置する。</p>	
部長	<p>企画振興部長、福祉保健部長、生活環境部防災局長、<u>商工労働部長</u>、 農林水産部長、土木建築部長、警察本部警備部長、教育長</p>	部長	<p>企画振興部長、福祉保健部長、生活環境部防災局長、<u>商工観光労働部長</u>、 農林水産部長、土木建築部長、警察本部警備部長、教育長</p>
<p>(二) f 【福祉保健医療部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (略)</li> <li>・ 災害時派遣医療チーム (DMAT)、災害派遣精神医療チーム (DPAT)、災害時公衆衛生対策チーム (DHEAT) 等の派遣</li> </ul> <p>(略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 (略)</p>		<p>(二) f 【福祉保健医療部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (略)</li> <li>・ 災害時派遣医療チーム (DMAT)、災害派遣精神医療チーム (DPAT)、災害時健康危機管理支援チーム (DHEAT)、<u>災害派遣福祉チーム (DCAT)</u> 等の派遣</li> </ul> <p>(略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 (略)</p>	

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>5 九州地方整備局関係災害対策組織 (1) 大分河川国道事務所災害対策支部 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p>	<p>5 九州地方整備局関係災害対策組織 (1) 大分河川国道事務所災害対策支部 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>(2) 佐伯河川国道事務所災害対策支部 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p> <pre> graph TD     A[支部長 (事務所長)] --- B[副支部長 (事・技副所長)]     B --- C[総務班 (総務、経理、用地課)]     B --- D[調査班 河川(調査第一課) 道路(道路管理課)]     B --- E[河川対策班 (河川管理課)]     B --- F[広報班(品質確保課)]     B --- G[道路対策班 (道路管理、工務、調査第二課)]     B --- H[水防班 (佐伯出張所)]     B --- I[道路班 (佐伯・竹田維持出張所)]     C --- C1[庶務係]     C --- C2[経理係]     C --- C3[救護係]     D --- D1[河川情報連絡係]     D --- D2[道路情報連絡係]     D --- D3[無線電話係]     E --- E1[河川巡視係、河川災害対策係]     F --- F1[広報係]     G --- G1[道路災害対策係]     H --- H1[連絡係]     H --- H2[水防係]     I --- I1[連絡係]     I --- I2[水防係]     </pre> <p>ハ 設置場所 佐伯河川国道事務所内</p>	<p>(2) 佐伯河川国道事務所災害対策支部 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p> <pre> graph TD     A[支部長 (事務所長)] --- B[副支部長 (事・技副所長)]     B --- C[総務班 (総務、経理、用地課)]     B --- D[調査班 河川(調査課) 道路(道路管理課)]     B --- E[河川対策班 (河川管理課)]     B --- F[広報班(地域防災調整官・建設専門)]     B --- G[道路対策班 (道路管理、工務課)]     B --- H[水防班 (佐伯出張所)]     B --- I[道路班 (佐伯・竹田維持出張所)]     C --- C1[庶務係]     C --- C2[経理係]     C --- C3[救護係]     D --- D1[河川情報連絡係]     D --- D2[道路情報連絡係]     D --- D3[電気通信係]     E --- E1[河川巡視係、河川災害対策係]     F --- F1[広報係]     G --- G1[道路災害対策係]     H --- H1[連絡係]     H --- H2[水防係]     I --- I1[連絡係]     I --- I2[水防係]     </pre> <p>ハ 設置場所 佐伯河川国道事務所内</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
	<p>(3) 延岡河川国道事務所災害対策支部</p> <p>イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき</p> <p>ロ 組織</p> <pre> graph TD     BC[支部長 (事務所長)] --- SB[事務班 副支部長 (事務副所長)]     BC --- HB[河川班 副支部長 (河川副所長)]     BC --- DB[道路班 副支部長 (道路副所長)]      SB --- SB_C1["【総務課】 課長 課長代行"]     SB --- SB_C2["【経理班】"]     SB --- SB_C3["【用地課】 課長 課長代行"]      HB --- HB_C1["【電気通信班】 課長 課長代行"]     HB --- HB_C2["【機械班】 課長 課長代行"]     HB --- HB_C3["【河川管理班】 課長 課長代行"]     HB --- HB_C4["【調査第一課】 課長 課長代行"]     HB --- HB_C5["【工務第一課】 課長 課長代行"]     HB --- HB_C6["【延岡出張所】 課長 課長代行"]      DB --- DB_C1["【電気通信班】 課長 課長代行"]     DB --- DB_C2["【機械班】 課長 課長代行"]     DB --- DB_C3["【道路管理課】 課長 課長代行"]     DB --- DB_C4["【工務第二課】 課長 課長代行"]     DB --- DB_C5["【調査第二課】 課長 課長代行"]     DB --- DB_C6["【延岡国道維持出張所】 所長 所長代行"]     DB --- DB_C7["【延岡高速道路維持出張所】 所長 所長代行"]     DB --- DB_C8[監督官]      SB_C1 --- SB_C1_R["総務課 総務課長 総務係長"]     SB_C2 --- SB_C2_R["総務課 建設専門官 専門官"]     SB_C3 --- SB_C3_R["用地課 用地課長 建設専門官"]      HB_C1 --- HB_C1_R["調査第一課 (電気通信係) 調査第一課長 専門職"]     HB_C2 --- HB_C2_R["工務第一課 (機械係) 工務第一課長 機械係長"]     HB_C3 --- HB_C3_R["河川管理課 河川管理課長 専門職"]     HB_C4 --- HB_C4_R["調査第一課 (電気通信係を除く) 調査第一課長 専門官"]     HB_C5 --- HB_C5_R["工務第一課 (機械係を除く) 工務第一課長 工務係長"]     HB_C6 --- HB_C6_R["延岡出張所 延岡出張所長 管理第二係長"]      DB_C1 --- DB_C1_R["調査第一課 (電気通信係) 調査第一課長 専門職"]     DB_C2 --- DB_C2_R["工務第一課 (機械係) 工務第一課長 機械係長"]     DB_C3 --- DB_C3_R["道路管理課 道路管理課長 上席専門職"]     DB_C4 --- DB_C4_R["工務第二課 工務第二課長 工務係長"]     DB_C5 --- DB_C5_R["調査第二課 調査第二課長 専門官"]     DB_C6 --- DB_C6_R["延岡国道維持出張所 延岡国道維持出張所長 管理第三係長"]     DB_C7 --- DB_C7_R["延岡高速道路維持出張所 延岡高速道路維持出張所 管理第二係長"]     DB_C8 --- DB_C8_R[""]     </pre>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>(3) 筑後川河川事務所災害対策支部日田水防班 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p>	<p>(4) 筑後川河川事務所災害対策支部日田水防班 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>(4) 山国川河川事務所災害対策支部 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p> <pre> graph TD     BC[支部長 (事務所長)] --- DC[副支部長 (事・技副所長)]     DC --- GA[総務班長 (総務課長) 副班長 (総務課長)]     DC --- RM[河川班長 (調査・品質確保課長) 副班長 (建設専門官)]     DC --- DM[河川管理班長 (管理課長) 副班長 (建設専門官)]     DC --- DMgt[ダム管理班長 (ダム管理課長) 副班長 (建設専門官)]     DC --- OR[現地対策班長 (中津出張所長)]     GA --- GAdept[総務課]     RM --- RMdept[調査・品質 確保課]     DM --- DMdept[管理課]     DMgt --- DMgtdept[ダム管理課]     OR --- ORdept[中津出張所]         </pre>	<p>(5) 山国川河川事務所災害対策支部 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p> <pre> graph TD     BC[支部長 (事務所長)] --- DC[副支部長 (事・技副所長) (事業対策官)]     DC --- GA[総務班長 (総務課長)]     DC --- RM[河川班長 (調査・品質確保課長) 副班長 (専門官 (土木))]     DC --- DM[河川管理班長 (管理課長) 副班長 (建設専門官)]     DC --- DMgt[ダム管理班長 (ダム管理課長) 副班長 (専門官)]     DC --- OR[現地対策班長 (中津出張所長)]     GA --- GAdept[総務課]     RM --- RMdept[調査・品質 確保課]     DM --- DMdept[管理課]     DMgt --- DMgtdept[ダム管理課]     OR --- ORdept[中津出張所]         </pre>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>(5) 筑後川ダム統合管理事務所災害対策支部 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p> <pre> graph TD     BC[支部長 (事務所長)] --- CAG[総務班長 (総務課長)]     BC --- CO[運用班長 (管理課長)]     DBC[副支部長 (副所長)] --- CIC[情報通信班長 (防災情報課長)]     DBC --- CD[松原ダム班長 (松原ダム管理支所長)]     DBC --- CS[下笠ダム班長 (下笠ダム管理支所長)]     CAG --- GAD[総務課]     CO --- M[管理課]     CIC --- DID[防災情報課]     CD --- MD[松原ダム管理支所]     CS --- SD[下笠ダム管理支所]         </pre>	<p>(6) 筑後川ダム統合管理事務所災害対策支部 イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき ロ 組織</p> <pre> graph TD     BC[支部長 (事務所長)] --- CAG[総務班長 (総務課長)]     BC --- CO[運用班長 (管理課長)]     DBC[副支部長 (事務副所長) (技術副所長)] --- DCO[運用副班長 (広域水管理課長)]     DBC --- CD[松原ダム班長 (松原ダム管理支所長)]     DBC --- CS[下笠ダム班長 (下笠ダム管理支所長)]     CAG --- GAC[総務班 (総務課)]     CO --- O[運用班 (管理課)]     DCO --- RWC[広域水管理課]     CD --- MD[松原ダム管理支所]     CS --- SD[下笠ダム管理支所]         </pre>

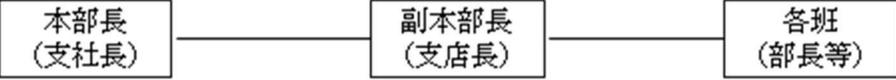
# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>(6) 別府港湾・空港整備事務所災害対策支部</p> <p>イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき</p> <p>ロ 組織</p> <pre> graph TD     A[支部長 (事務所長)] --- B[総務班長 (総務課長) (他機関との連絡調整、救護等)]     A --- C[副支部長 (技術副所長)]     C --- D[情報Ⅰ班長 (保全課長)]     C --- E[情報Ⅱ班長 (中津港事務所長) (情報の収集、記録、伝達及び対策等)]     C --- F[対策班長 (工務課長) (防災状況の調査及び応急処置等)]     </pre> <p>9 日本赤十字社大分県支部災害救護実施対策本部</p> <p>(1) 設置の基準 風水害等による非常災害が発生したとき</p> <p>(2) 組織</p> <pre> graph LR     A[対策本部長 (支部長)] --- B[対策副本部長 (副支部長)] --- C[本部員]     </pre>	<p>(7) 別府港湾・空港整備事務所災害対策支部</p> <p>イ 設置の基準 災害が発生したとき又は予想されるとき</p> <p>ロ 組織</p> <pre> graph TD     A[支部長 (事務所長)] --- B[総務班長 (総務課長) (他機関との連絡調整、救護等)]     A --- C[副支部長 (技術副所長)]     C --- D[情報班長 (保全課長) (情報の収集、記録、伝達及び対策等)]     C --- E[対策班長 (工務課長) (防災状況の調査及び応急処置等)]     </pre> <p>9 日本赤十字社大分県支部災害救護実施対策本部</p> <p>(1) 設置の基準 風水害等による非常災害が発生したとき</p> <p>(2) 組織</p> <pre> graph LR     A[本部長] --- B[副本部長] --- C[全体統括部門 総合調整班] --- D[救護実施部門]     D --- E[災害医療CoT]     D --- F[医療救護班]     D --- G[こころのケア班]     D --- H[救護物資班]     D --- I[義援金班]     D --- J[ボランティア班]     D --- K[館内施設業務支援班]     </pre>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>1 3 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ九州大分支店災害対策本部 (1) 設置の基準 災害が発生し又は発生するおそれがあるとき (2) 組織</p>  <p>第2節～第4節 (略) 第5節 災害情報・被害情報の収集・伝達 1～2 (略) 3 県の災害情報・被害情報収集・共有体制 (1) 災害情報・被害情報の収集体制の確立 イ～チ (略) リ 防災GISの活用 地区災害対策本部や市町村は被災状況等を防災GISに入力するとともに、総合調整室情報収集班は、防災GISにより市町村や地区災害対策本部等から災害情報・被害情報を収集し、被災状況等の把握を行う。なお、防災GISが使用できない場合は、防災行政無線回線等を用いて、電話やFAXにより市町村等から災害情報・被害情報を収集する。 また、収集した情報は災害対策本部内や関係機関とで共有を図るものとする。 なお、現システムが更新時期を迎えていることから、災害時における被害情報の収集や関係機関との情報共有の迅速化・効率化等を目指して「大分県災害対応総合支援システム」を構築し、31年度の運用開始を目指す。</p>	<p>1 3 株式会社NTT ドコモ 九州支社災害対策本部 (1) 設置の基準 災害が発生し又は発生するおそれがあるとき (2) 組織</p>  <p>第2節～第4節 (略) 第5節 災害情報・被害情報の収集・伝達 1～2 (略) 3 県の災害情報・被害情報収集・共有体制 (1) 災害情報・被害情報の収集体制の確立 イ～チ (略) リ <u>災害対応支援システム</u>の活用 地区災害対策本部や市町村は被災状況等を<u>災害対応支援システム</u>に入力するとともに、総合調整室情報収集班は、<u>災害対応支援システム</u>により市町村や地区災害対策本部等から災害情報・被害情報を収集し、被災状況等の把握を行う。なお、<u>災害対応支援システム</u>が使用できない場合は、防災行政無線回線等を用いて、電話やFAXにより市町村等から災害情報・被害情報を収集する。また、収集した情報は災害対策本部内や関係機関とで共有を図るものとする。</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>ヌ (略)</p> <p>ル その他 大規模災害発生直後は、被災市町村からの情報入手が困難な状況になることが想定されるため、SNS を活用した情報収集・分析やドローンを活用した災害情報の把握など、多様な情報収集手段を確保する。 なお、ドローンを使用する場合は、航空法上の手続きが必要となる場合があるので、大分空港事務所と調整するものとする。</p> <p>(2) ～ (4) (略)</p> <p>4～6 (略)</p> <p>第6節 (略)</p> <p>第7節 市町村への支援 市町村行政の中核が被害を受けその機能が麻痺した場合などにおいて、県は本節に記載する体制で市町村を支援することとする。 <u>(追記)</u></p> <p>1 (略)</p> <p>2 市町村への支援 1 で支援が必要と判断された場合、災害対策本部総務班を調整拠点とし、おおむね以下の支援を行う。 (1) ～ (2) (略)</p> <p>(3) 現地災害対策本部の設置 特に <u>甚大な被害が発生した地域があるときは、総務班は当該災害地に現地災害対策本部を設置し、</u>市町村が実施する応急対策に必要な支援を行うこととする。</p> <p>(4) (略)</p> <p>3～4 (略)</p>	<p>ヌ (略)</p> <p>ル その他 大規模災害発生直後は、被災市町村からの情報入手が困難な状況になることが想定されるため、<u>防災モニターからの投稿など</u> SNS を活用した情報収集・分析やドローンを活用した災害情報の把握など、多様な情報収集手段を確保する。 なお、ドローンを使用する場合は、航空法上の手続きが必要となる場合があるので、大分空港事務所と調整するものとする。</p> <p>(2) ～ (4) (略)</p> <p>4～6 (略)</p> <p>第6節 (略)</p> <p>第7節 市町村への支援 市町村行政の中核が被害を受けその機能が麻痺した場合などにおいて、県は本節に記載する体制で市町村を支援することとする。 <u>なお、災害時に被災市町村が受援を要する業務やその必要人数及び県や応援可能市町村の応援可能人数について、平常時から県と市町村の間で情報を共有し、災害時に備えることとする。</u></p> <p>1 (略)</p> <p>2 市町村への支援 1 で支援が必要と判断された場合、災害対策本部総務班を調整拠点とし、おおむね以下の支援を行う。 (1) ～ (2) (略)</p> <p>(3) 現地災害対策本部の設置等 特に、<u>局所的で甚大な被害が発生した地域があるときは、総務班は当該災害地に現地災害対策本部を設置又は市町村が設置した現地災害対策本部に県職員(課長級)を派遣して、</u>市町村が実施する応急対策に必要な支援を行うこととする。</p> <p>(4) (略)</p> <p>3～4 (略)</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>5 広域的な応援による市町村への支援</p> <p>県単独による市町村支援では応急対策等の実施が困難と認められる場合は、県は「九州・山口9県災害時応援協定」等に基づく広域的な応援を要請するものとする。</p> <p>なお、九州・山口9県被災地支援対策本部による被災市町村への人的支援（職員派遣）が、カウンターパート方式により実施されることが決定した場合は、被災市町村における被害の程度や状況はもとより、どのような種類の応援がどの程度必要なのか等、支援に係る具体的な情報については、被災市町村、本県、応援担当県の三者間で共有し、迅速な支援開始を図ることとする。</p> <p>また、派遣が必要な職種・人数等の決定に当たっては、被災市町村、本県、応援担当県の三者による協議を経ることを原則とするが、緊急を要する場合等については、被災市町村と応援担当県による二者協議により決定することができるものとする。</p>	<p>5 広域的な応援による市町村への支援</p> <p>県単独による市町村支援では応急対策等の実施が困難と認められる場合は、県は「九州・山口9県災害時応援協定」や<u>国（総務省）の被災市区町村応援職員確保システム</u>等に基づく広域的な応援を要請するものとする。</p> <p>なお、九州・山口9県被災地支援対策本部や<u>国（総務省）</u>等による被災市町村への人的支援（職員派遣）が、カウンターパート方式により実施されることが決定した場合は、被災市町村における被害の程度や状況はもとより、どのような種類の応援がどの程度必要なのか等、支援に係る具体的な情報については、被災市町村、本県、応援担当県の三者間で共有し、迅速な支援開始を図ることとする。</p> <p>また、派遣が必要な職種・人数等の決定に当たっては、被災市町村、本県、応援担当県の三者による協議を経ることを原則とするが、緊急を要する場合等については、被災市町村と応援担当県による二者協議により決定することができるものとする。</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>第8節 広域的な応援要請</p> <p>県内において地震・津波の大規模災害が発生し、県単独では応急対策等の実施が困難と認められる場合は、あらかじめ締結した応援協定等に基づき、この節の定めるところにより迅速・的確な応援要請の手続きを行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>[県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の、本節に基づく、県の主な活動]</p> <p style="text-align: right;">&lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○応援要請&lt;受援・市町村支援室、人事課、防災局消防保安室&gt;</li> <li>□事前に応援協定を締結している九州地方知事会(九州・山口9県被災地支援対策本部)等に対し応援を要請</li> <li>□国に対し災害対策基本法第29条、30条に基づく応援(職員派遣及び派遣あっせん)を要請</li> <li>□他の防災関係機関へ応援(緊急消防援助隊等)を要請</li> <li>※震度6弱以上の地震発生時</li> <li>□リエゾンの受入れ(受援・市町村支援室)</li> <li>九州地方知事会(九州・山口9県被災地支援対策本部)等方派遣されるリエゾン(災害対策現地情報連絡員)の受入れ体制を確保</li> </ul> </div>	<p>第8節 広域的な応援要請</p> <p>県内において地震・津波の大規模災害が発生し、県単独では応急対策等の実施が困難と認められる場合は、あらかじめ締結した応援協定や国(総務省)の被災市区町村応援職員確保システム等に基づき、この節の定めるところにより迅速・的確な応援要請の手続きを行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>[県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の、本節に基づく、県の主な活動]</p> <p style="text-align: right;">&lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○応援要請&lt;受援・市町村支援室、人事課、防災局消防保安室&gt;</li> <li>□事前に応援協定を締結している九州地方知事会(九州・山口9県被災地支援対策本部)や国(総務省)等に対し応援を要請</li> <li>□国に対し災害対策基本法第29条、30条に基づく応援(職員派遣及び派遣あっせん)を要請</li> <li>□他の防災関係機関へ応援(緊急消防援助隊等)を要請</li> <li>※震度6弱以上の地震発生時</li> <li>□リエゾンの受入れ(受援・市町村支援室)</li> <li>九州地方知事会(九州・山口9県被災地支援対策本部)等から派遣されるリエゾン(災害対策現地情報連絡員)の受入れ体制を確保</li> </ul> </div>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>1 県における広域応援要請の実施</p> <p>(1) 組織体制</p> <p>イ 受援・市町村支援室は、県単独では十分な応急対策ができない場合、「九州・山口9県災害時応援協定」等に基づく広域的な応援を要請する。</p> <p>ロ (略)</p> <p>ハ 国において、被災地の状況を把握し、応急対策の迅速かつ的確な実施に資するため政府調査団の派遣及び現地対策本部の設置等がなされた場合は、総務班が窓口となって必要な調整を行うものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 他の都道府県等への応援要請</p> <p>イ 「九州・山口9県災害時応援協定」に基づく応援要請 県単独では十分に応急対応や災害復旧・復興に関する対策が実施できないと認める場合には、上記の協定に基づき九州・山口各県（要請先:九州・山口9県被災地支援対策本部）に対し応援を要請する。</p> <p>(イ) 応援の要請 受援・市町村支援室広域受援班は、上記の協定に基づき、災害の状況、応援を要請する地域及び必要とする応援の内容を明らかにして、<u>(※協定第6条第1項より)</u>九州・山口9県被災地支援対策本部に応援の要請を行う。</p> <p>この際、人的災害の数や避難所の数など被害状況に係る客観的な数値のほか、被災県庁及び被災市町村における行政機能確保状況（マンパワーの不足状況）等に係る情報も極力提供し、九州・山口9県被災地支援対策本部によるカウンターパート決定が迅速かつ効果的になされるよう配慮する。</p>	<p>1 県における広域応援要請の実施</p> <p>(1) 組織体制</p> <p>イ 受援・市町村支援室は、県単独では十分な応急対策ができない場合、「九州・山口9県災害時応援協定」や<u>国（総務省）の被災市区町村応援職員確保システム</u>等に基づく広域的な応援を要請する。</p> <p>ロ (略)</p> <p>ハ 国において、被災地の状況を把握し、応急対策の迅速かつ的確な実施に資するため政府調査団の派遣や<u>上記システムに基づく被災市区町村応援職員確保現地調整会議</u>の設置等がなされた場合は、総務班が窓口となって必要な調整を行うものとする。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 他の都道府県等への応援要請</p> <p>イ 「九州・山口9県災害時応援協定」と<u>被災市区町村応援職員確保システム</u>に基づく応援要請 県単独では十分に応急対応や災害復旧・復興に関する対策が実施できないと認める場合には、上記の協定等に基づき九州・山口各県（要請先:九州・山口9県被災地支援対策本部）と<u>国（総務省）</u>に対し応援を要請する。</p> <p>(イ) 応援の要請 受援・市町村支援室広域受援班は、上記の協定等に基づき、災害の状況、応援を要請する地域及び必要とする応援の内容を明らかにして、九州・山口9県被災地支援対策本部と<u>国（総務省）</u>に応援の要請を行う。</p> <p>この際、人的災害の数や避難所の数など被害状況に係る客観的な数値のほか、被災県庁及び被災市町村における行政機能確保状況（マンパワーの不足状況）等に係る情報も極力提供し、九州・山口9県被災地支援対策本部や<u>被災市区町村応援職員確保システム</u>によるカウンターパート決定が迅速かつ効果的になされるよう配慮する。</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

## 地震・津波対策編 第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>(ロ) 応援要請の種類 (略) また、この協定に基づく応援によっても、十分な災害応急対策等が期待できないと判断される場合は、「関西広域連合と九州地方知事会との災害時の相互応援に関する協定」に基づき九州・山口9県被災地支援対策本部から関西広域連合に応援要請する。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(4)～(5) (略)</p> <p>2 応援の受け入れ</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) リエゾン(災害対策現地情報連絡員)の受け入れ 震度6弱以上の地震発生時は、九州地方知事会(九州・山口9県被災地支援対策本部)等方リエゾン(災害対策現地情報連絡員)が派遣されるため、別に定める「大規模災害時受援・応援マニュアル(総務部)」により、受入体制を確保する。</p> <p>第9節～第12節 (略)</p> <p>第13節 ボランティアとの連携</p> <p>1～2 (略)</p> <p>3 県災害ボランティアセンター及び班の役割</p> <p>イ～ハ (略)</p> <p>ニ 現地災害ボランティアセンターの機能を強化し効率的な運営を実現するため、(追記)広域的な応援を迅速かつ効率的に受け入れる体制を構築する。大規模災害においては、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)等による支援の総合調整を行う。</p> <p>第14節～第15節 (略)</p> <p>第16節 交通確保・輸送対策</p> <p>1～4 (略)</p> <p>5 陸上輸送体制</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 輸送手段等の確保</p> <p>イ 車両の確保・配車</p>	<p>(ロ) 応援要請の種類 (略) また、この協定等に基づく応援によっても、十分な災害応急対策等が期待できないと判断される場合は、「関西広域連合と九州地方知事会との災害時の相互応援に関する協定」に基づき九州・山口9県被災地支援対策本部から関西広域連合に応援要請する。</p> <p>ロ～ハ (略)</p> <p>(4)～(5) (略)</p> <p>2 応援の受け入れ</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) リエゾン(災害対策現地情報連絡員)の受け入れ 震度6弱以上の地震発生時は、九州地方知事会(九州・山口9県被災地支援対策本部)等からリエゾン(災害対策現地情報連絡員)が派遣されるため、別に定める「大規模災害時受援・応援マニュアル(総務部)」により、受入体制を確保する。</p> <p>第9節～第12節 (略)</p> <p>第13節 ボランティアとの連携</p> <p>1～2 (略)</p> <p>3 県災害ボランティアセンター及び班の役割</p> <p>イ～ハ (略)</p> <p>ニ 現地災害ボランティアセンターの機能を強化し効率的な運営を実現するため、社会福祉協議会、NPO等のボランティア団体等との情報共有の場を設定するなど、広域的な応援を迅速かつ効率的に支援する体制を構築する。大規模災害においては、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)等による支援の総合調整を行う。</p> <p>第14節～第15節 (略)</p> <p>第16節 交通確保・輸送対策</p> <p>1～4 (略)</p> <p>5 陸上輸送体制</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 輸送手段等の確保</p> <p>イ 車両の確保・配車</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 県有車両以外（公益社団法人大分県トラック協会等）</p> <p>a. 車両の確保</p> <p>公益社団法人大分県トラック協会（以下、「県トラック協会」という。）、赤帽大分県軽自動車運送協同組合（以下、「赤帽県運送組合」という。）及び一般社団法人大分県バス協会（以下、「県バス協会」という。）及び由布市災害ボランティアバイク隊（以下、「由布市バイク隊」という。）との間で締結した「緊急・救援輸送に関する協定」（以下「車両協定」という。）第2条第1項に基づき、緊急・救援輸送を実施するうえで応援を必要とするときは、総務班は次に掲げる事項を明示して、文書（別紙1）により要請するものとする。</p> <p>ただし、文書をもって要請するいとまがない時は、口頭で要請し、その後速やかに文書を交付するものとする。</p> <p>&lt;明示事項&gt; (略)</p> <p>b. 輸送方法</p> <p>aの要請に基づき、県トラック協会、赤帽県運送組合及び県バス協会及び由布市バイク隊は協会員と調整のうえ協会員の車両により輸送するものとする。</p> <p>c. (略)</p> <p>ロ～ニ (略)</p> <p>6～10 (略)</p> <p>第17節 広報活動・災害記録活動</p> <p>1 広報活動・災害記録活動の基本方針</p> <p>大規模な災害が発生した場合、県民生活の安定のためには、県民のニーズに対応した情報を、県民が容易に知ることのできる方法で提供することが不可欠である。県では、被災者の情報ニーズを的確に把握し、要配慮者へも確実に広報が行われるボランティア団体等とも連携を図りながら、貼り紙、チラシ、立て看板、広報誌、広報車、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、新聞、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア）、携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）、ワンセグ放送、アマチュア無線局等多様な方法を</p>	<p>(イ) (略)</p> <p>(ロ) 県有車両以外（公益社団法人大分県トラック協会等）</p> <p>a. 車両の確保</p> <p>公益社団法人大分県トラック協会（以下、「県トラック協会」という。）、<u>ヤマト運輸株式会社九州支社</u>（以下、「ヤマト運輸」という。）、赤帽大分県軽自動車運送協同組合（以下、「赤帽県運送組合」という。）、<u>一般社団法人大分県バス協会</u>（以下、「県バス協会」という。）、<u>一般社団法人大分県タクシー協会</u>（以下、「県タクシー協会」という。）及び由布市災害ボランティアバイク隊（以下、「由布市バイク隊」という。）との間で締結した「緊急・救援輸送に関する協定」（以下「車両協定」という。）第2条第1項に基づき、緊急・救援輸送を実施するうえで応援を必要とするときは、総務班は次に掲げる事項を明示して、文書（別紙1）により要請するものとする。</p> <p>ただし、文書をもって要請するいとまがない時は、口頭で要請し、その後速やかに文書を交付するものとする。</p> <p>&lt;明示事項&gt; (略)</p> <p>b. 輸送方法</p> <p>aの要請に基づき、県トラック協会、<u>ヤマト運輸</u>、<u>赤帽県運送組合</u>、<u>県バス協会</u>、<u>県タクシー協会</u>及び由布市バイク隊は<u>協会員等</u>と調整のうえ<u>協会員等</u>の車両により輸送するものとする。</p> <p>c. (略)</p> <p>ロ～ニ (略)</p> <p>6～10 (略)</p> <p>第17節 広報活動・災害記録活動</p> <p>1 広報活動・災害記録活動の基本方針</p> <p>大規模な災害が発生した場合、県民生活の安定のためには、県民のニーズに対応した情報を、県民が容易に知ることのできる方法で提供することが不可欠である。県では、被災者の情報ニーズを的確に把握し、要配慮者へも確実に広報が行われるボランティア団体等とも連携を図りながら、貼り紙、チラシ、立て看板、広報誌、広報車、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、新聞、<u>県民安全・安心メール</u>、<u>おおいた防災アプリ</u>、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア）、携帯電話事業者が提供する緊急速報メール（エリアメール等）、ワ</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後																								
<p>用いて積極的に広報活動を展開することとする。</p> <p>2 県の広報・災害記録活動の措置 (4) 広報手段等</p> <table border="1" data-bbox="197 427 1057 1114"> <thead> <tr> <th>広 報 手 段</th> <th>広 報 先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記者会見・発表、口頭、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>報道機関</td> </tr> <tr> <td>電話、庁内放送、各種広報紙、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>庁内連絡 地方機関</td> </tr> <tr> <td>広報車、有線放送、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙、動画、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>一般住民・被災者</td> </tr> <tr> <td>広報車、電話、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙（誌）、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>公共的団体等</td> </tr> <tr> <td>口頭、文書、電話、広報紙（誌）、ビデオ、スライド、新聞、スクラップ、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>中央関係機関</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3章 生命・財産への被害を最小限とするための活動 第1節 地震・津波に関する情報の住民への伝達等</p>	広 報 手 段	広 報 先	記者会見・発表、口頭、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	報道機関	電話、庁内放送、各種広報紙、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	庁内連絡 地方機関	広報車、有線放送、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙、動画、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	一般住民・被災者	広報車、電話、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙（誌）、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	公共的団体等	口頭、文書、電話、広報紙（誌）、ビデオ、スライド、新聞、スクラップ、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	中央関係機関	<p>ンセグ放送、アマチュア無線局等多様な方法を用いて積極的に広報活動を展開することとする。</p> <p>2 県の広報・災害記録活動の措置 (4) 広報手段等</p> <table border="1" data-bbox="1227 427 2087 1114"> <thead> <tr> <th>広 報 手 段</th> <th>広 報 先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記者会見・発表、口頭、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>報道機関</td> </tr> <tr> <td>電話、庁内放送、各種広報紙、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>庁内連絡 地方機関</td> </tr> <tr> <td>広報車、有線放送、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙、動画、<b>県民安全・安心メール、おおいた防災アプリ</b>、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>一般住民・被災者</td> </tr> <tr> <td>広報車、電話、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙（誌）、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>公共的団体等</td> </tr> <tr> <td>口頭、文書、電話、広報紙（誌）、ビデオ、スライド、新聞、スクラップ、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）</td> <td>中央関係機関</td> </tr> </tbody> </table> <p>第3章 生命・財産への被害を最小限とするための活動 第1節 地震・津波に関する情報の住民への伝達等</p>	広 報 手 段	広 報 先	記者会見・発表、口頭、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	報道機関	電話、庁内放送、各種広報紙、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	庁内連絡 地方機関	広報車、有線放送、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙、動画、 <b>県民安全・安心メール、おおいた防災アプリ</b> 、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	一般住民・被災者	広報車、電話、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙（誌）、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	公共的団体等	口頭、文書、電話、広報紙（誌）、ビデオ、スライド、新聞、スクラップ、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	中央関係機関
広 報 手 段	広 報 先																								
記者会見・発表、口頭、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	報道機関																								
電話、庁内放送、各種広報紙、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	庁内連絡 地方機関																								
広報車、有線放送、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙、動画、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	一般住民・被災者																								
広報車、電話、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙（誌）、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	公共的団体等																								
口頭、文書、電話、広報紙（誌）、ビデオ、スライド、新聞、スクラップ、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	中央関係機関																								
広 報 手 段	広 報 先																								
記者会見・発表、口頭、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	報道機関																								
電話、庁内放送、各種広報紙、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	庁内連絡 地方機関																								
広報車、有線放送、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙、動画、 <b>県民安全・安心メール、おおいた防災アプリ</b> 、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	一般住民・被災者																								
広報車、電話、ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、テレビ、緊急速報メール、ワンセグ放送、各種広報紙（誌）、ビデオ、文書、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	公共的団体等																								
口頭、文書、電話、広報紙（誌）、ビデオ、スライド、新聞、スクラップ、インターネット（県庁ホームページや、ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディア等）	中央関係機関																								

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>〔県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の、本節に基づく県の主要な活動〕</p> <p style="text-align: center;">＜ ＞内は主に担当する班等</p> <p>○被害の未然防止、拡大防止の住民への呼びかけ＜広報・情報発信班、多言語情報センター＞</p> <p>□報道機関、県民安全・安心メール、インターネット（ホームページや、ツイッター等のソーシャルメディア）を通じた県民一般への呼びかけ（必要に応じて、防災ヘリコプターの出動）</p> <p>（略）</p>	<p>〔県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の、本節に基づく県の主要な活動〕</p> <p style="text-align: center;">＜ ＞内は主に担当する班等</p> <p>○被害の未然防止、拡大防止の住民への呼びかけ＜広報・情報発信班、多言語情報センター＞</p> <p>□報道機関、県民安全・安心メール、<b>おおいた防災アプリ</b>、インターネット（ホームページや、ツイッター等のソーシャルメディア）を通じた県民一般への呼びかけ（必要に応じて、防災ヘリコプターの出動）</p> <p>（略）</p>
<p>1 被害の未然防止、拡大防止の住民への呼びかけ</p> <p>（2）県の措置</p> <p>県内で震度5強以上の地震が発生した場合（第2章第4節参照）、広報・情報発信班はテレビ・ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、ワンセグ放送、県民安全・安心メール、インターネット（ホームページや、ツイッター等のソーシャルメディア）等を通じて県民に注意を呼びかけ、被害の未然防止、拡大防止を図る。その際、要配慮者、帰宅困難者等にも的確に呼びかけができるよう配慮する。</p> <p>〔呼びかけの例〕</p> <p>（略）</p> <p>今後、余震が続くと思われま<u>す</u>。余震は本震ほど大きくなることはありません。しかし、ちょっとした衝撃で、割れかけたガラスや看板などが落ちてくる場合があります。十分注意してください。</p> <p>大分県では、総力をあげて被害の拡大防止に努めております。県民の皆さんは、落ち着いて行動してください。</p> <p>第2～第4節（略） 第5節 救急医療活動</p>	<p>1 被害の未然防止、拡大防止の住民への呼びかけ</p> <p>（2）県の措置</p> <p>県内で震度5強以上の地震が発生した場合（第2章第4節参照）、広報・情報発信班はテレビ・ラジオ（コミュニティFM放送を含む。）、ワンセグ放送、県民安全・安心メール、<b>おおいた防災アプリ</b>、インターネット（ホームページや、ツイッター等のソーシャルメディア）等を通じて県民に注意を呼びかけ、被害の未然防止、拡大防止を図る。その際、要配慮者、帰宅困難者等にも的確に呼びかけができるよう配慮する。</p> <p>〔呼びかけの例〕</p> <p>（略）</p> <p><b>今後の地震活動に注意してください。今後も同程度の地震に注意してください。</b>ちょっとした衝撃で、割れかけたガラスや看板などが落ちてくる場合があります。十分注意してください。</p> <p>大分県では、総力をあげて被害の拡大防止に努めております。県民の皆さんは、落ち着いて行動してください。</p> <p>第2～第4節（略） 第5節 救急医療活動</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前		改正後	
<p>○救急医療活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□災害医療対策本部の設置〈福祉保健医療部医療活動支援班〉</li> <li>□医療救護所の設置〈市町村〉</li> <li>□災害派遣医療チーム（DMAT）及び医療救護班の派遣〈福祉保健医療部医療活動支援班〉</li> </ul> <p>（略）</p>		<p>○救急医療活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□災害医療対策本部の設置〈福祉保健医療部医療活動支援班〉</li> <li>□医療救護所の設置〈市町村〉</li> <li>□災害派遣医療チーム（DMAT）及び医療救護班等の派遣〈福祉保健医療部医療活動支援班〉</li> </ul> <p>（略）</p>	
1（略）		1（略）	
2 主な機関の救急医療活動		2 主な機関の救急医療活動	
機関名	発災 (緊急対策)	72時間 (応急対策)	
福 祉 保 健 部	○災害医療対策本部（DMAT調整本部、必要に応じてDMAT・SCU本部等）の設置	→	
	○医療情報の収集及び提供		
福 祉 保 健 部	○大分DMAT及び医療救護班への出動要請	→	
	○災害医療コーディネーター及び災害薬コーディネーターの災害医療対策本部（DMAT調整本部、必要に応じてDMAT・SCU本部等）への出動要請		
福 祉 保 健 部	○災害時小児周産期リエゾンの災害医療対策本部への出動要請（必要に応じて） （新設）	→	
	○医薬品・医療資器材等の確保		
福 祉 保 健 部	○県外のDMAT及び医療救護班の出動要請	→	
	○県外の医療機関に負傷者等の受入要請		
福 祉 保 健 部	○広域医療搬送のためのSCUの設置要請	→	
福 祉 保 健 部	○災害医療対策本部（DMAT調整本部、必要に応じてDMAT・SCU本部等）の設置	→	
	○医療情報の収集及び提供		
福 祉 保 健 部	○大分DMAT及び医療救護班への出動要請	→	
	○災害医療コーディネーター及び災害薬コーディネーターの災害医療対策本部（DMAT調整本部、必要に応じてDMAT・SCU本部等）への出動要請		
福 祉 保 健 部	○災害時小児周産期リエゾンの災害医療対策本部への出動要請（必要に応じて）	→	
	○災害派遣精神医療チーム（DPAT）隊員への出動要請及び厚生労働省への他県DPAT派遣要請（必要に応じて）		
福 祉 保 健 部	○医薬品・医療資器材等の確保	→	
	○県外のDMAT及び医療救護班の出動要請		
福 祉 保 健 部	○県外の医療機関に負傷者等の受入要請	→	
	○広域医療搬送のためのSCUの設置要請		

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第3部 災害応急対策

改正前		改正後			
保 健 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療情報の収集及び提供</li> <li>○医療機関の被災状況等の現地確認</li> <li>○被災地内における医療救護活動の調整</li> </ul>	→	保 健 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療情報の収集及び提供</li> <li>○医療機関の被災状況等の現地確認</li> <li>○被災地内における医療救護活動の調整</li> </ul>	→
<p>(略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 救急医療活動の実施</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 災害派遣医療チーム (DMAT)、医療救護班、災害支援ナース及び薬剤師班の派遣</p> <p>イ～ニ (略)</p> <p>(新設)</p> <p>5 (略)</p> <p>6 関係機関が実施する措置</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 大分DMAT指定病院の措置</p> <p>イ～ハ (略)</p>				<p>(略)</p> <p>3 (略)</p> <p>4 救急医療活動の実施</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) 災害派遣医療チーム (DMAT) <u>及び医療救護班等</u>の派遣</p> <p>イ～ニ (略)</p> <p>ホ <u>福祉保健部医療活動支援班は、市町村等からの要請があったとき、DPAT統括者と協議のうえ派遣の有無を決定し、医療機関等に精神科医、看護師等からなる災害派遣精神医療チーム (DPAT) の編成・派遣を要請する。必要時は他県からの応援要請を図る。また、DPAT調整本部を設置し活動の指揮・調整を行う。</u></p> <p>5 (略)</p> <p>6 関係機関が実施する措置</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 大分DMAT指定病院の措置</p> <p>イ～ハ (略)</p>	

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前						改正後				
表：災害拠点病院及び大分DMAT指定病院の指定状況 平成28年4月1日現在						表：災害拠点病院及び大分DMAT指定病院の指定状況 平成31年4月1日現在				
医療圏	病院名	災害拠点病院		大分DMAT		医療圏	病院名	災害拠点病院		大分DMAT 指定病院
		基幹 災害 拠点 病院	地域 災害 拠点 病院	指定 病院	統括DMAT 登録者 (人)			基幹災害 拠点病院	地域災害 拠点病院	
東国東	国東市民病院		○	○		東国東	国東市民病院		○	○
別府速見	国家公務員共済組合連合会 新別府病院		○	○	1	別府速見	国家公務員共済組合連合会新別府病院		○	○
	国立病院機構別府医療 センター			○			国立病院機構別府医療センター			○
	大分県厚生連鶴見病院			○			大分県厚生連鶴見病院			○
大分	大分県立病院	○		○	1	大分	大分県立病院	○		○
	大分市医師会立 アルメイダ病院		○	○	1		大分市医師会立アルメイダ病院		○	○
	大分赤十字病院		○	○	1		大分赤十字病院		○	○
	大分中村病院			○			大分中村病院			○
	大分三愛 メディカルセンター			○	1		大分三愛メディカルセンター			○
	大分大学医学部附属病院		○	○	4		大分大学医学部附属病院		○	○
	大分岡病院			○			大分岡病院			○
	社会医療法人財団天心堂 へつぎ病院			○	1		天心堂へつぎ病院			○
							国立病院機構大分医療センター			○
							佐賀関病院			○
臼津	臼杵市医師会立コスモス病院				○	○		○		
佐伯	南海医療センター				○	○		○		
豊後大野	豊後大野市民病院				○	○		○		

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前						改正後					
	国立病院機構 大分医療センター			○		竹 田	竹田医師会病院			○	○
	佐賀関病院			○			大久保病院			○	○
臼 津	臼杵医師会コスモス病院		○	○	1	日 田 玖 珠	大分県済生会日田病院			○	○
佐 伯	健康保険 南海医療センター		○	○		中 津	中津市立中津市民病院			○	○
豊 後 大 野	豊後大野市民病院		○	○		宇佐豊後高田	宇佐高田医師会病院			○	○
竹 田	竹田医師会病院		○	○	1	計					
日 田 玖 珠	大分県済生会日田病院		○	○	1			1		13	22
中 津	中津市立中津市民病院		○	○							
宇佐豊後高田	宇佐高田医師会病院		○	○							
計		1	12	21	13						
<p>(4)～(8) (略) 7 (略) 第6節～第7節 (略)</p> <p>第4章 被災者の保護・救護のための活動 第1節 避難所運営活動 1～3 (略) 4 避難所の運営管理 (1)～(2) (略) (3) 避難所での食料・水・生活必需品の配布 県は、支援物資が避難所までスムーズに行き届くよう、国、県、市町村及び民間事業者等の役割分担を明確化する。 また、避難所ごとのニーズを的確に把握し、タブレット端末を利用してスムーズな集計を行うなど、市町村と連携を図りながらシステムの導入を検討する (略) (4)～(9) (略)</p>						<p>(4)～(8) (略) 7 (略) 第6節～第7節 (略)</p> <p>第4章 被災者の保護・救護のための活動 第1節 避難所運営活動 1～3 (略) 4 避難所の運営管理 (1)～(2) (略) (3) 避難所での食料・水・生活必需品の配布 県は、支援物資が避難所までスムーズに行き届くよう、国、県、市町村及び民間事業者等の役割分担を明確化する。 また、避難所ごとのニーズを的確に把握し、タブレット端末を利用してスムーズな集計を行うなど、市町村と連携を図りながら災害対応支援システムを活用するとともに、物資の迅速な流通対策に必要な資機材を整備する。 (略) (4)～(9) (略)</p>					

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>5～6 (略) 第2節～第6節 (略) 第7節 保健衛生活動</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>[県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の、本節に基づく県の主要な活動]</p> <p style="text-align: center;">&lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>○被災地での公衆衛生ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□避難所等を含む被災地における公衆衛生ニーズの把握 (略)</li> <li>□災害時公衆衛生対策チームの派遣&lt;福祉保健医療部福祉保健衛生班&gt; (略)</li> </ul> </div> <p>1 (略) 2 保健衛生活動の実施体制</p> <p>(1) 被災地での公衆衛生ニーズの把握</p> <p>県は、市町村と連携して以下の保健衛生ニーズを把握する。</p> <p>また、福祉保健医療部福祉保健衛生班は、被災状況により必要と判断した場合は、被災地で地区災害対策本部保健所班が行う公衆衛生活動の支援のため、被災地域外から人員を選定し、災害時公衆衛生対策チームを編成し、被災地域に派遣する。</p> <p>(略)</p> <p>(2) 保健衛生活動の体制整備</p> <p>地区災害対策本部保健所班及び災害時公衆衛生対策チームは、以下のような保健衛生活動の体制整備を行う。</p> <p>イ～ニ (略)</p> <p>ホ 厚生労働省防災業務計画に基づき、同省が行う保健師派遣活動との情報共有</p>	<p>5～6 (略) 第2節～第6節 (略) 第7節 保健衛生活動</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>[県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の、本節に基づく県の主要な活動]</p> <p style="text-align: center;">&lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>○被災地での公衆衛生ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□避難所等を含む被災地における公衆衛生ニーズの把握 (略)</li> <li>□災害時健康危機管理支援チームの派遣&lt;福祉保健医療部福祉保健衛生班&gt; (略)</li> </ul> </div> <p>1 (略) 2 保健衛生活動の実施体制</p> <p>(1) 被災地での公衆衛生ニーズの把握</p> <p>県は、必要に応じて市町村災害対策本部に職員を派遣する等、市町村と連携して以下の保健衛生ニーズを把握する。</p> <p>また、福祉保健医療部福祉保健衛生班は、被災状況により必要と判断した場合は、被災地で地区災害対策本部保健所班が行う公衆衛生活動の支援のため、被災地域外から人員を選定し、災害時健康危機管理支援チームを編成し、被災地域に派遣する。</p> <p>(略)</p> <p>(2) 保健衛生活動の体制整備</p> <p>地区災害対策本部保健所班及び災害時健康危機管理支援チームは、以下のような保健衛生活動の体制整備を行う。</p> <p>イ～ニ (略)</p> <p>ホ 厚生労働省防災業務計画に基づき、同省が行う公衆衛生医師、保健師、管理栄養士等派遣活動との情報共有</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>3 保健衛生活動の実施 (1) 地区災害対策本部保健所班が実施する市町村支援活動は以下のとおりとする。 イ～ハ (略) ニ 厚生労働省防災業務計画に基づき、同省が行う保健師派遣活動との相互連携</p> <p>(2) (略) 4～7 (略) 第8節～第11節 (略) 第12節 社会秩序の維持・物価の安定等</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の本節に基づく県の主要な活動]                      &lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>○社会秩序の維持のための活動 (略)</p> <p>○物価の安定等に関する活動  <input type="checkbox"/>生活関連物資の価格及び需給動向調査・監視の実施&lt;支援物資部食糧班・支援物資班、地区災害対策本部支援物資班&gt;  <input type="checkbox"/>消費生活相談所の開設&lt;支援物資部食糧班・支援物資班、地区災害対策本部庶務班&gt; (略)</p> </div> <p>1～2 (略) 3 物価の安定等に関する活動 (1) 生活関連物資の価格及び需給動向調査・監視の実施                      支援物資部食糧班・支援物資班及び地区災害対策本部支援物資班は、定期的に物価を監視するため、生活関連物資の価格及び需給動向調査・監視を実施する。 (2) 消費生活相談所の開設</p>	<p>3 保健衛生活動の実施 (1) 地区災害対策本部保健所班が実施する市町村支援活動は以下のとおりとする。 イ～ハ (略) ニ 厚生労働省防災業務計画に基づき、同省が行う公衆衛生医師、保健師、管理栄養士等派遣活動との相互連携</p> <p>(2) (略) 4～7 (略) 第8節～第11節 (略) 第12節 社会秩序の維持・物価の安定等</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の本節に基づく県の主要な活動]                      &lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>○社会秩序の維持のための活動 (略)</p> <p>○物価の安定等に関する活動  <input type="checkbox"/>生活関連物資の価格及び需給動向調査・監視の実施&lt;被災者救援部、地区災害対策本部支援物資班&gt;  <input type="checkbox"/>消費生活相談所の開設&lt;被災者救援部、地区災害対策本部総務班&gt; (略)</p> </div> <p>1～2 (略) 3 物価の安定等に関する活動 (1) 生活関連物資の価格及び需給動向調査・監視の実施                      被災者救援部及び地区災害対策本部支援物資班は、定期的に物価を監視するため、生活関連物資の価格及び需給動向調査・監視を実施する。 (2) 消費生活相談所の開設</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>支援物資部食糧班・支援物資班及び地区災害対策本部庶務班は、被災地内に消費生活相談所を開設し、消費生活に関する相談に応じる。</p> <p>(3)～(4) (略)</p> <p>第13節 義援物資の取扱い</p> <p>[県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の、本節に基づく県の主要な活動]</p> <p style="text-align: center;">&lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>○義援物資の取扱いに関する広報</p> <p>□受け付け品目、送付場所等の決定&lt;支援物資部食糧班・支援物資班&gt;(第4章第5節の活動状況を考慮する。)</p> <p>□受け付け品目、送付場所等の報道機関を通じての広報&lt;広報・情報発信班&gt;</p> <p>1 (略)</p> <p>2 県に送付される義援物資の取扱い</p> <p>(1) 義援物資の取扱いに関する広報</p> <p>イ 受け付ける品目、送付場所等の決定</p> <p>支援物資部食糧班・支援物資班は地区災害対策本部庶務班からの報告により被災地での物資の過不足の状況を把握し、物資の受入れ品目、送付場所を決定する。</p> <p>ロ 受け付ける品目、送付場所等の広報</p> <p>広報・情報発信班は、イで決定した事項を、報道機関を通じて広報する。</p> <p>第14節 被災動物対策</p> <p>[災害時における動物管理の主要な活動]</p> <p style="text-align: center;">&lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>○被災動物救護対策指針の策定及び市町村への支援&lt;生活環境部食品・生活衛生課&gt;</p> <p>○被災地域及び避難所における動物の保護&lt;市町村、生活環境部食品・生活衛生課、(追記)、地区対策本部保健所班&gt;</p>	<p>被災者救援部及び地区災害対策本部総務班は、被災地内に消費生活相談所を開設し、消費生活に関する相談に応じる。</p> <p>(3)～(4) (略)</p> <p>第13節 義援物資の取扱い</p> <p>[県内に震度5強以上の地震が発生した場合又は大津波警報が発表された場合の、本節に基づく県の主要な活動]</p> <p style="text-align: center;">&lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>○義援物資の取扱いに関する広報</p> <p>□受け付け品目、<u>目標量</u>、送付場所等の決定&lt;支援物資部食糧班・支援物資班&gt;(第4章第5節の活動状況を考慮する。)</p> <p>□受け付け品目、<u>目標量</u>、送付場所等の報道機関を通じての広報&lt;広報・情報発信班&gt;</p> <p>1 (略)</p> <p>2 県に送付される義援物資の取扱い</p> <p>(1) 義援物資の取扱いに関する広報</p> <p>イ 受け付ける品目、<u>目標量</u>、送付場所等の決定</p> <p>支援物資部食糧班・支援物資班は地区災害対策本部庶務班からの報告により被災地での物資の過不足の状況を把握し、物資の受入れ品目、<u>目標量</u>、送付場所を決定する。</p> <p>ロ 受け付ける品目、<u>目標量</u>、送付場所等の広報</p> <p>広報・情報発信班は、イで決定した事項を、報道機関を通じて広報する。</p> <p>第14節 被災動物対策</p> <p>[災害時における動物管理の主要な活動]</p> <p style="text-align: center;">&lt; &gt;内は主に担当する班等</p> <p>○被災動物救護対策指針の策定及び市町村への支援&lt;生活環境部食品・生活衛生課&gt;</p> <p>○被災地域及び避難所における動物の保護&lt;市町村、生活環境部食品・生活衛生課、<u>動物愛護センター</u>、地区対策本部保健所班&gt;</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編  
第3部 災害応急対策

改正前	改正後
<p>1～4 (略) 5 (新設)</p> <p>第5章 社会基盤の応急対策 (略)</p>	<p>1～4 (略) 5 応急仮設住宅等での対応 市町村及び県は、応急仮設住宅等における家庭動物の適正飼養の指導を行う。</p> <p>第5章 社会基盤の応急対策 (略)</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第4部 災害復旧・復興

改正前	改正後
<p>第1章 災害復旧・復興の基本方針（略）</p> <p>第2章 公共土木施設等の災害復旧</p> <p>1（略）</p> <p>2 公共土木施設災害復旧事業の推進</p> <p>公共土木施設の災害復旧については、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法(昭和26年法律第97号)の趣旨等を踏まえ、緊要度を勘案の上災害復旧事業の促進を図るものとする。</p> <p>なお、単独事業、補助事業及び直轄事業にかかる災害復旧事業についても短期間の完全復旧を実施するものとする。<u>(追記)</u></p> <p>(略)</p> <p>第3章 被災者・被災事業者の自立支援体制の確立</p> <p>1・2（略）</p> <p>3 災害義援金の配分</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 配分の方法等</p> <p>※ なお、広域災害となった東日本大震災では、り災証明の発行や義援金の配布等を求め住民が窓口で殺到し、庁舎が被災した自治体等ではその処理に時間が掛かった事例もあることから、県内で統一した被災者台帳システムの導入をはかる。</p> <p>第4章 被災者支援に関する各種制度の概要（略）</p>	<p>第1章 災害復旧・復興の基本方針（略）</p> <p>第2章 公共土木施設等の災害復旧</p> <p>1（略）</p> <p>2 公共土木施設災害復旧事業の推進</p> <p>公共土木施設の災害復旧については、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法(昭和26年法律第97号)の趣旨等を踏まえ、緊要度を勘案の上災害復旧事業の促進を図るものとする。</p> <p>なお、単独事業、補助事業及び直轄事業にかかる災害復旧事業についても短期間の完全復旧を実施するものとする。<u>また、高度な技術又は機械力を要する工事等で、工事实施体制や技術上の制約等により、これらの工事を的確に実施できない場合は、国土交通省の権限代行制度の適用を要請することも検討する。</u></p> <p>(略)</p> <p>第3章 被災者・被災事業者の自立支援体制の確立</p> <p>1・2（略）</p> <p>3 災害義援金の配分</p> <p>(1)（略）</p> <p>(2) 配分の方法等</p> <p>※ なお、広域災害となった東日本大震災では、り災証明の発行や義援金の配布等を求め住民が窓口で殺到し、庁舎が被災した自治体等ではその処理に時間が掛かった事例もあることから、県内で統一した被災者台帳システムの運用をはかる。</p> <p>第4章 被災者支援に関する各種制度の概要（略）</p>

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第4部 災害復旧・復興

改正前			改正後		
第5章 激甚災害の指定 第1節 激甚災害指定の手続 (1) 激甚災害指定基準(本激の基準)			第5章 激甚災害の指定 第1節 激甚災害指定の手続 (1) 激甚災害指定基準(本激の基準)		
適用条項(適用措置)	指定基準	担当部局	適用条項(適用措置)	指定基準	担当部局
(略)			(略)		
激甚法第12条(中小企業信用保険法による災害関係保証の特例)	A 中小企業関係被害額>全国中小企業所得推定額 又は B 中小企業関係被害額>全国中小企業推定所得額×0.06% かつ、次の要件のいずれかに該当する都道府県が1以上ある場合 1一の都道府県の中小企業関係被害額>当該都道府県の中小企業所得 推定額×2% 2一の都道府県の中小企業関係被害額>1,400億円  ただし、火災の場合又は激甚法第12条の適用の場合における中小企業関連被害額の全国中小企業所得推定額に対する割合については、被害の実情に応じ特例措置が講じられることがある。	商工 労働部 経営創 造・金融 課	激甚法第12条(中小企業信用保険法による災害関係保証の特例)	A 中小企業関係被害額>全国中小企業所得推定額 又は B 中小企業関係被害額>全国中小企業推定所得額×0.06% かつ、次の要件のいずれかに該当する都道府県が1以上ある場合 1一の都道府県の中小企業関係被害額>当該都道府県の中小企業所得 推定額×2% 2一の都道府県の中小企業関係被害額>1,400億円  ただし、火災の場合又は激甚法第12条の適用の場合における中小企業関連被害額の全国中小企業所得推定額に対する割合については、被害の実情に応じ特例措置が講じられることがある。	商工 観光 労働部 経営創 造・金融 課
(2) 局地激甚災害指定基準(局激の基準)			(2) 局地激甚災害指定基準(局激の基準)		
適用条項(適用措置)	指定基準		適用条項(適用措置)	指定基準	
(略)			(略)		
激甚法第12条(中小企業信用保険法による災害関係保証の特例)、第13条(小規模企業者等設備導入資金助成法による貸付金の償還期間等の特例)	中小企業関係被害額>当該市町村の中小企業所得推定額×10% (被害額が1千万円未満のものを除く。) ただし、当該被害額を合算した額がおおむね5千万円未満である場合を除く。	商工 労働部 経営創 造・金融 課	激甚法第12条(中小企業信用保険法による災害関係保証の特例)、第13条(小規模企業者等設備導入資金助成法による貸付金の償還期間等の特例)	中小企業関係被害額>当該市町村の中小企業所得推定額×10% (被害額が1千万円未満のものを除く。) ただし、当該被害額を合算した額がおおむね5千万円未満である場合を除く。	商工 観光 労働部 経営創 造・金 融課

# 大分県地域防災計画新旧対照表

地震・津波対策編

第4部 災害復旧・復興

改正前	改正後
<p>第2節 特別財政援助</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1～2 (略)</li><li>3 中小企業に関する特別の助成 (商工労働部)</li><li>4 (略)</li></ul>	<p>第2節 特別財政援助</p> <ul style="list-style-type: none"><li>1～2 (略)</li><li>3 中小企業に関する特別の助成 (商工観光労働部)</li><li>4 (略)</li></ul>